

# 第2章 公共交通を取り巻く現状と課題

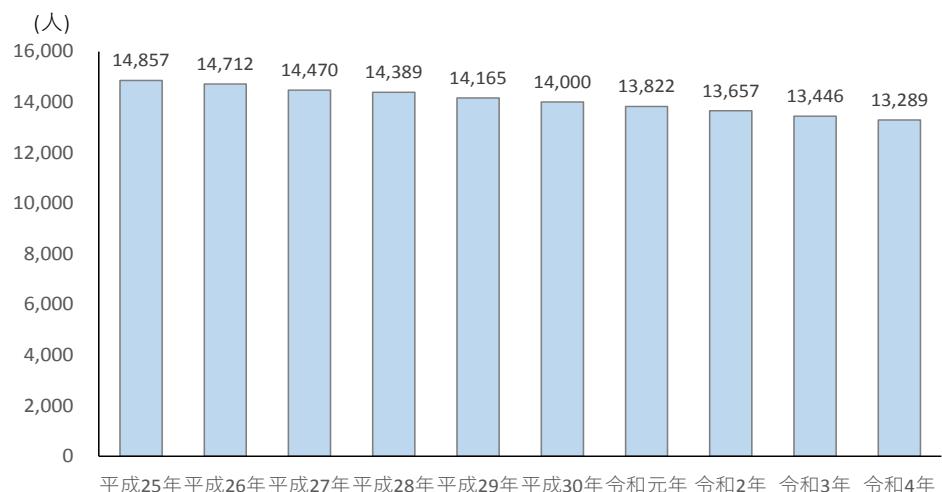
## 2.1 地域の特性

### 2.1.1 人口動態

#### (1) 人口推移

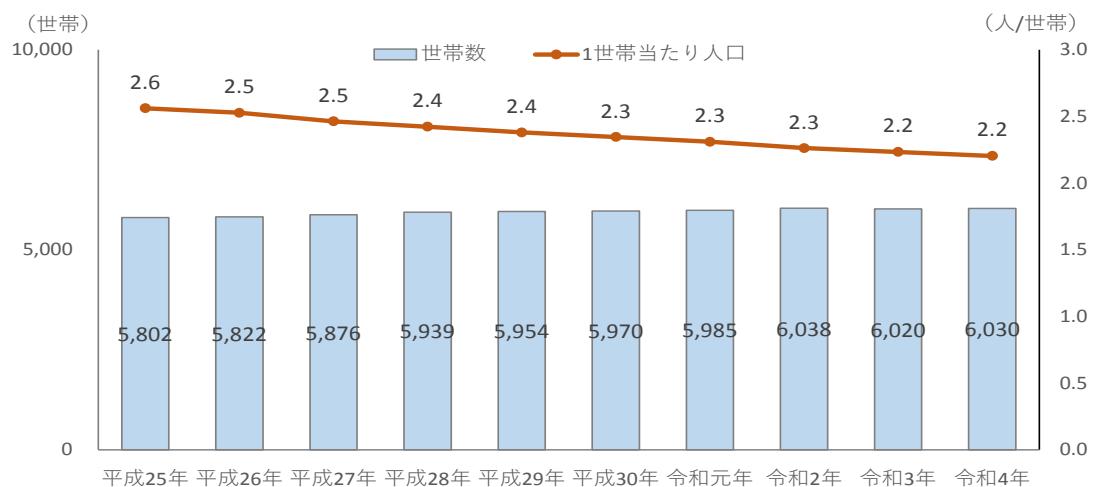
本町の人口は、経年的に減少が続いている。令和4（2022）年で約13,300人、世帯数は約6,000世帯となっている。令和4（2022）年の人口は、5年前の平成29（2017）年に比べて約900人減少している。一方、世帯数は平成29（2017）年に比べて約80世帯増加しており、令和4（2022）年の1世帯当たり人口は2.2人となっている。平成25年の1世帯あたり人口の2.6人から0.4人減少しており、核家族化や世帯分離が進行している。

#### ■人口の推移



資料: 住民基本台帳(各年1月1日現在)

#### ■世帯数及び1世帯当たり人口の推移



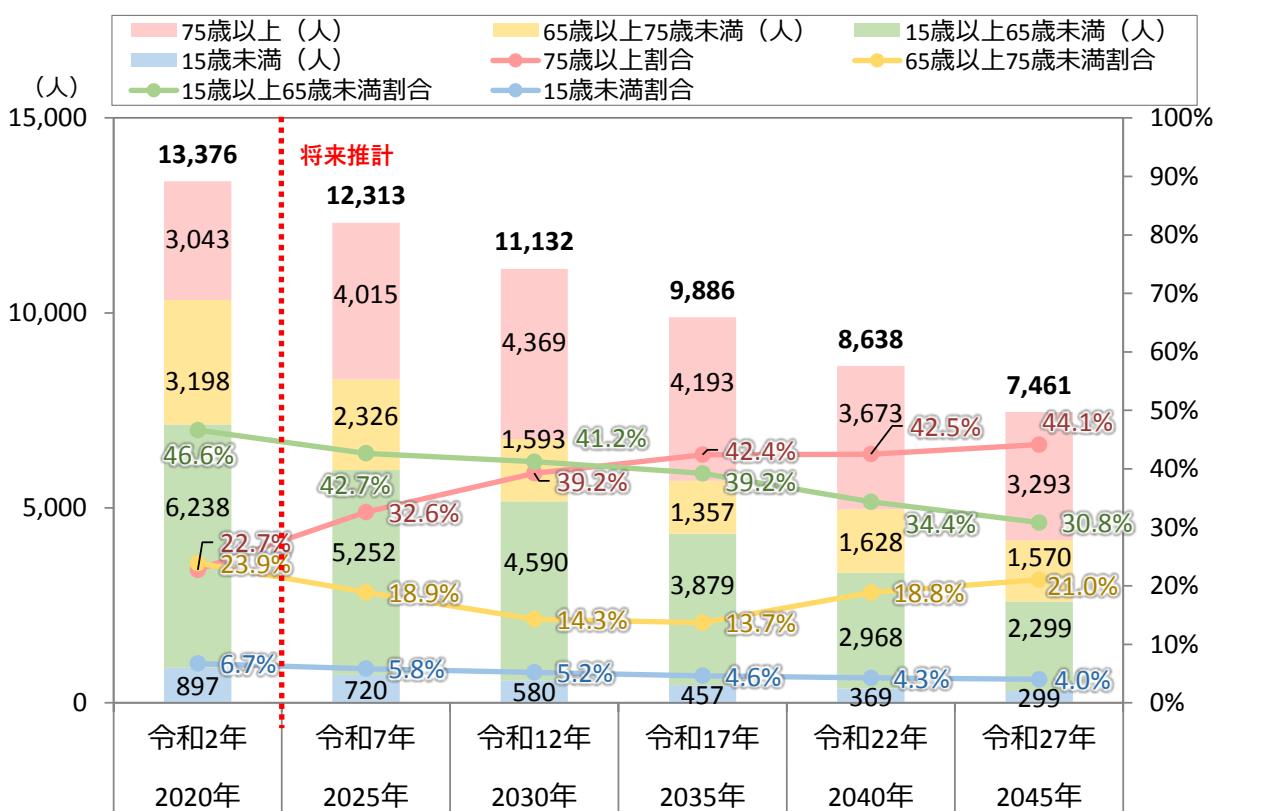
資料: 住民基本台帳(各年1月1日現在)

## (2) 人口推計

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、本町の人口は経年的に減少すると想定されており、令和2（2020）年の13,400人から、令和27（2045）年には約7,500人まで減少することが見込まれている。15歳未満の年少人口割合は、令和2（2020）年の6.7%から令和27（2045）年には4.0%に減少、15歳以上65歳未満の生産年齢人口割合は、46.6%から30.8%にまで減少、65歳以上の老人人口割合は、46.7%から65.2%に増加する見込みとなっており、今後も少子高齢化が続いていると見込まれる。

### ■人口の推計

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年
15歳未満（人）	897	720	580	457	369	299
15歳以上65歳未満（人）	6,238	5,252	4,590	3,879	2,968	2,299
65歳以上（人）	6,241	6,341	5,962	5,550	5,301	4,863
65歳以上75歳未満（人）	3,198	2,326	1,593	1,357	1,628	1,570
75歳以上（人）	3,043	4,015	4,369	4,193	3,673	3,293
総人口（人）	13,376	12,313	11,132	9,886	8,638	7,461
15歳未満割合	6.7%	5.8%	5.2%	4.6%	4.3%	4.0%
15歳以上65歳未満割合	46.6%	42.7%	41.2%	39.2%	34.4%	30.8%
65歳以上割合	46.7%	51.5%	53.6%	56.1%	61.4%	65.2%
65歳以上75歳未満割合	23.9%	18.9%	14.3%	13.7%	18.8%	21.0%
75歳以上割合	22.7%	32.6%	39.2%	42.4%	42.5%	44.1%

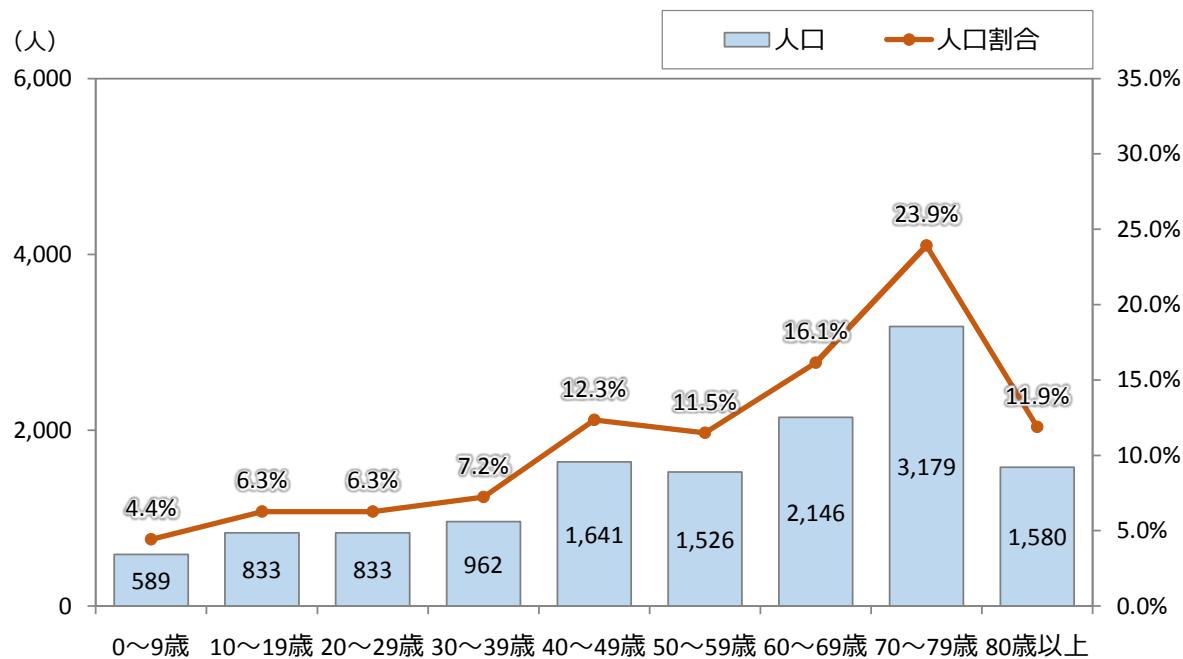


資料: 令和2年国税調査及び国立社会保障・人口問題研究所(各年10月1日現在)

### (3) 年齢別人口

令和4（2022）年1月1日現在の年齢別人口を見ると70歳代が約2,100人と最も多く、次いで60歳代が約1,800人となっている。60歳以上の人口は、全人口の48.6%となっている。

#### ■年齢別人口

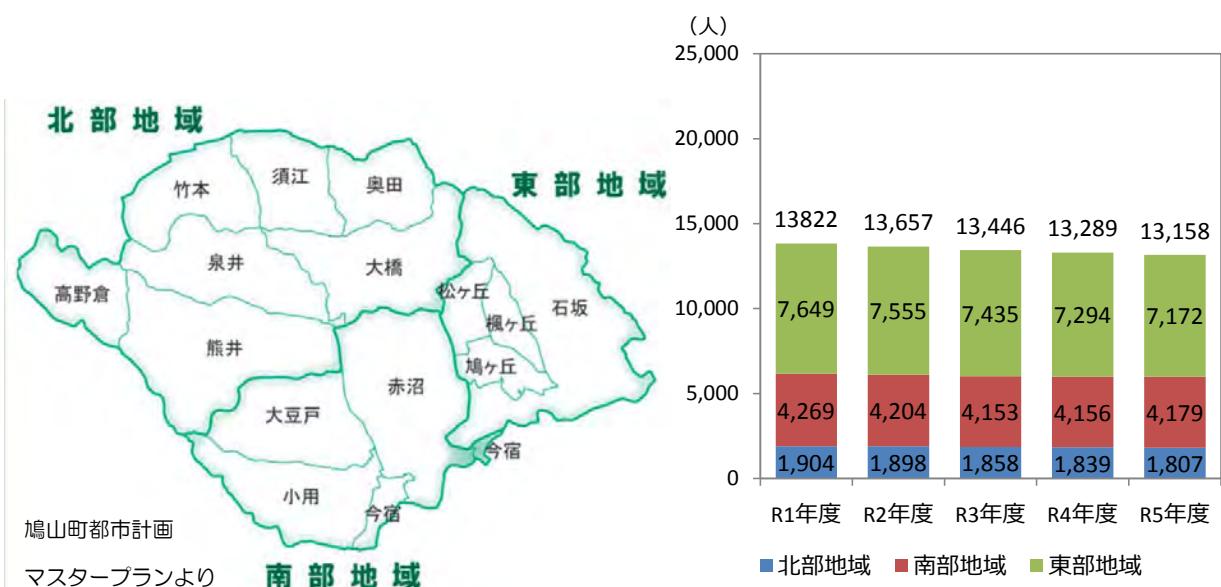


資料：住民基本台帳（令和4年1月1日現在）

### (4) 地域別人口及び世帯数

地区別の人団を見ると、全人口の約半数が東部地域に集中している。また、南部地区では令和4年度中にやや人口増加が見られたものの、それ以外では概ね減少傾向にある。

#### ■本町における地域区分と各地域の人口推移（各年1月1日）



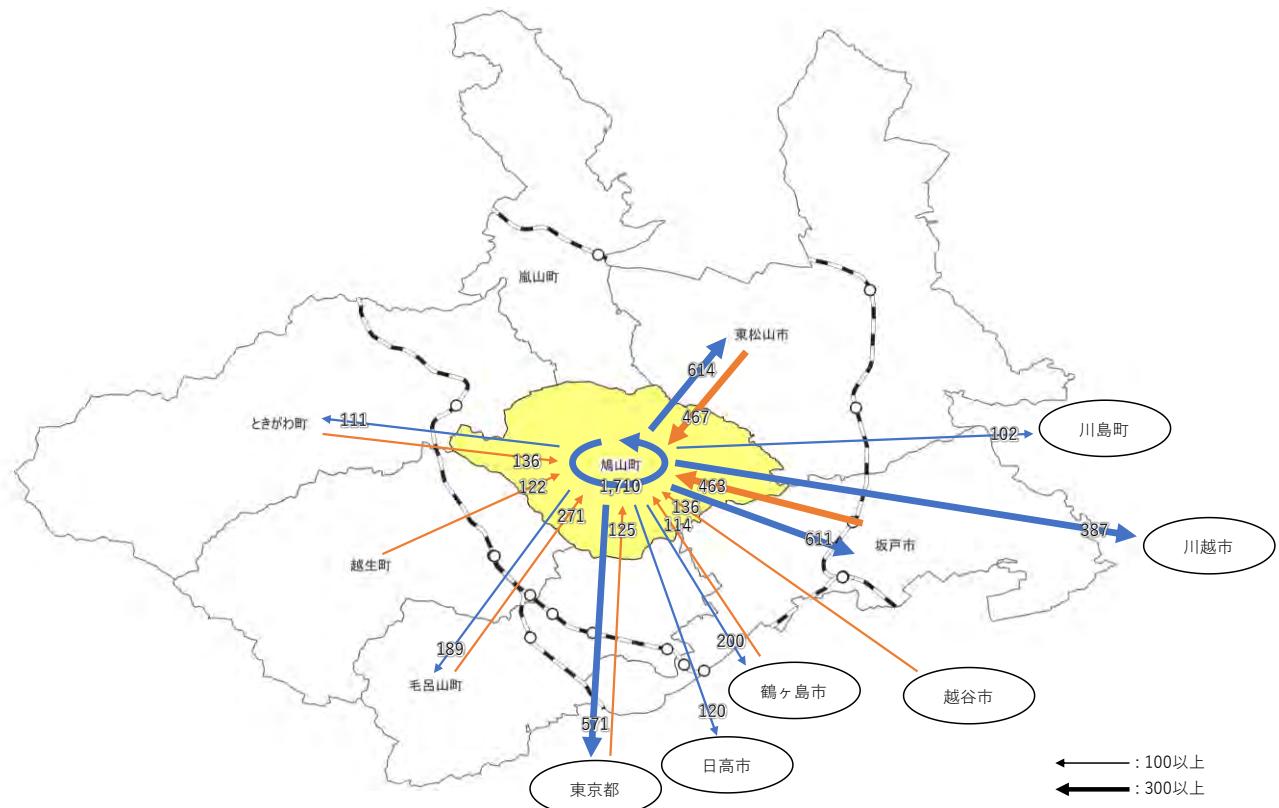
## 2.1.2 人の動き

### (1) 通勤目的の人の動き

鳩山町内に通勤している人が最も多く 1,710 人となっている。

市外への通勤をみると、東松山市(614 人)、坂戸市(611 人)、東京都(571 人)となっている。逆に鳩山町への通勤は東松山市からは 467 人、坂戸市からは 468 人、ときがわ町からは 136 人あり、周辺市町と鳩山町との間の移動も一定数見られる。

#### ■通勤目的における人の動き



資料：令和 2 年国勢調査

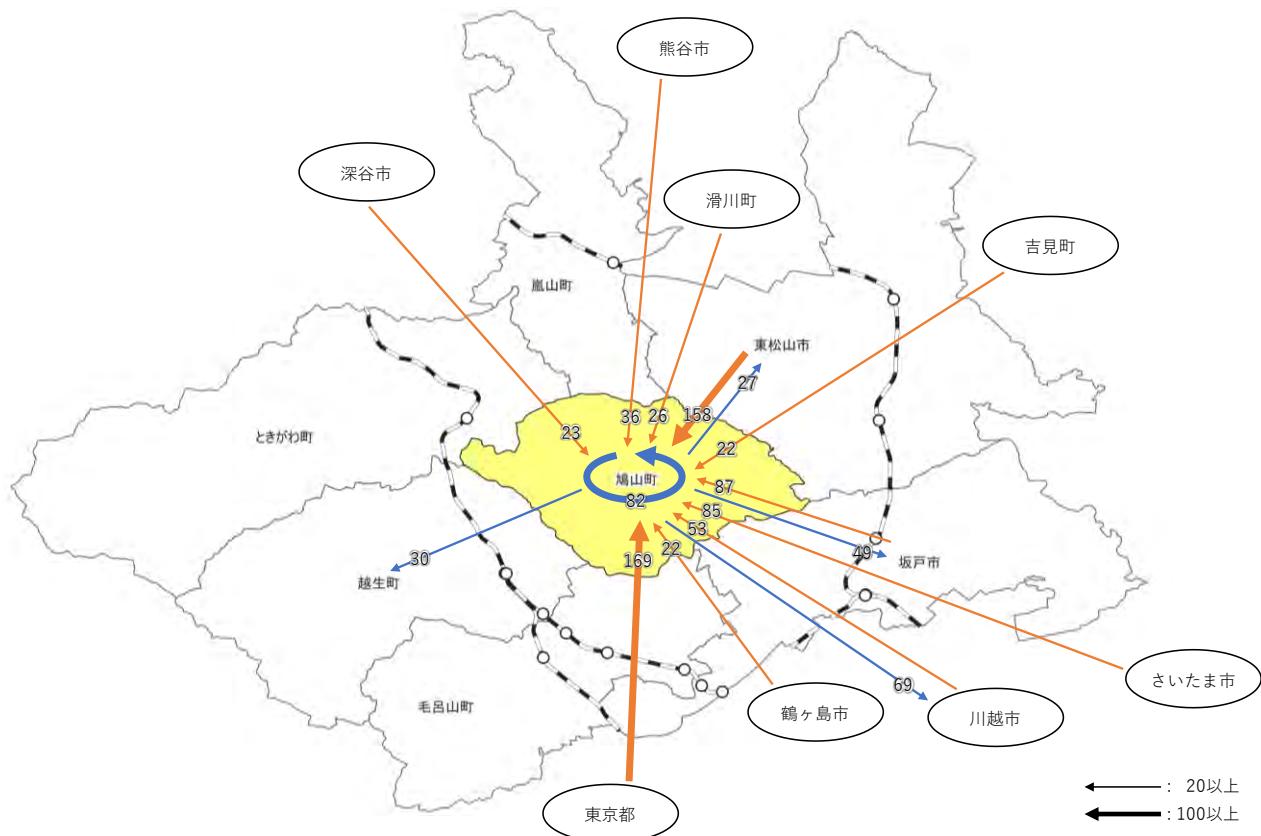
## (2) 通学目的の人の動き

鳩山町内に通学している人は82人となっている。

町外への通学をみると、川越市(69人)、坂戸市(49人)、越生町(30人)となっている。

また、町内には山村学園短期大学及び、東京電機大学があるため、鳩山町内に通学する人數が多く見られる。

### ■通学目的における人の動き

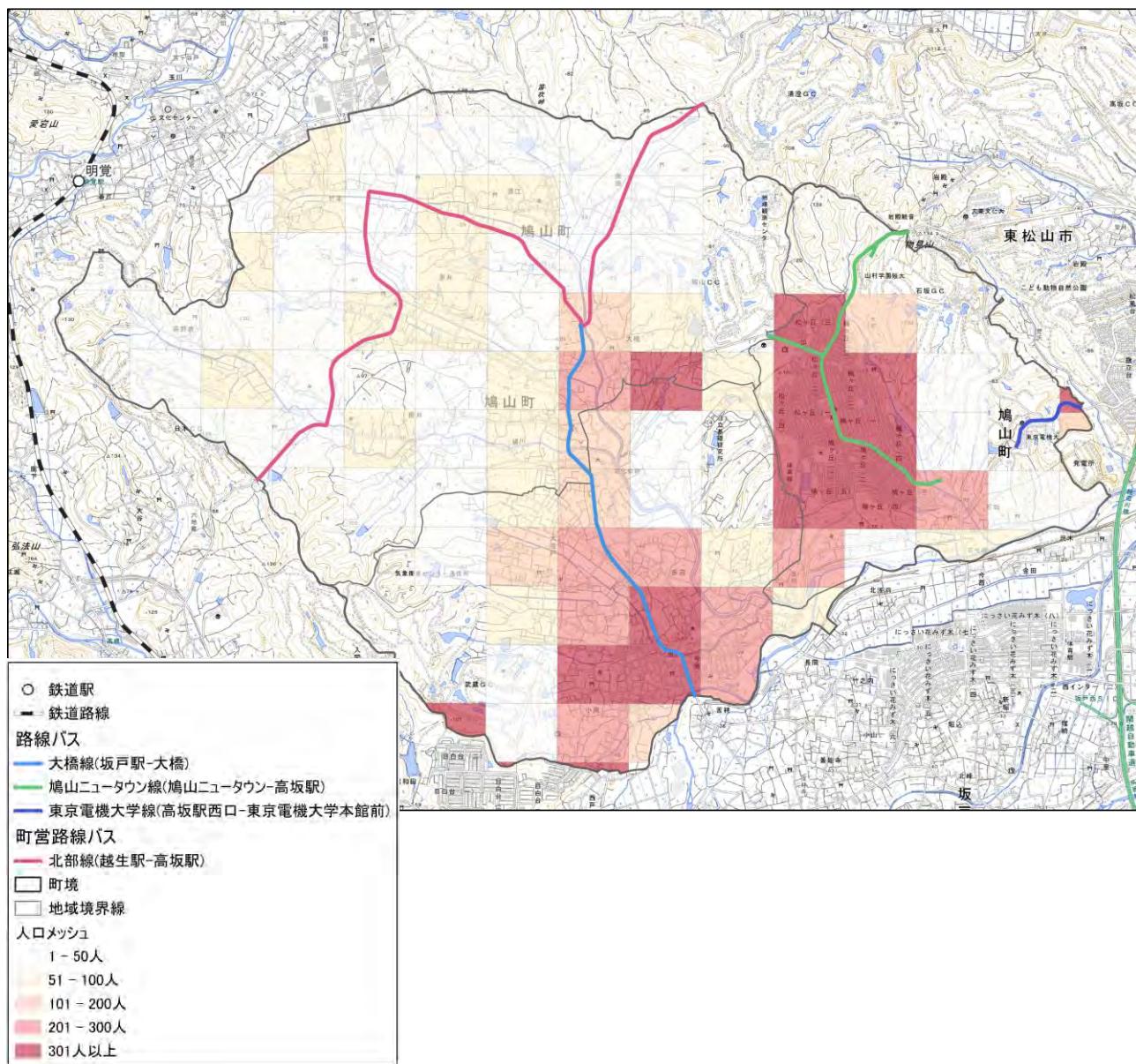


資料：令和2年国勢調査

## 2.1.3 人口分布と主要施設の立地状況

### (1) 概観

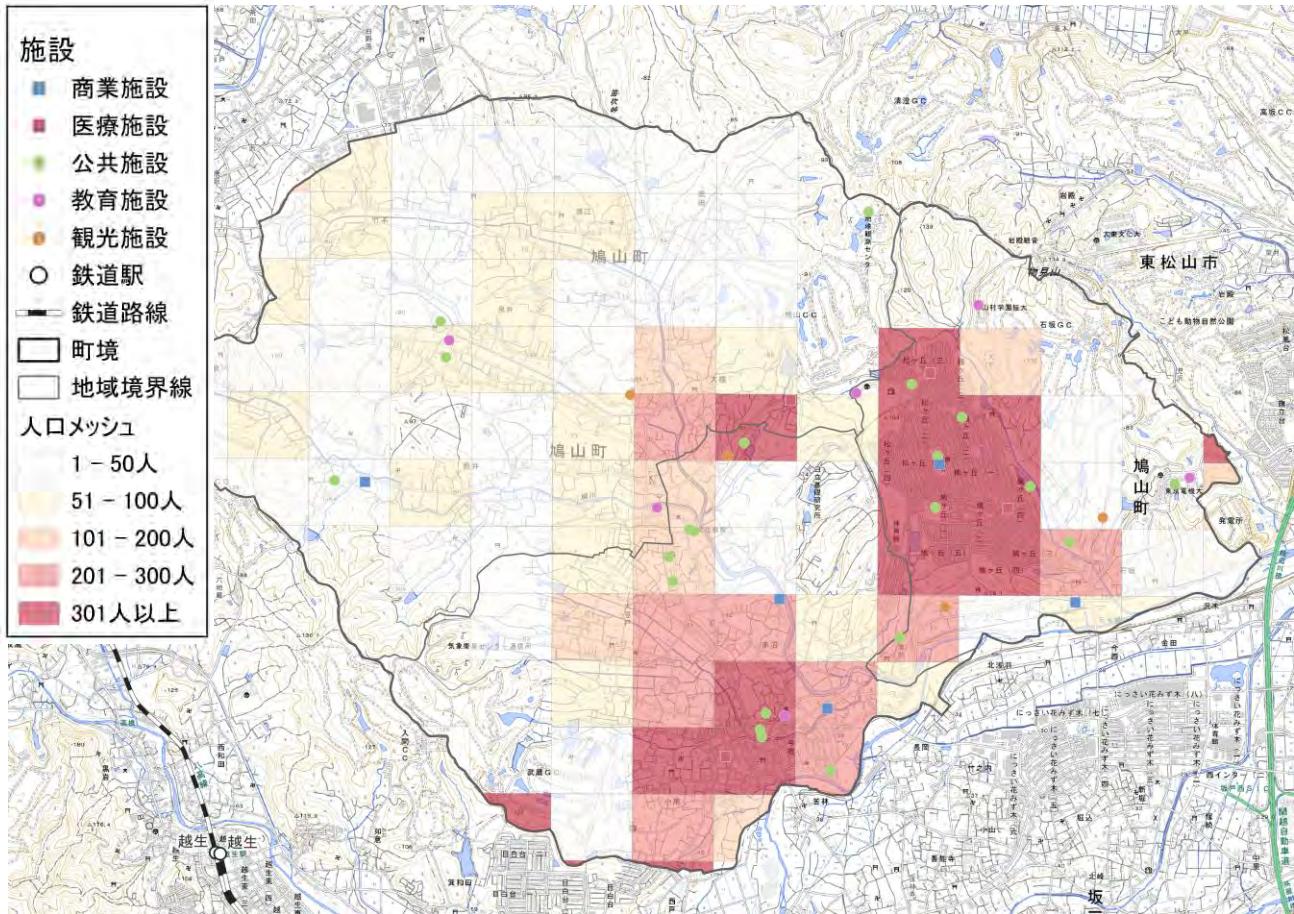
人口分布をみると、主に今宿交差点周辺及び、鳩山ニュータウン内が特に多いほか、麻見江木スピタル・ひばり保育園の周辺についても、一定の人口が集中しているため、町の東部に人口が多いことが分かる。



■人口分布

主要施設の立地状況をみると、鳩山ニュータウン内や県道 171 号線上を中心に、人口が集中している町の東部に施設の立地が多くなっている。

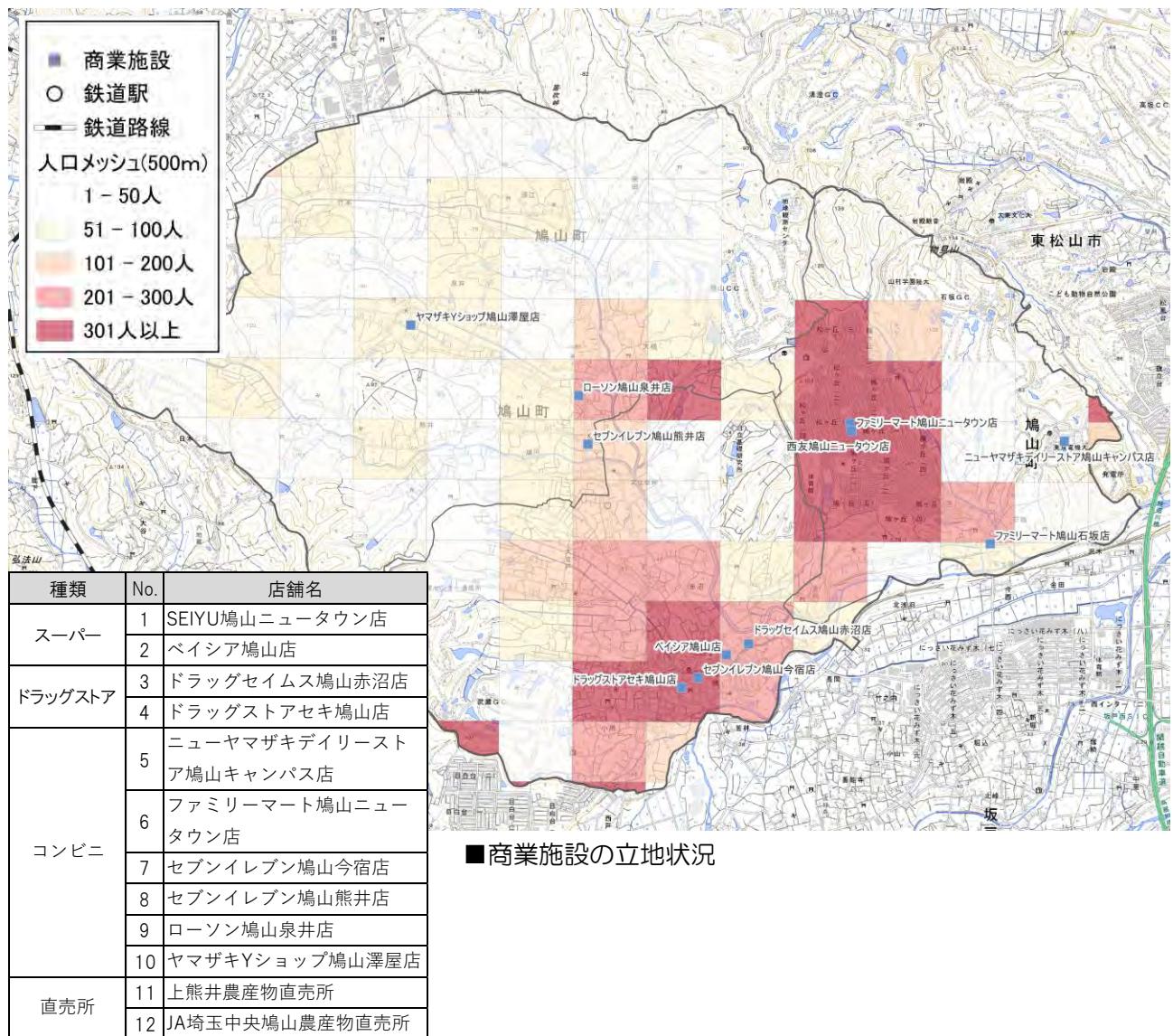
一方で、西部には施設がほとんどない状態となっている。



■施設等の立地状況

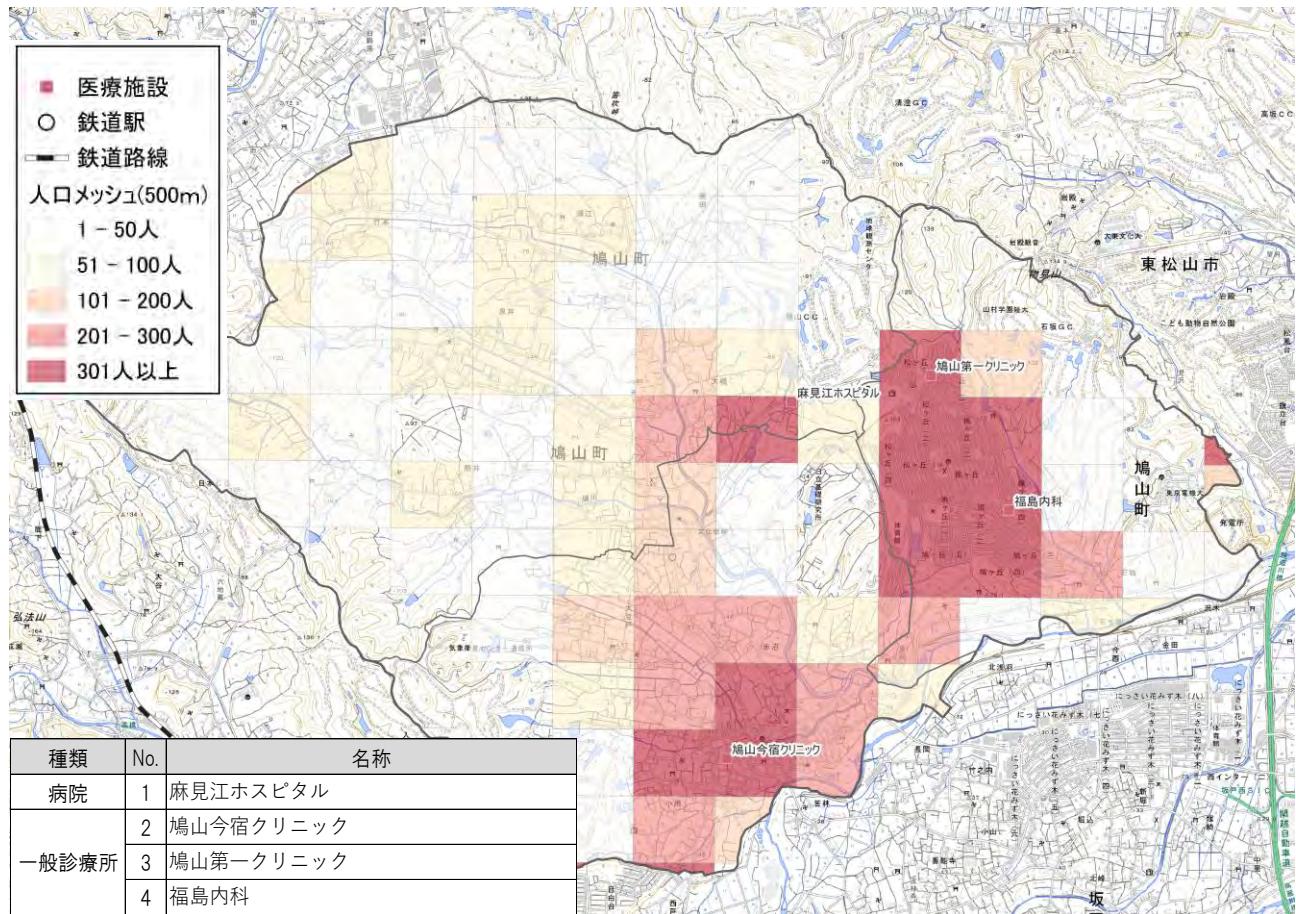
## (2) 主な商業施設

商業施設は、人口が集中している鳩山ニュータウンまたは今宿交差点をはじめ、町東部に集中している。



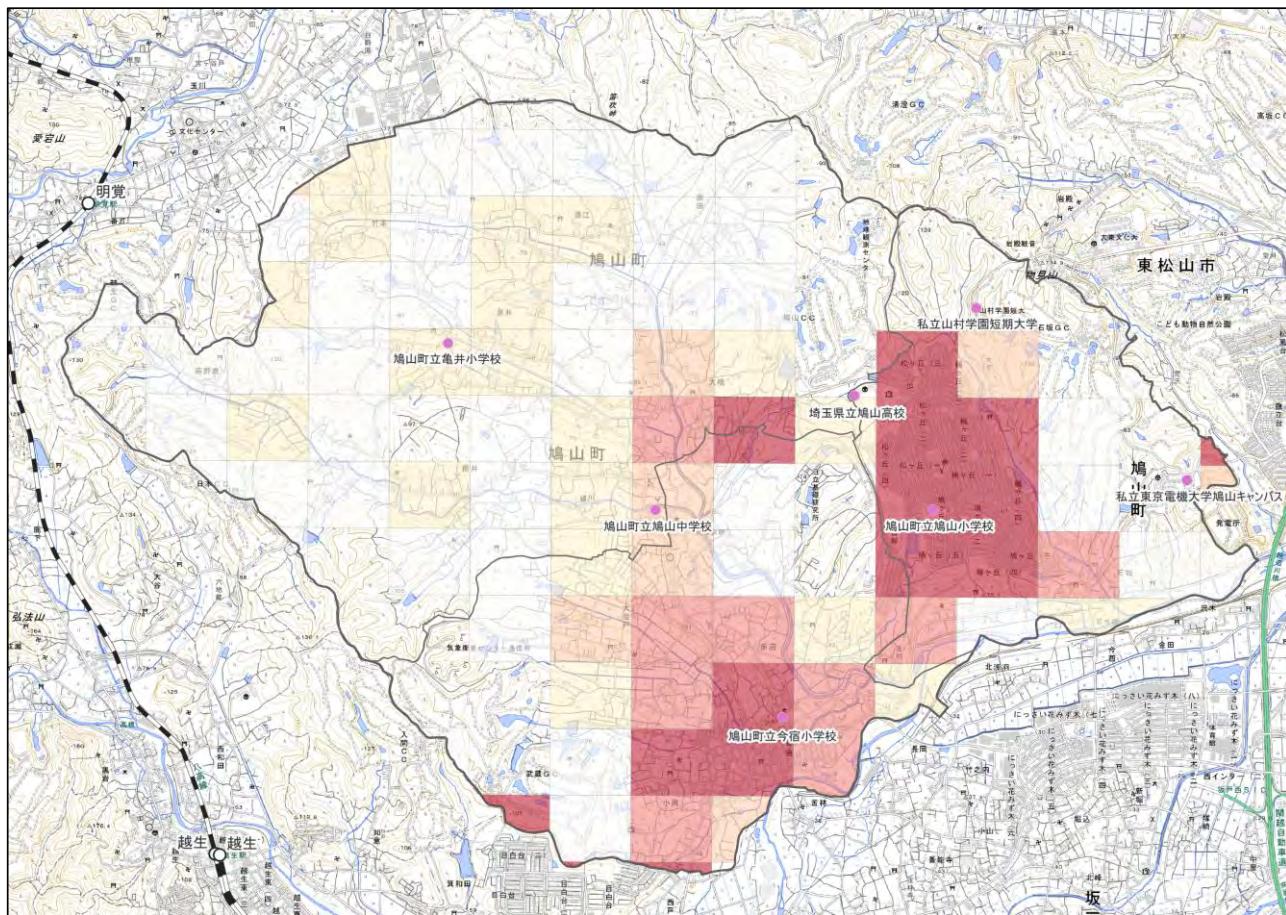
### (3) 主な医療施設

医療施設は、人口が集中している鳩山ニュータウンまたは今宿交差点をはじめ、町東部に集中している。



#### (4) 主な教育施設

教育施設は、人口が集中している鳩山ニュータウンまたは今宿交差点をはじめ、町東部を中心に点在している。



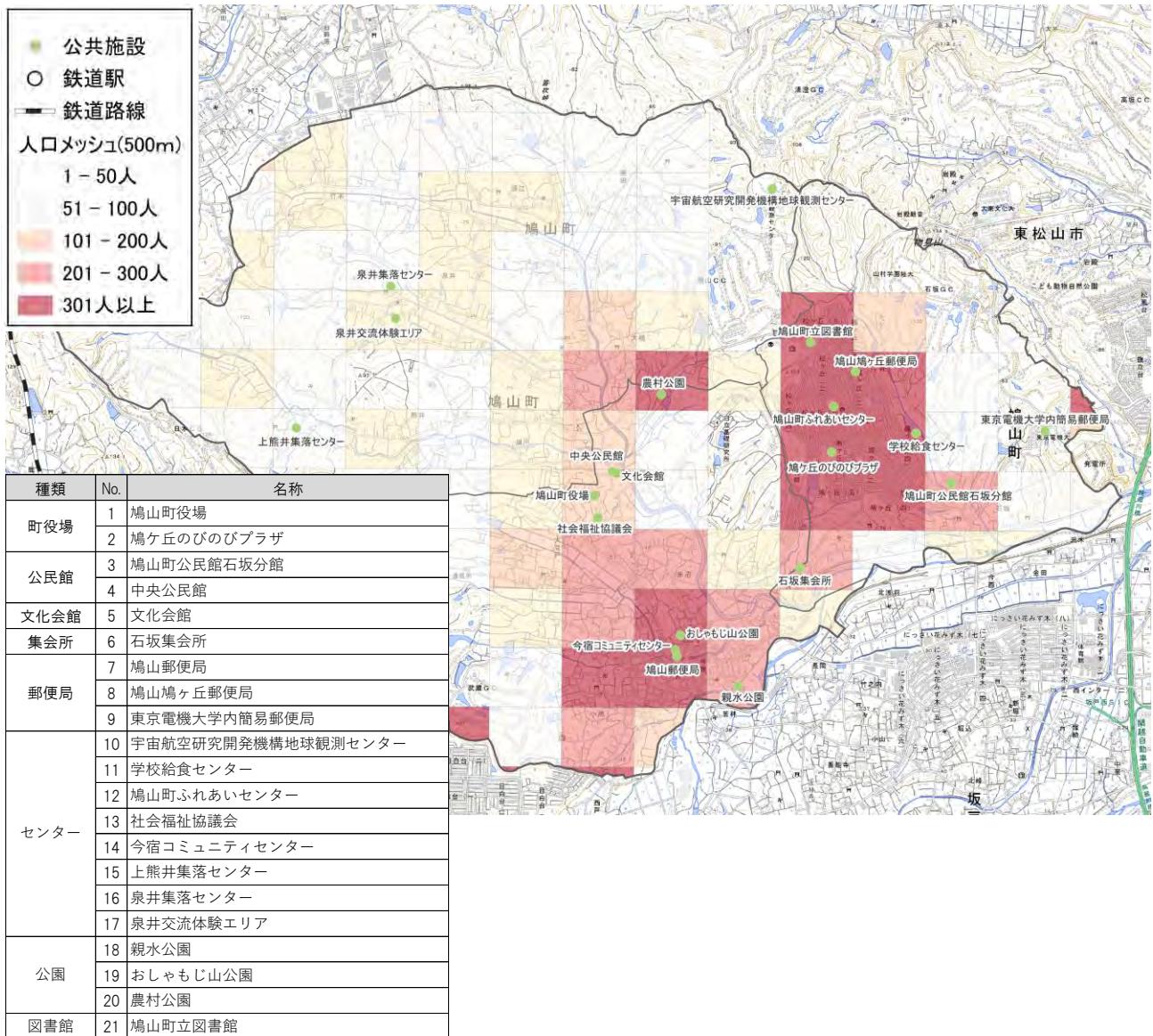
種類	No.	名称
小学校	1	鳩山町立鳩山小学校
	2	鳩山町立今宿小学校
	3	鳩山町立龜井小学校
中学校	4	鳩山町立鳩山中学校
高等学校	5	埼玉県立鳩山高校
大学	6	私立山村学園短期大学
	7	私立東京電機大学鳩山キャンパス

#### ■教育施設の立地状況

※県立鳩山高校については、令和6年3月現在、県立越生高校（越生町）との統合が予定されている。

## (5) その他の町内の主要施設

その他、公共施設をはじめとする主要施設では、町内全体に分布しているが、公共施設については、人口が集中している鳩山ニュータウンまたは今宿交差点をはじめ、町東部を中心に分布しており、西部に関しては泉井周辺に立地している。



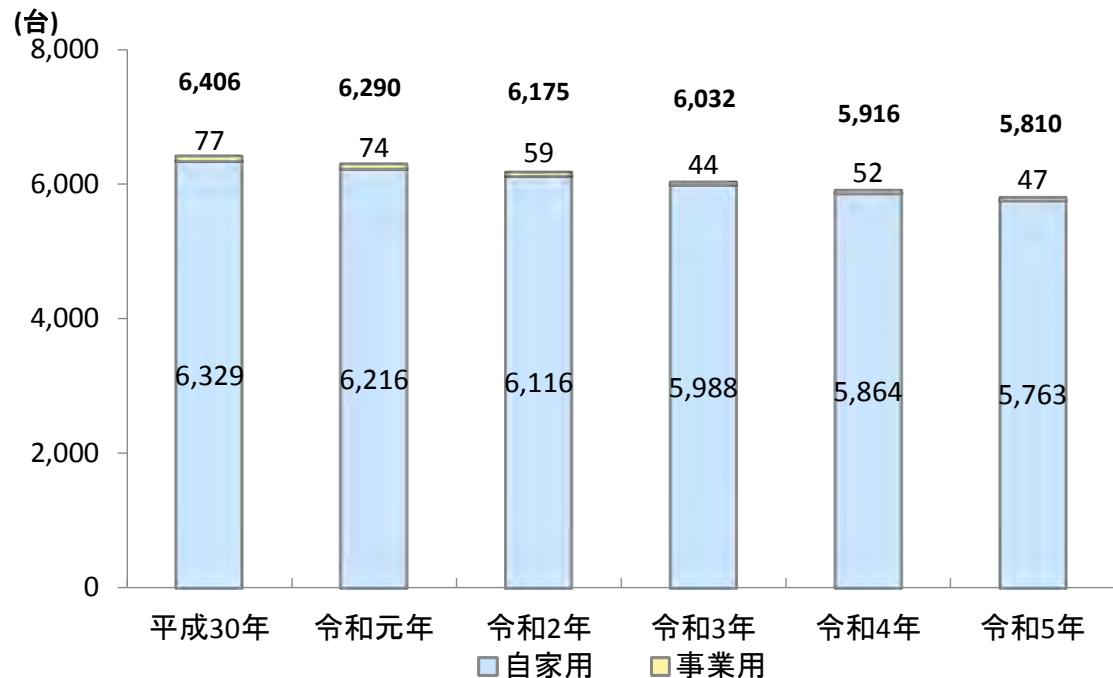
■その他主要施設の立地状況

## 2.1.4 自動車保有状況

自家用車の保有台数は、令和5（2023）年3月末現在で約5,800台となっています。

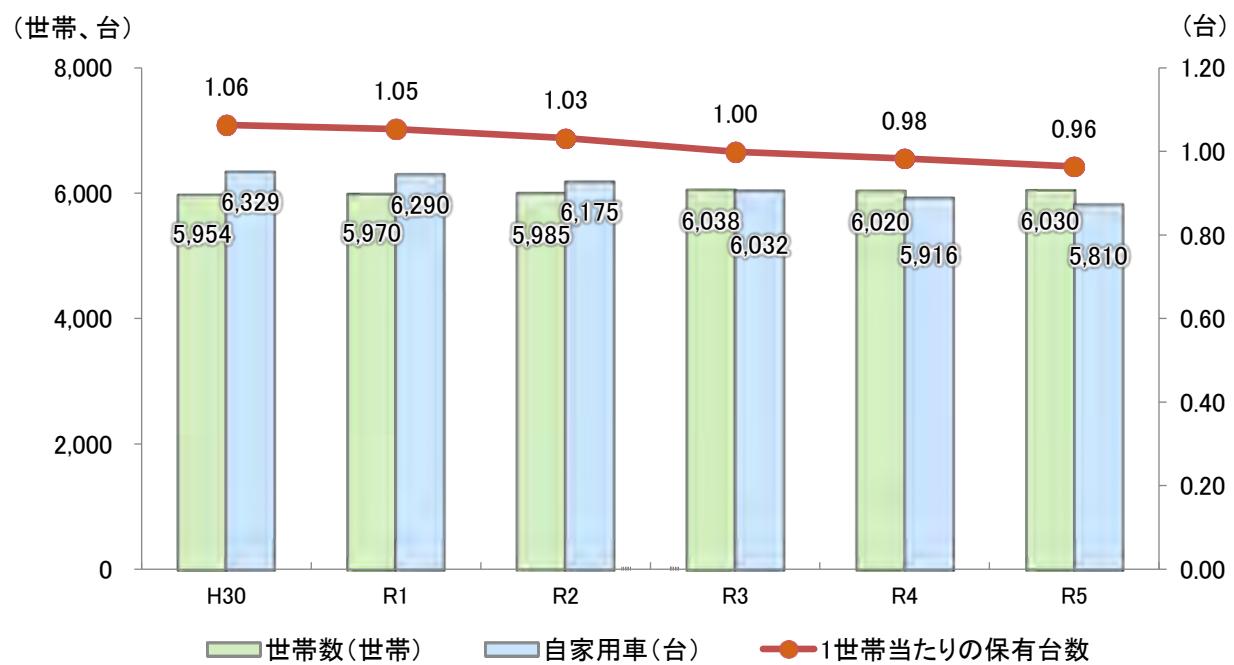
1世帯当たりの自家用車保有台数は、平成30年の1.06台から令和5年3月末現在で約0.96台と減少しており、地域公共交通環境整備・維持が今後とも必要となっている。

### ■自動車保有状況の推移



資料：関東運輸局統計情報(各年3月末現在)

### ■1世帯当たりの自家用車保有台数の推移



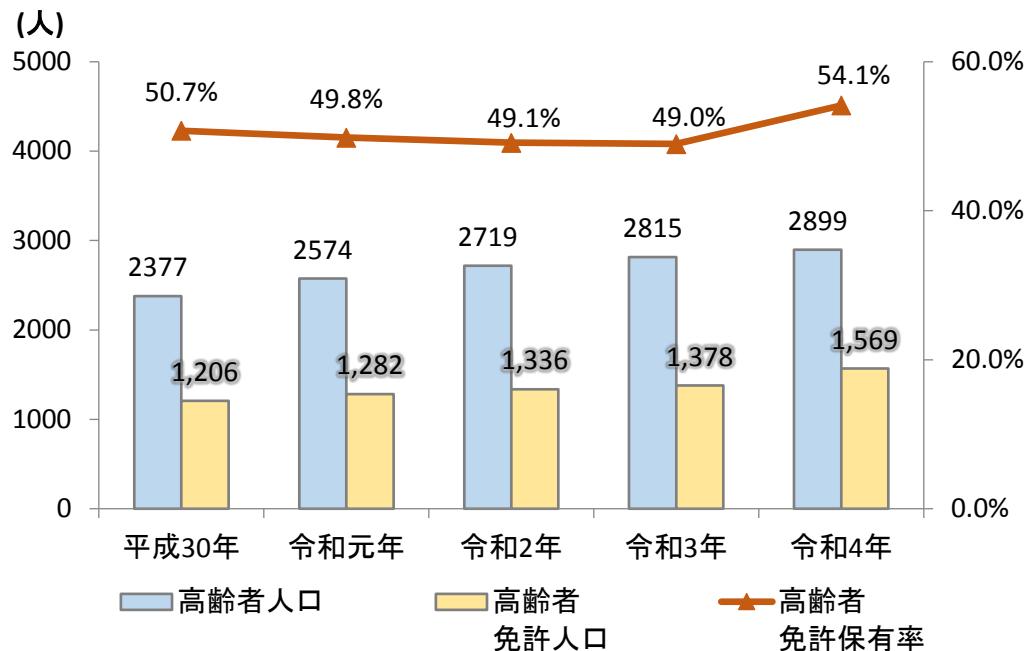
資料：関東運輸局統計情報(各年3月末現在)

## 2.1.5 高齢者の自動車運転

令和4年における75歳以上の高齢者の自動車運転免許保有率は54.1%。埼玉県内における高齢者自動車運転免許保有率(8.1%)と比較して非常に高い保有率にある。

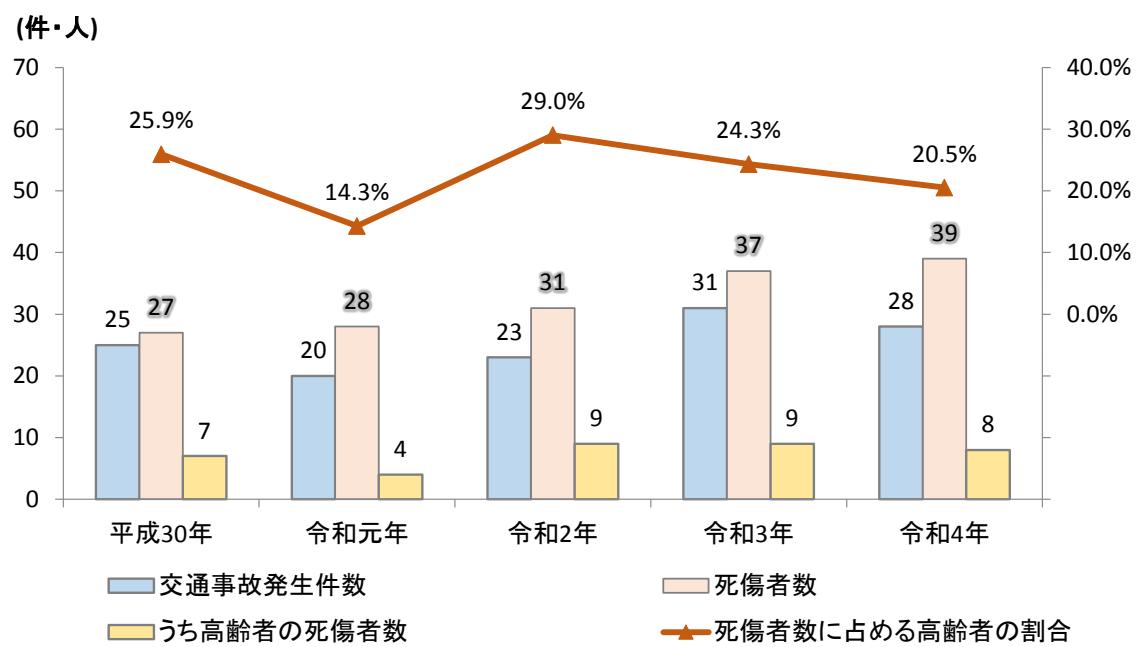
また、令和4年における交通事故死傷者数に占める65歳以上の高齢者の割合についても、埼玉県内における割合(15.7%)より高く、20.5%となっている。

### ■高齢者(75歳以上)の免許保有状況の推移



資料：鳩山町

### ■高齢者(65歳以上)の交通事故※発生状況の推移



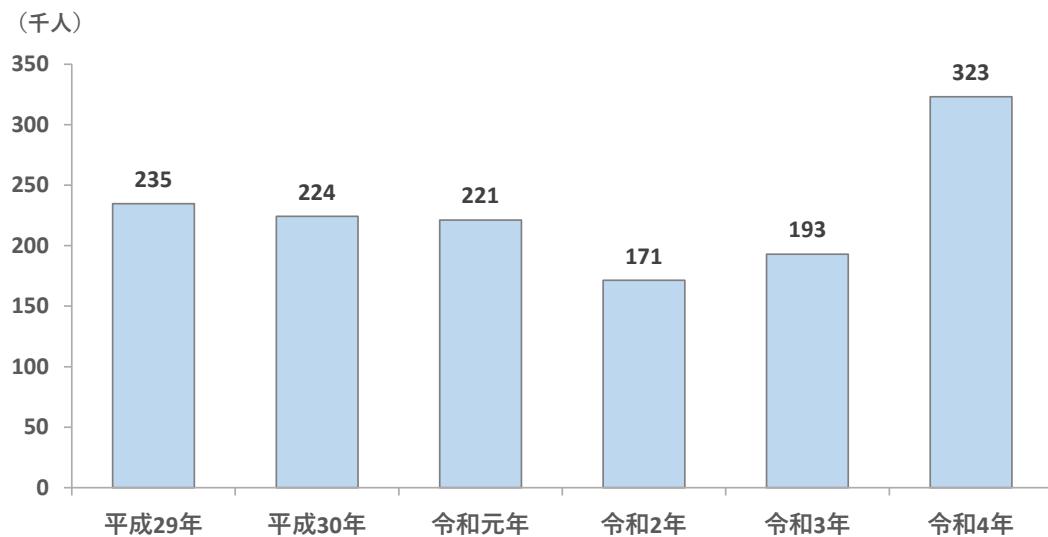
資料：鳩山町

## 2.1.6 町の主な観光施設の来客者数推移

鳩山町全体での観光入込客数を見ると、令和2~3年にかけては新型コロナウイルスの影響による減少が見られるが、令和4年度では後述の新規施設への来客増などの影響により、コロナ禍以前の水準を上回る数値となった。

施設ごとの傾向を見ると、主な観光施設である農村公園の令和4年度の年間来客数は22,305人であり、平成29年度からの6年間、同程度の来客数を維持している。鳩山町コミュニティ・マルシェは、令和2年度に新型コロナウイルスの影響から来客者数が落ち込んだが、令和3年度から再び来客者数が増加し、令和4年度は53,869人の来客数となった。令和3年度に新規オープンした泉井交流体験エリアと上熊井農産物直売所は、町営路線バス北部線の停留所が設置されているが、今後も町外に向けて地域公共交通と結びつけた事業の実施やPRが課題となってくる。

### ■鳩山町の観光入込客数の推移



資料：埼玉県観光入込調査報告書

### ■主な観光施設の入込客数

(人)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
鳩山町農村公園	21,882	21,073	18,849	22,461	22,144	22,305
鳩山町コミュニティ・マルシェ	12,480	22,745	28,490	27,111	48,417	53,869
泉井交流体験エリア					6,747	11,247
上熊井農産物直売所					34,377	143,194
合計	34,362	43,818	47,339	49,572	111,685	230,615

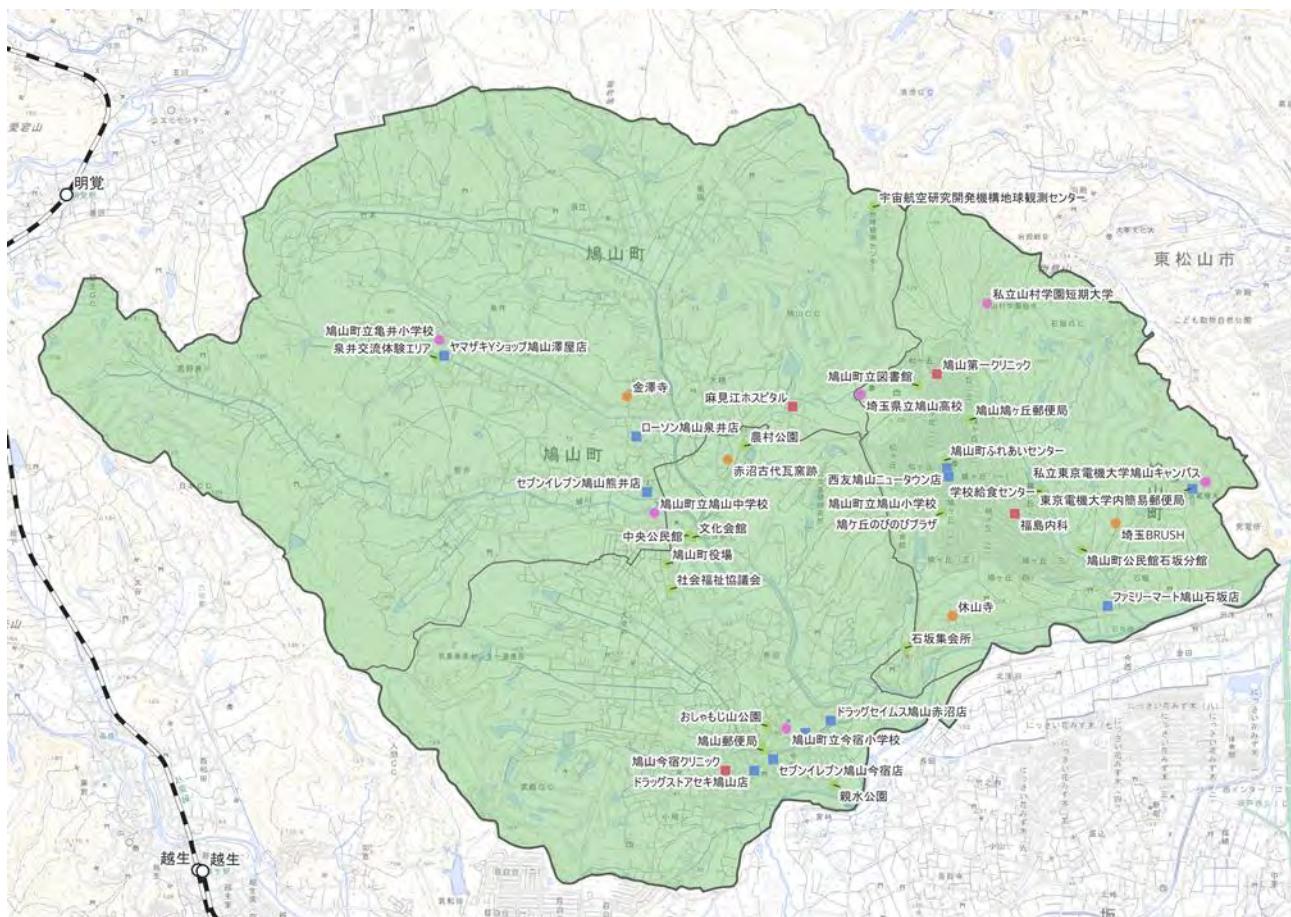
資料：鳩山町提供(令和5年8月末現在)

## 2.1.7 地域特性からみた現状・問題点

本町の人口は令和4（2022）年1月時点で約13,300人となっており、経年的に減少傾向にある。また、将来人口推計ではすべての年齢層において、概ね経年的な減少が予測されるなど、今後の人口推移においても継続的な減少が示唆されている。一方で、高齢化率については経年に増加の傾向がみられており、将来的な高齢化への対応が必要である。

定期的な人流に関して、通勤関連では町内の移動が多いほか、町外方面では東松山市、東京都、川越市の順に多くなっており、町内・町外それぞれへの移動について考慮する必要がある。また、通学関連では、東京都・東松山市からの流入が多く、町内での移動を上回っている。

施設分布については、主要施設は人口が大きく集中している東部（鳩山ニュータウン・県道171号線上）に多く立地しており、これらから離れた地域については、公共交通での移動手段が必要と考えられる。



## 2.2 地域公共交通の現状

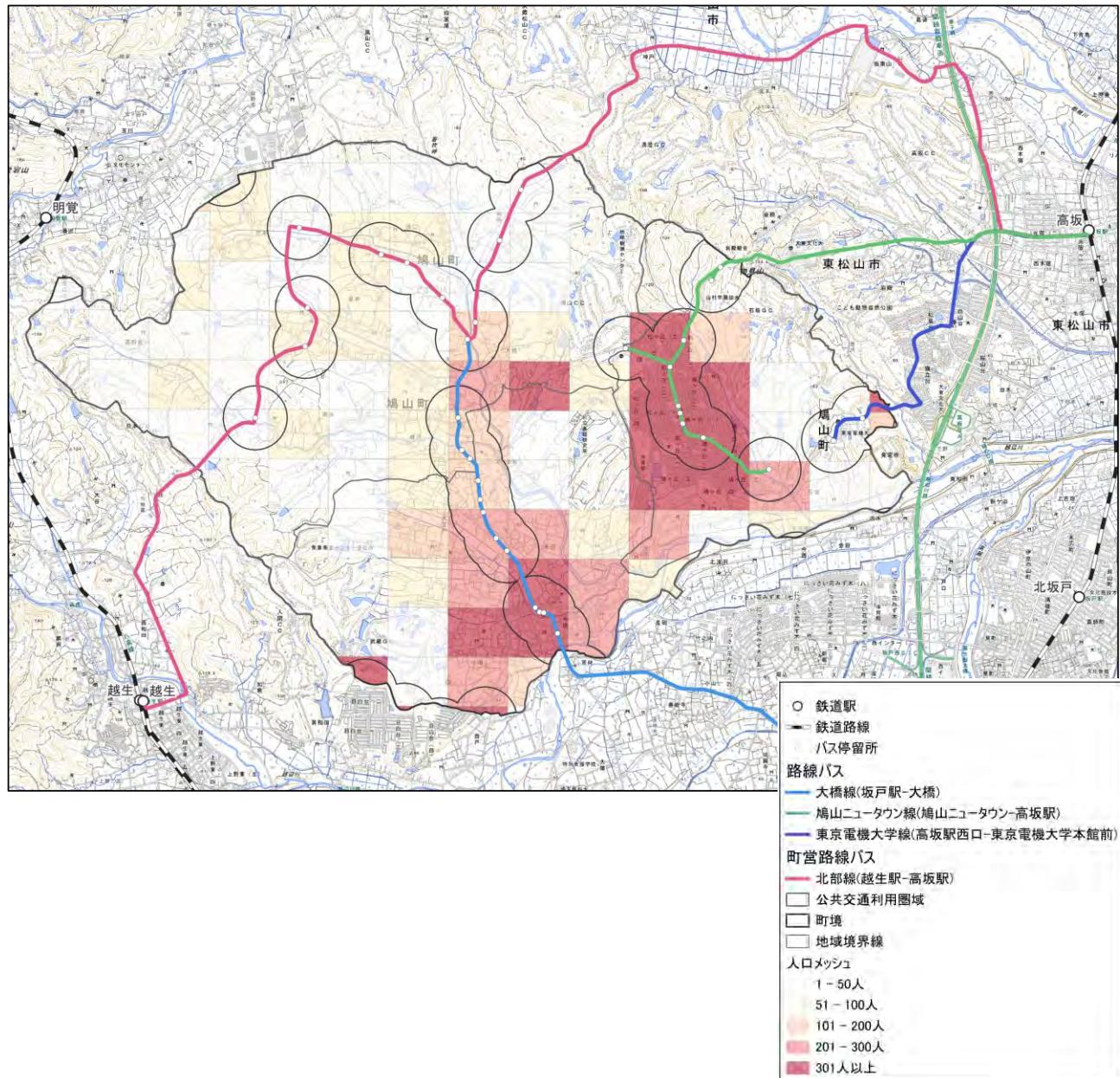
### 2.2.1 既存の地域公共交通網

本町の公共交通は、主に町外へ接続する路線バスが、広域移動の軸となっている。

また、周辺市町との地域間移動を担う公共交通として、上記の路線バスが活用されているほか、町内全域を運行範囲とするデマンド交通『はとタク』が運行しており、郊外部・山間部の小規模集落などの輸送を担っている。また、このデマンド交通については、隣接する坂戸市入西地域への買い物需要、毛呂山町の埼玉医科大学病院への通院需要に対応して、それぞれに運行している。

バス交通（デマンド交通を除く）が利用可能な人口は約 9,500 人であり、全人口の約 72% となっている。（総務省統計局の令和2年国勢調査地域メッシュデータを利用して、鉄道・バス交通のカバー圏域人口を算出。その場合、カバー圏域を鉄道については駅から徒歩 800m 以内、バスについては停留所から徒歩 300m 以内とした。）

#### ■鳩山町内の地域公共交通網



## 2.2.2 地域公共交通の利用状況

### (1) 町営路線バス

#### 1) 運行概要（町営路線バス）

町営路線バスは、北部線が運行されている。

#### ■町営路線バスの運行概要

①北部線	
運行区間	越生駅（東口）～上熊井～高坂駅（西口）
運行時間帯	始発便：上熊井農産物直売所 停留所 6:25 発（上り） 高坂駅西口 停留所 7:10 発（下り） 最終便：越生駅東口 停留所 19:48 発（上り） 高坂駅西口 停留所 21:05 発（下り）
運行本数	高坂駅方面：11 本 越生駅方面：5 本・上熊井農産物直売所（止）：7 本
運賃	距離制（180 円～530 円）
運行事業者	川越観光自動車株式会社（運行委託）
使用車両	中型路線バス車両（川越観光自動車株式会社所有）
補助事業の活用	特別交付税措置（総務省）

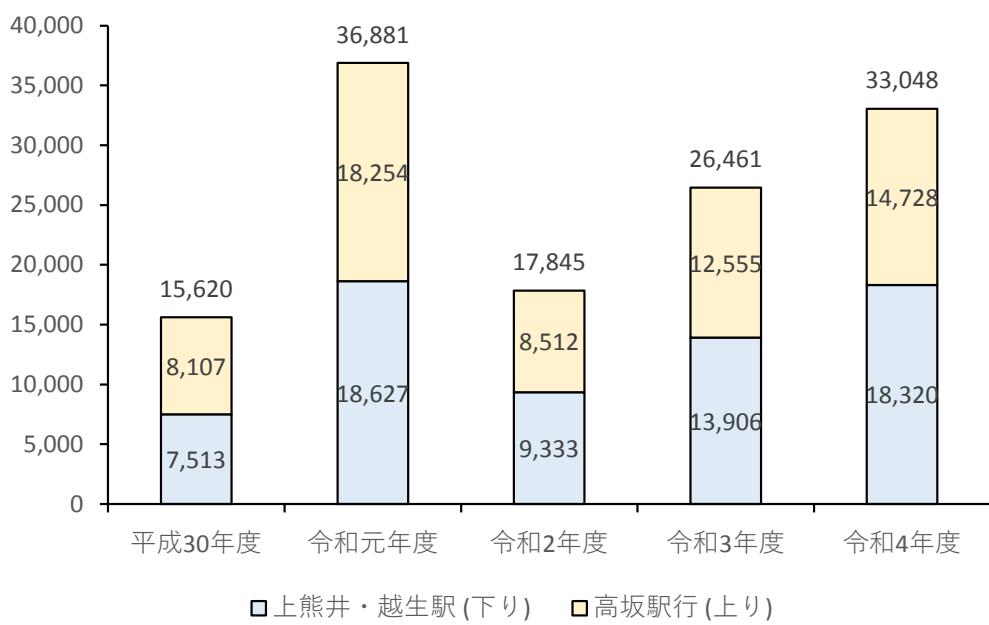
#### 2) 利用状況（町営路線バス）

年度別輸送人員について、令和2（2020）年度は令和元（2019）年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少したものの、令和3（2021）年度、4（2022）年度にかけて増加に転じ、令和元年度の水準に戻りつつある。また、月別の輸送人数の推移を見ると、11月、10月が特に多くなっている。

併せて、停留所別の輸送人員を見ると、町外では、県立越生高校前、化石と自然の博物館での乗降が特に多く、町内では、泉井、良品計画鳩山センターでの乗降が多く見られる。

#### ■町営路線バスの年度別輸送人数の推移

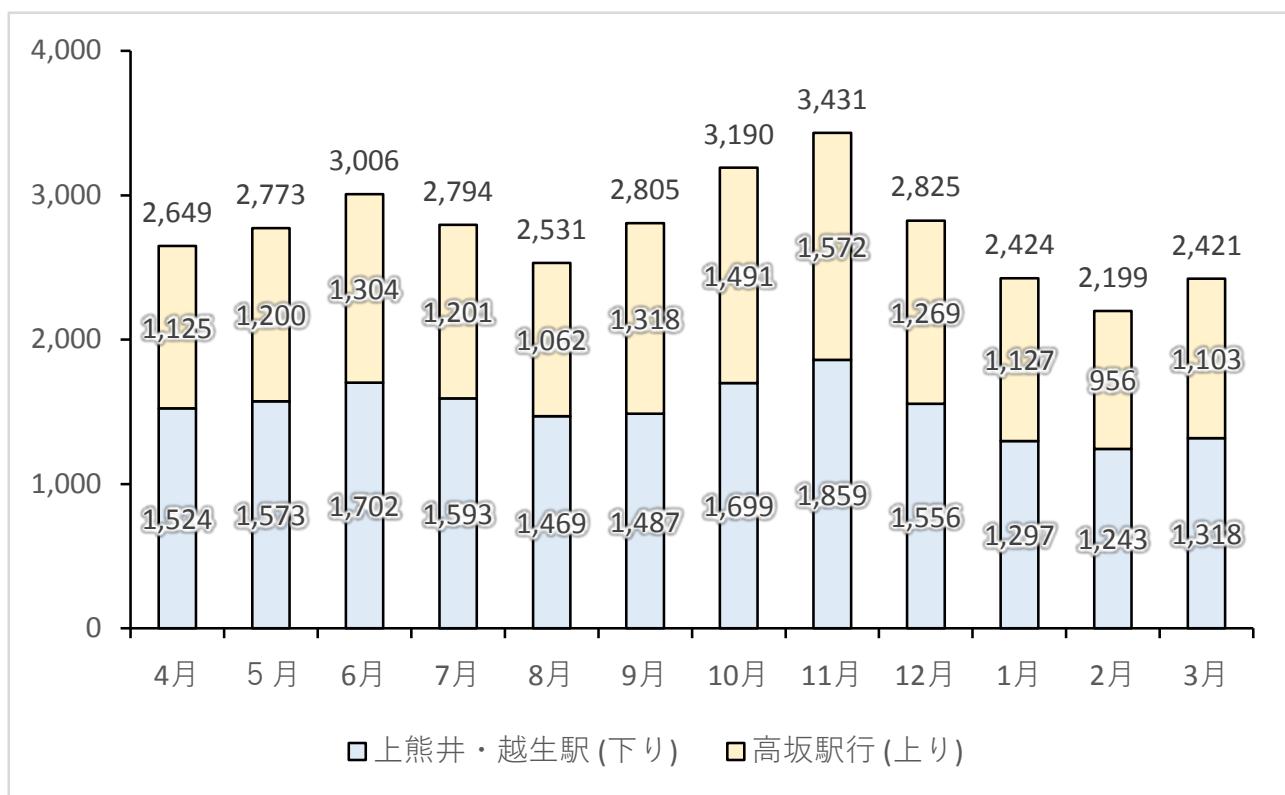
（単位：人）



資料：鳩山町

■月別輸送人数の推移（令和4年度）

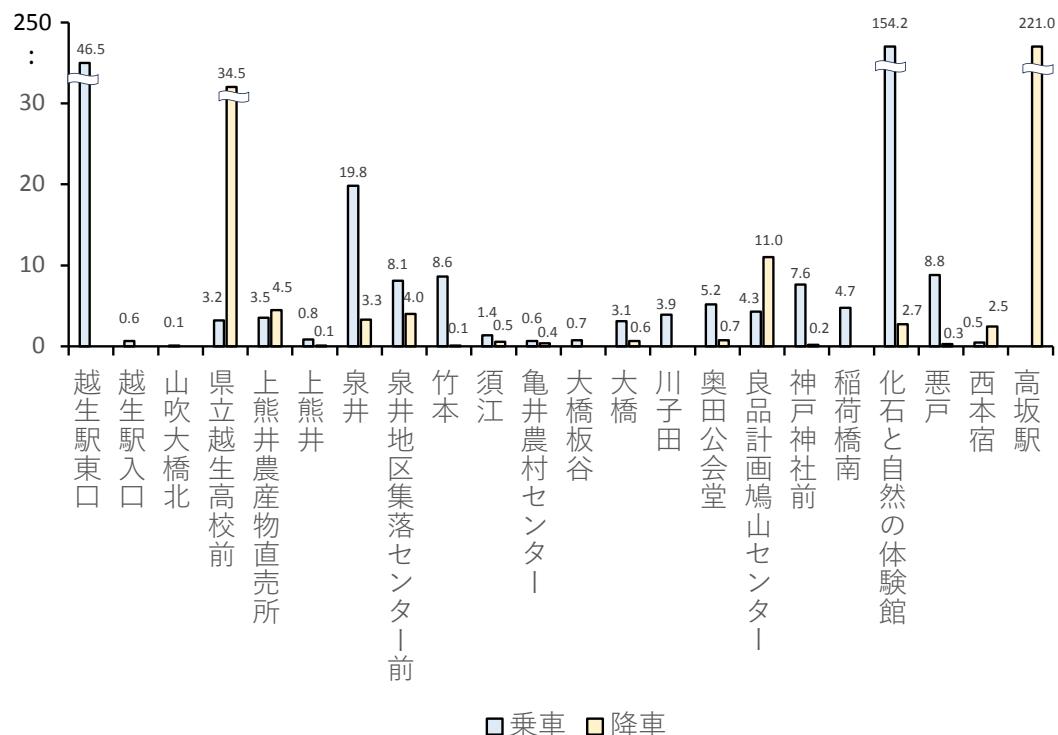
（単位：人）



資料：鳩山町

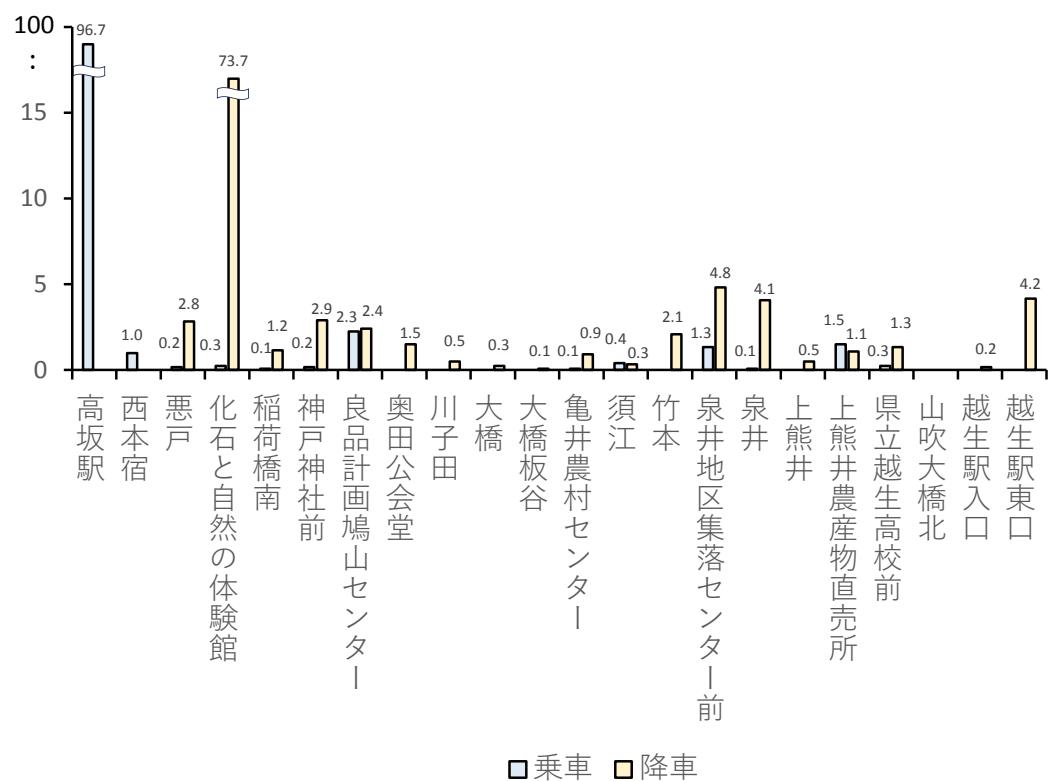
■停留所別1便あたりの年間乗降者数（上：上り、下：下り・令和4年度）

(単位: 人)



□乗車 □降車

(単位: 人)

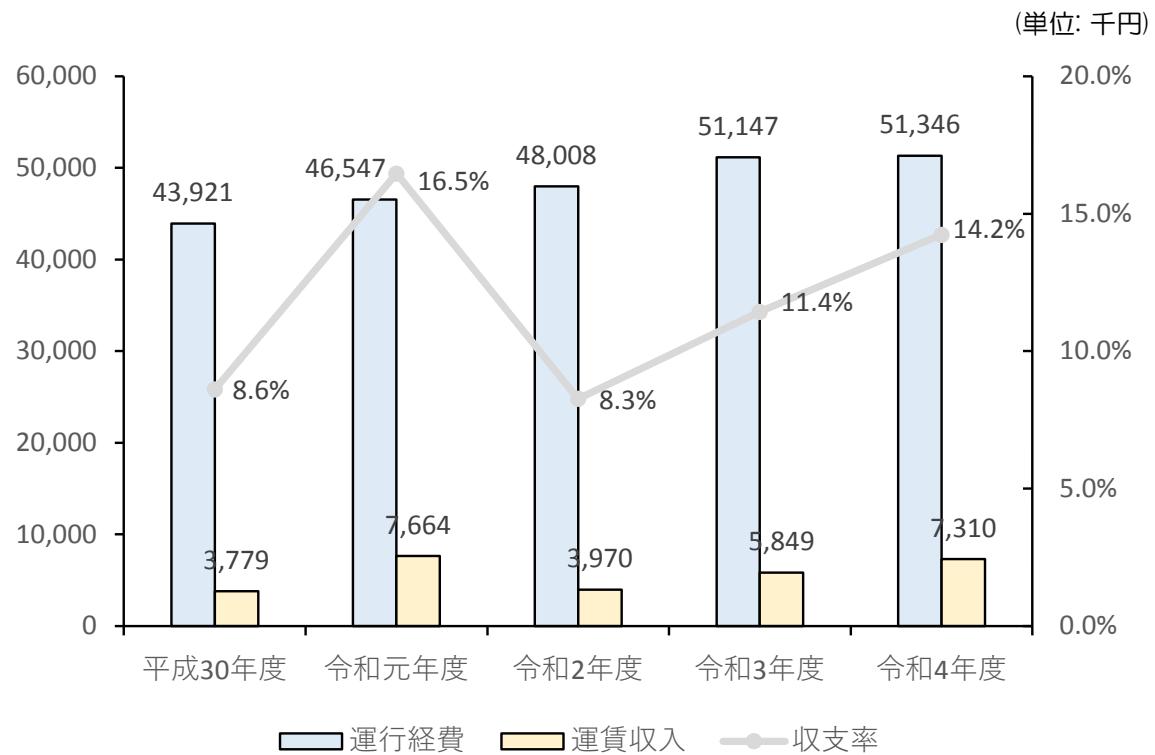


□乗車 □降車

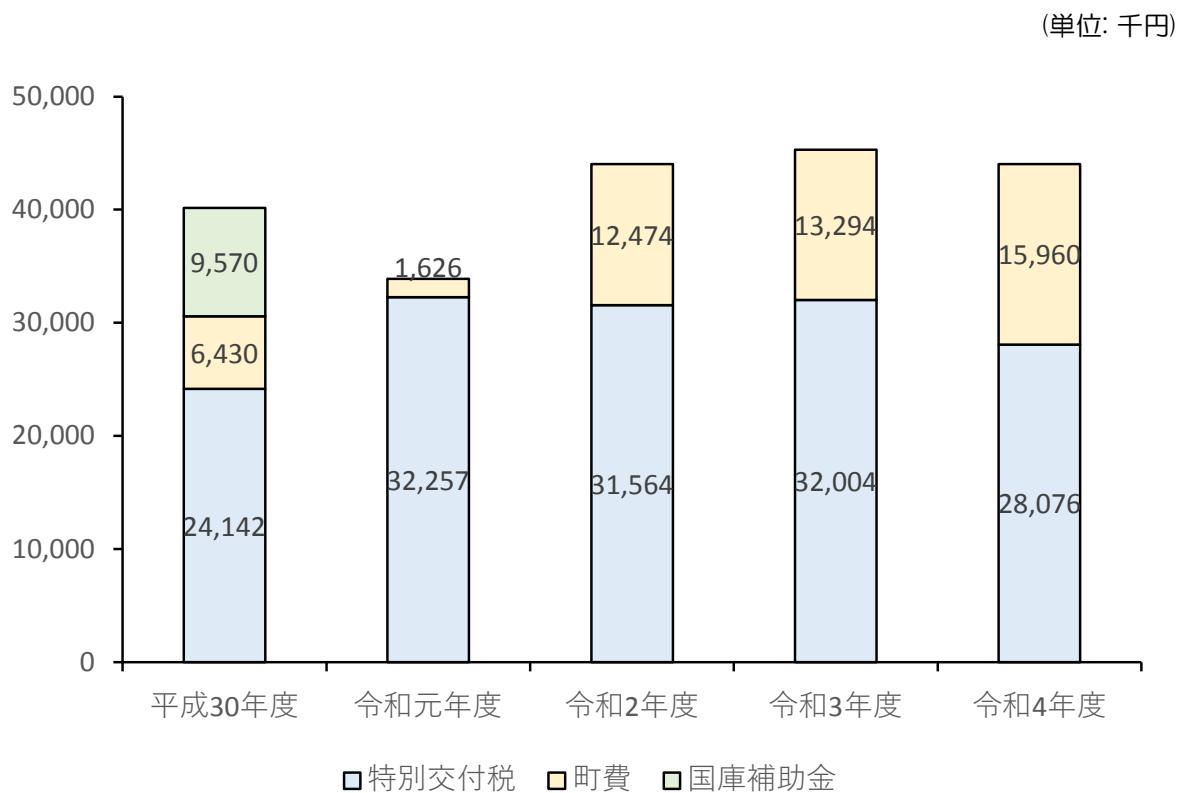
### 3) 収支（町営路線バス）

令和4（2022）年度の運行に係る収支は、▲44,036千円、収益率については経年的に増加傾向にあり、令和3（2021）年度から令和4（2020）年度にかけて、11.4%から14.2%となっている。

#### ■町営路線バスの収支状況



#### ■町営路線バスにおける行政の運行負担額



## (2) 民間路線バス

### 1) 運行概要

民間路線バスは、川越観光自動車株式会社により3路線が運行されている。

#### ■民間路線バスの運行概要

①大橋線	
運行区間	大橋～坂戸駅北口
運行時間帯	始発便：坂戸駅北口 停留所 6:51 発（上り） 大橋 停留所 5:57 発（下り） 最終便：坂戸駅北口 停留所 21:55 発（上り） 大橋 停留所 21:27 発（下り）
運行本数	坂戸駅北口方面：34本（休日：23本） 大橋方面：34本（休日：21本）
運賃	距離制（180円～390円）
運行事業者	川越観光自動車株式会社（運行委託）
使用車両	中型路線バス車両（川越観光自動車株式会社所有）
②鳩山ニュータウン線	
運行区間	高坂駅西口～鳩山ニュータウン
運行時間帯	始発便：高坂駅西口 停留所 6:30 発（上り） 鳩山ニュータウン 停留所 5:36 発（下り） 最終便：高坂駅西口 停留所 22:59 発（上り） 鳩山ニュータウン 停留所 22:07 発（下り）
運行本数	高坂駅西口方面：67本（休日 65本） 鳩山ニュータウン方面：67本（休日 64本）
運賃	距離制（200円～320円）
運行事業者	川越観光自動車株式会社（運行委託）
使用車両	中型路線バス車両（川越観光自動車株式会社所有）
③東京電機大学線	
運行区間	高坂駅西口～東京電機大学本館前
運行時間帯	始発便：高坂駅西口 停留所 6:11 発（上り） 東京電機大学本館前 停留所 5:54 発（下り） 最終便：高坂駅西口 停留所 22:32 発（上り） 東京電機大学本館前 停留所 21:19 発（下り）
運行本数	高坂駅西口方面：40本（休日：34本） 東京電機大学本館前方面：39本（休日：33本）
運賃	距離制（280円）
運行事業者	川越観光自動車株式会社（運行委託）
使用車両	中型路線バス車両（川越観光自動車株式会社所有）

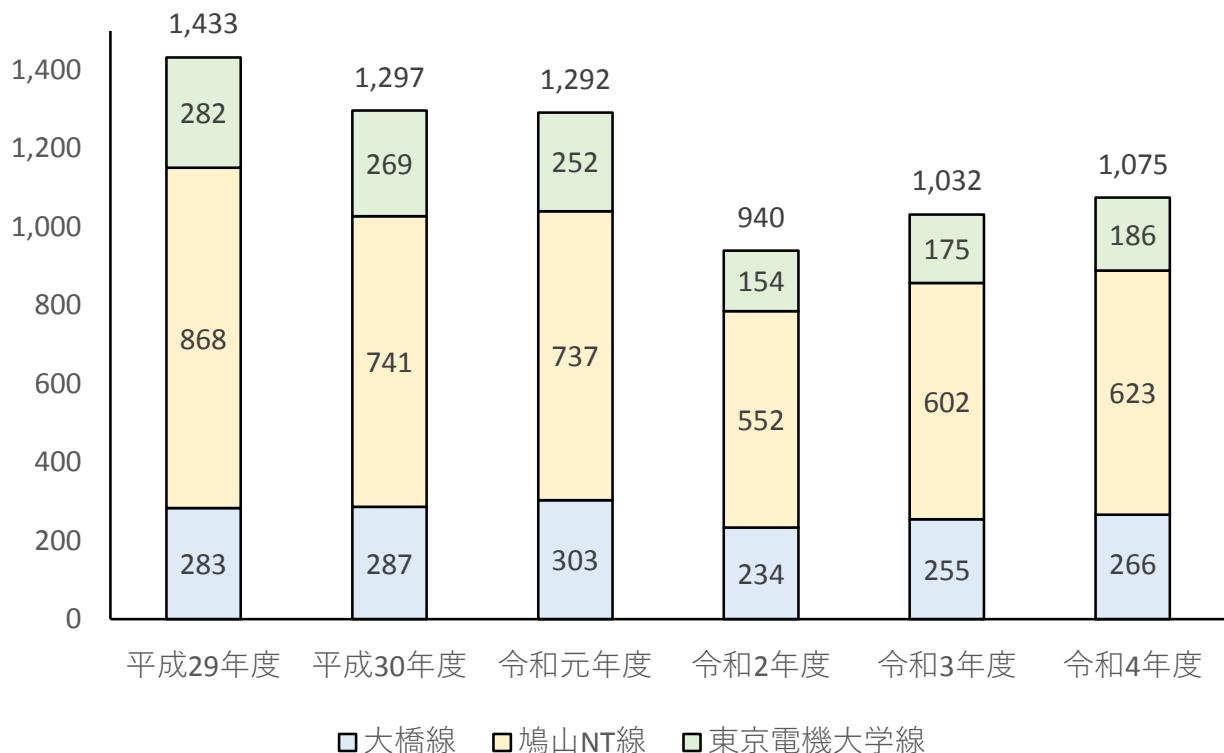
補助事業の活用	なし
---------	----

## 2) 利用状況

年度別輸送人数について、令和2（2020）年度は令和元（2019）年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。令和3（2021）年度、4（2022）年度になるにつれ増加傾向にある。

### ■年度別輸送人数の推移

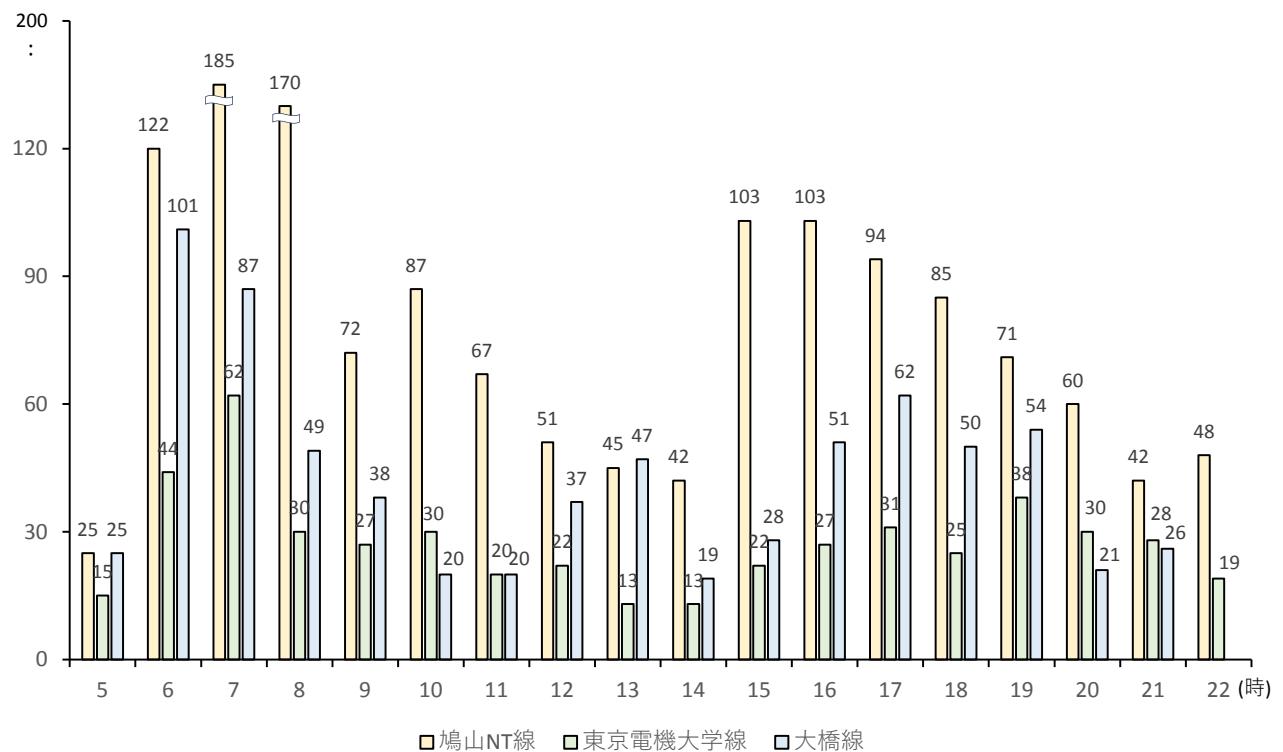
(単位: 千人)



資料：鳩山町

## ■時間帯別1日当たりの平均輸送人数の推移

(単位:人/日)



資料:事業者提供

※各輸送人数は、事業者にて実施した以下の期間の利用調査結果を整理

- ・鳩山ニュータウン線: 令和4(2022)年9月26日～30日・10月17日～18日実施
- ・電機大学線: 令和4(2022)年9月26日～30日実施
- ・大橋線: 令和5(2023)年7月5日実施

### (3) デマンド交通

#### 1) 運行概要

本町では、町民とその介助者を対象に、町内における生活移動に係る公共交通手段として、デマンドタクシー「はとタク」を運行している。同サービスは、本町全域を運行エリアとするほか、町民の利用が多い商業施設が集積している坂戸市の入西地区、北坂戸地区周辺への利用も可能となっている。また、毛呂山町の埼玉医科大学病院を往復する「埼玉医大便」が別途運行されており、本町における重要な医療機関へのアクセスを担っている。

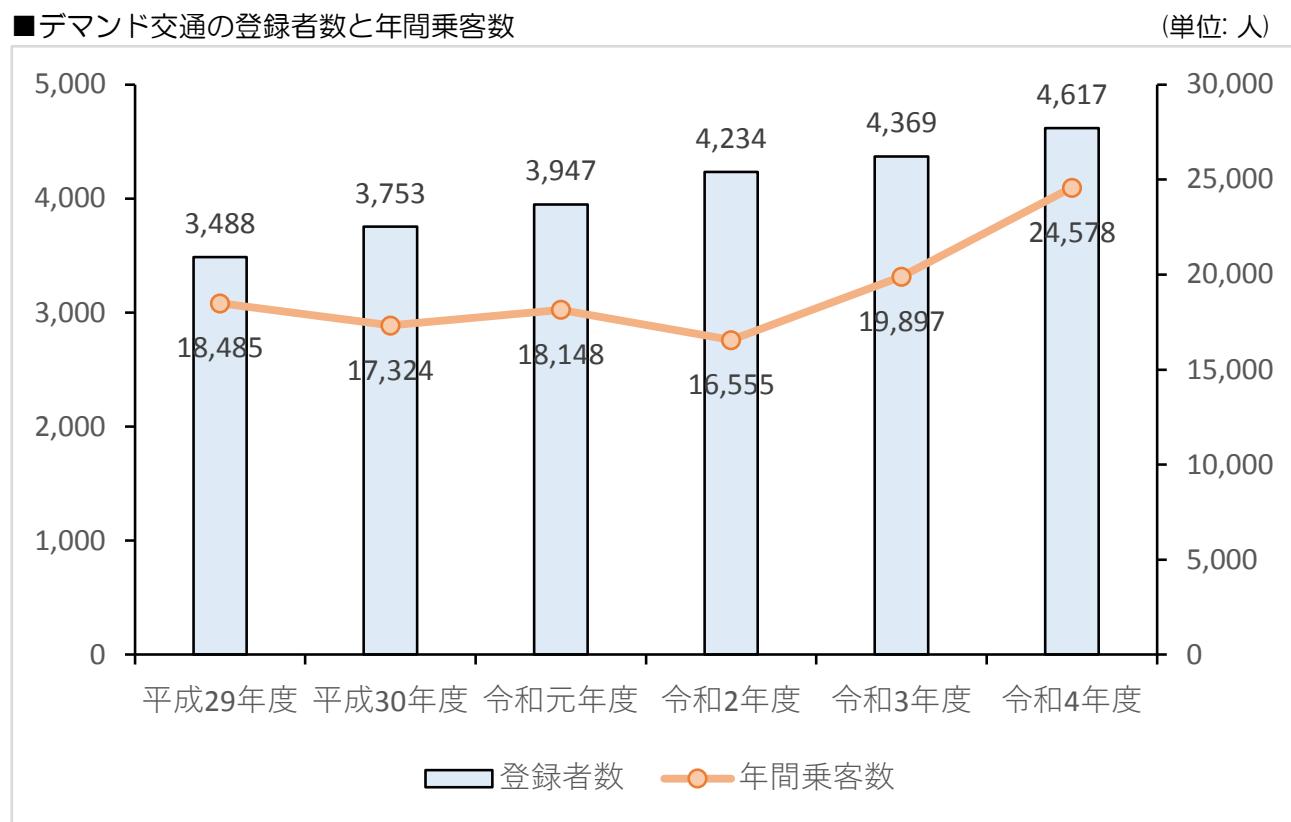
#### ■鳩山町のデマンド交通「はとタク」の運行概要

○デマンドタクシー「はとタク」					
運行様態	区域運行（4条乗合）				
実施主体	鳩山町（運行事業者：株式会社越生タクシー）				
補助事業の活用	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（国庫補助事業） 特別交付税措置（総務省）				
運行概要	路線	運行区間	運賃	日運行本数	運行時間帯
	町内行き	鳩山町内全域	200 円／回	予約に応じて運行	8:00～17:00
	にっさい行き	鳩山町内 ⇄ にっさい地区（坂戸市）	300 円／回	予約に応じて運行	8:00～17:00
	北坂戸行き	鳩山町内 ⇄ 北坂戸（坂戸市）	600 円／回	予約に応じて運行	8:00～17:00
	埼玉医大行き	町内-埼玉医科大学病院（毛呂山町）の往復	600 円／回	6.5 往復/日（※予約制）	8:00～17:00

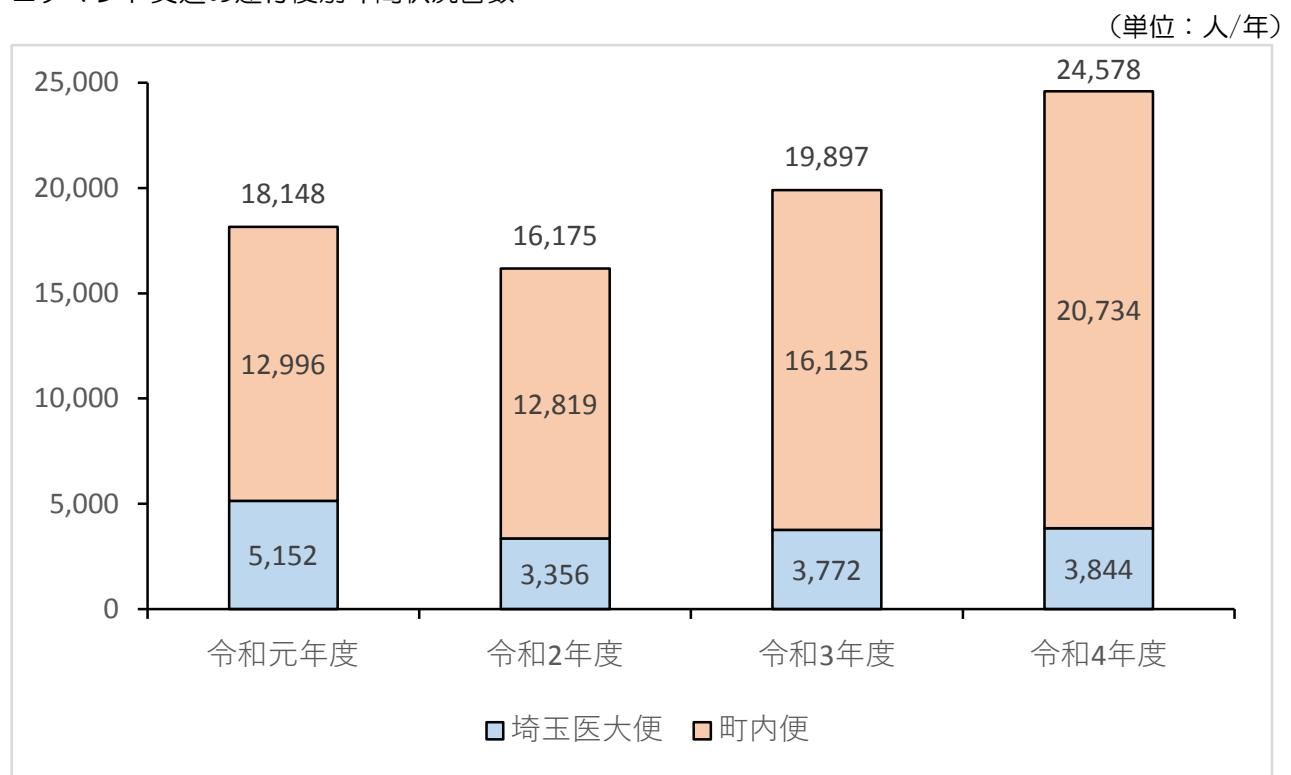
## 2) 利用状況

年度別輸送人数について、令和2（2020）年度は令和元（2019）年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。その後令和3（2021）年度、4（2022）年度と、経年的に増加傾向にある。

### ■デマンド交通の登録者数と年間乗客数

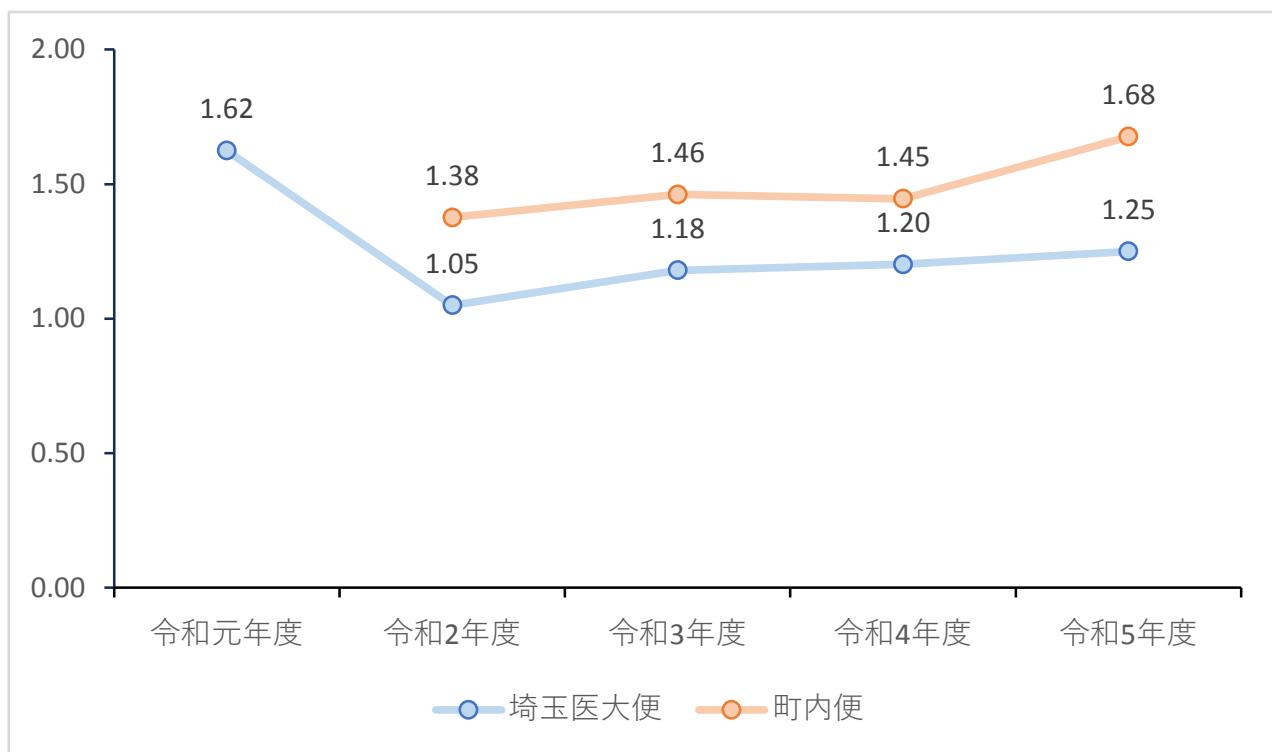


### ■デマンド交通の運行便別年間状況客数



## ■年度別1便当たり輸送人数

(単位:人/便)



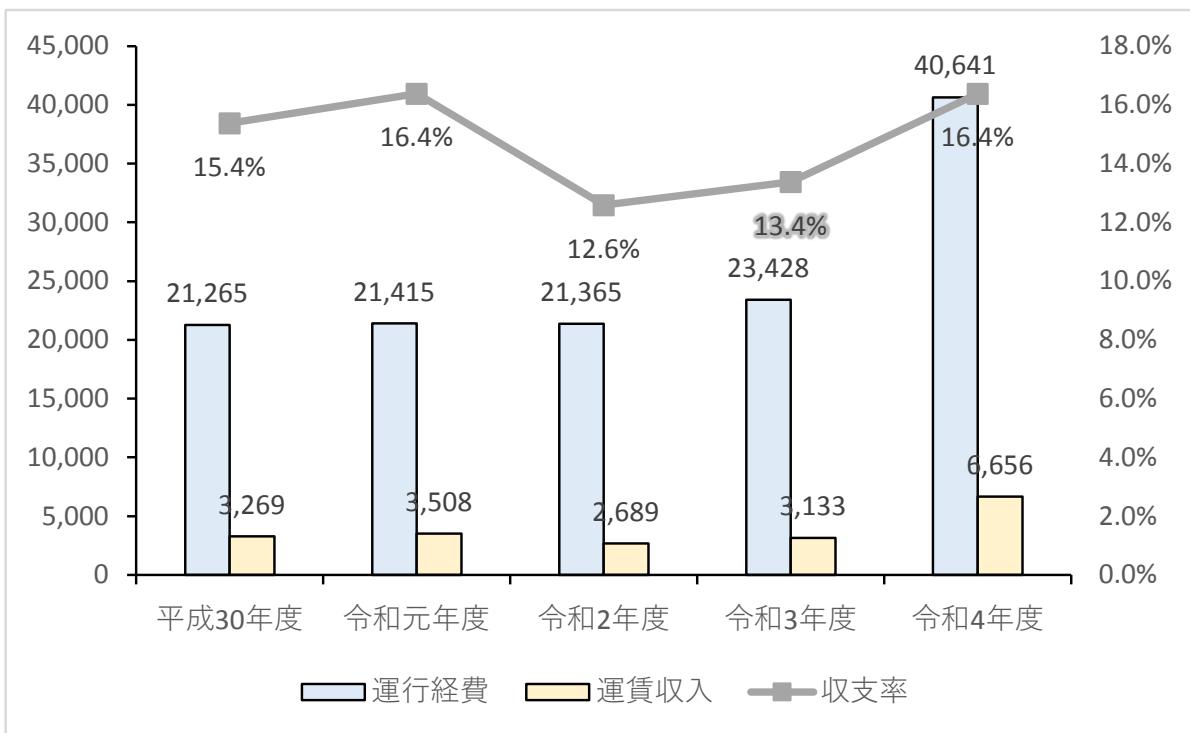
※ 町内便: 令和2(2020)年度から集計 / 入西便・北坂戸便: 令和4(2022)年度から運行開始  
令和5(2023)年度は4月~7月分を集計

### 3) 収支

運行に係る収支状況を見ると、令和4年度の入西地区・北坂戸地区の運行に合わせて、収支率が大きく増加している。

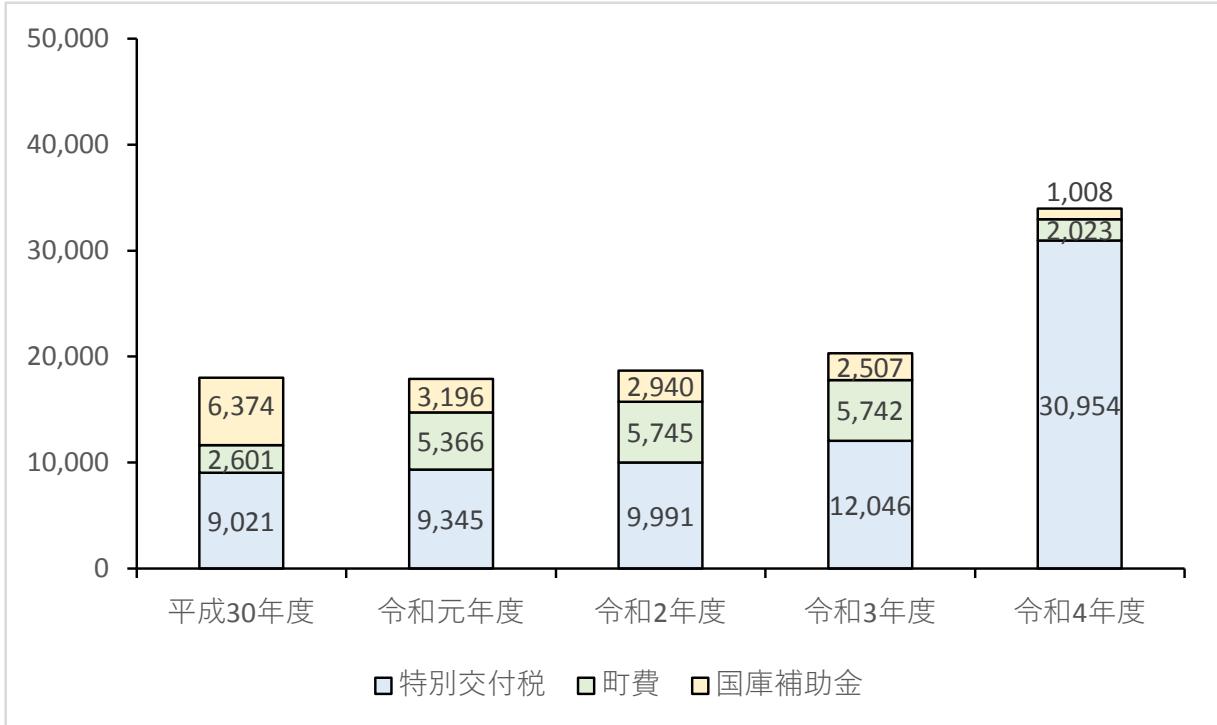
#### ■ デマンド交通の収支状況

(単位: 千円)



#### ■ デマンド交通における行政の運行負担額

(単位: 千円)



### 2.2.3 地域公共交通の状況からみた現状・問題点

本町に係る路線バスについて、町営路線バス北部線の利用状況を見ると、越生町あるいは東松山市内での乗降が多く、本町に係る利用は少数に留まっている傾向にあり、運行に係る負担が経年に増加する傾向にある。また、民間路線バスについては、いずれの路線も主に朝・夕の時間帯の利用が増える傾向にあり、通勤・通学移動での利用が多いと考えられる。加えて、大橋線、鳩山ニュータウン線については、12~13 時台の利用が多く、一定の生活移動での利用もうかがえる。

デマンド交通の利用者数については、登録者数・利用者数ともに近年では増加傾向にあり、町内の公共交通手段として普及しつつある様子がうかがえる。ただし、年間乗合率についてはおおよそ1~1.5 人の間で推移しており、乗合タクシーとしての運行効率は低い。

また、これらの交通サービスを運行する事業者へのヒアリングによると、乗務員の人員不足・高齢化が顕著になっており、2024 年度の労働基準の見直しで、夜間を中心に既存サービスの運行の維持が難しくなる見込みである。



## 2.3 上位・関連計画における公共交通の位置付け

### 2.3.1 本計画に係る上位・関連計画

鳩山町地域公共交通計画は、「第6次鳩山町総合計画」を上位計画とし、これに掲げられている将来都市像やまちづくりの目標を実現するため、公共交通の分野から取り組む計画として位置付けられる。加えて、関連計画における取組の方向性とも整合を図ることが必要であるため、これらの上位・関連計画の概要、更には同計画内における公共交通関連施策等の位置付けを整理する。

#### ■公共交通に係る上位・関連計画一覧

計画の名称	策定年度
【上位計画】第6次鳩山町総合計画	令和3年度 (2021年度)
【関連計画】鳩山町都市計画マスタープラン	令和4年度 (2022年度)
【関連計画】鳩山町立地適正化計画	令和4年度 (2022年度・一部改定)
【関連計画】第9期鳩山町高齢者福祉総合計画	令和5年度 (2023年度)
【関連計画】第7期鳩山町障がい者福祉総合計画	令和5年度 (2023年度)

### (1) 【上位計画】第6次鳩山町総合計画

「第6次鳩山町総合計画」は、計画期間8年間において、町民と行政が共通の認識を持ち、目指すまちづくりについてともに考え、実現に向けて努力し合うための基本指針として策定されたもので、本市の最上位計画に位置付けられる。

## ■第6次鳩山町総合計画の概要

項目	内容
計画期間	令和4（2022）年度～令和11（2029）年度
計画概要	<p>鳩山町まちづくり基本条例で規定している、まちづくりの基本施策を基本目標とし、その達成が町民の皆さんのが幸せにつながるようにするとともに、行政サービスのサステナビリティを高めるための仕組みを経営戦略として位置付けるとともに、並行して行財政改革を行うことを記している。</p> <p>また、本町における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についても、本計画内で一体的に策定を行っている。</p>
目標	<p>○目指す将来像 暮らしに幸せを感じるまち HAPPY TOWN はとやま ～住んでみたい・住み続けたいまち～</p> <p>○まちづくりの基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①環境と共生できるまちづくり</li> <li>②健康に長生きできるまちづくり</li> <li>③安全安心な暮らしができるまちづくり</li> <li>④潤いのある生活ができるまちづくり</li> <li>⑤子育てしやすいまちづくり</li> <li>⑥文化創造・多文化共生のまちづくり</li> </ol>
施策体系	<p>Target NO.1 「環境と共生するまちをつくります」</p> <p>Target NO.2 「健康に長生きできるまちをつくります」</p> <p>Target NO.3 「安全安心に暮らせるまちをつくります」</p> <p>Target NO.4 「潤いのある生活ができるまちをつくります」</p> <p>Target NO.5 「子育てしやすいまちをつくります」</p> <p>Target NO.6 「文化創造・多文化共生のまちをつくります」</p>
公共交通に 関連する施 策	<p>■Target NO.4 「潤いのある生活ができるまちをつくります」</p> <p>＜8年後のイメージ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車を運転する人にとっても運転しない人にとっても、買い物・通院・通勤・通学の利便性が向上しています。</li> </ul>  <p>土地利用構想図</p>

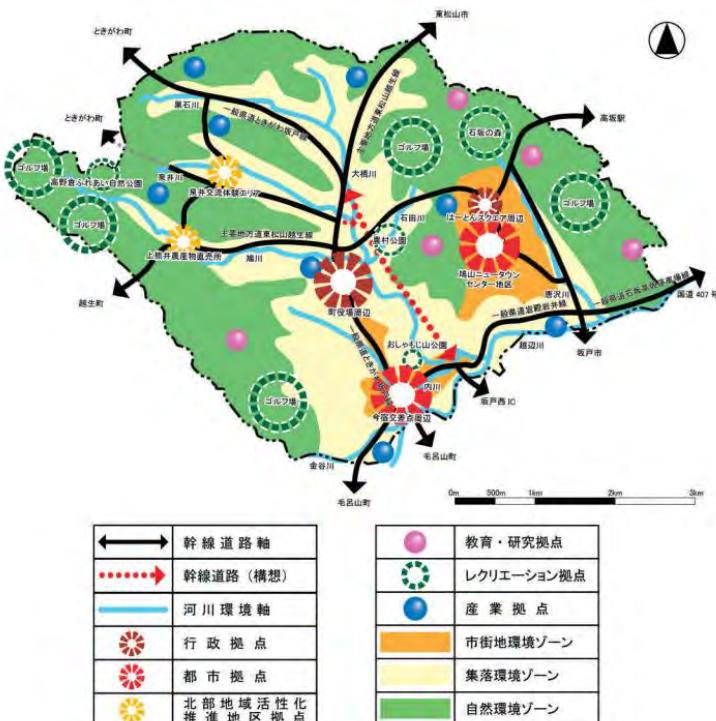
## (2) 【関連計画】鳩山町都市計画マスタープラン

「鳩山町都市計画マスタープラン」は、都市計画法に基づいて策定された、本町における都市計画の基本的な方針を定めたものである。

### ■鳩山町都市計画マスタープランの概要

項目	内容
計画期間	令和5（2023）年度から令和 24（2042）年度（おおむね 20 年の中長期を見据えた計画で社会経済情勢の変化等により適宜見直しを実施）
計画概要	本計画は、前述の第6次総合計画「市町村の建設に関する基本構想」及び県が策定する「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」を上位計画として、その内容に即して策定することとされており、市町村のまちづくり関連の部門別計画や各種都市計画決定、都市計画・まちづくり関連の各種事業を行う上での前提となる計画である。
目標・方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>○まちづくりの目標 健康で安全安心な、潤いのある生活ができるまち</li><li>○まちづくりの方向性<ul style="list-style-type: none"><li>①町の魅力を磨き、生かすまちづくり</li><li>②町の資源を維持し、つなぎ、有効活用するまちづくり</li><li>③町に活力を導入するまちづくり</li></ul></li></ul>
分野別の方針	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 土地利用</li><li>2. 道路・交通体系整備</li><li>3. 公園の整備・管理と自然環境の保全・育成</li><li>4. 下水道・河川の整備と循環型社会の形成</li><li>5. 住まい環境整備</li><li>6. 安全・安心のまちづくり</li><li>7. 町の魅力と景観づくり</li></ol>

## 公共交通に関する施策 (一部抜粋)



図一 将来都市構造図

## ■全体構想

## 2. 道路・交通体系整備

### (1) 道路・交通体系整備の基本的な考え方

## 1) 方針の背景

### ＜道路・交通体系に関する課題＞

鉄道駅のない町にとって、路線バスは町の貴重な公共交通であることから、その維持・拡充の取組が必要となっています。また、路線バスを補完する町民ニーズにきめ細かく対応した公共交通の整備・拡充の取組が必要となっています。

## 2) 道路・交通体系整備の基本的な考え方

②町の資源を維持し、つなぎ、有効活用するために

安心して暮らせる地域づくりのために、きめ細かな交通ニーズに対応する公共交通手段の確保に努めます。また、地域住民と協働で、地域の貴重な交通手段を守り、維持する取組を進めます。

### ③町に活力を導入するためには

町内外の交通を支える公共交通手段として、路線バスの維持・確保を図ります。

### (3) 公共交通体系の整備

### 1) 公共交通の維持・拡充

## ①体系的な公共交通ネットワークの維持・拡充

コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造を支え、町内外への移動手段を確保するための公共交通として、町営路線バス北部線及び民間路線バスを維持していくとともに、サービス拡充に努め、利用促進を図ります。また、あらゆる交通モードを有機的に連携し、自由に移動ができる環境を構築します。

「交通基本計画」を策定して、公共交通に関する課題を整理し、公共交通の拡充につなげます。

また、来訪者の町内回遊を促す移動手段の確保に努めます。

## ②町民の移動ニーズにきめ細かく対応する移動手段の確保

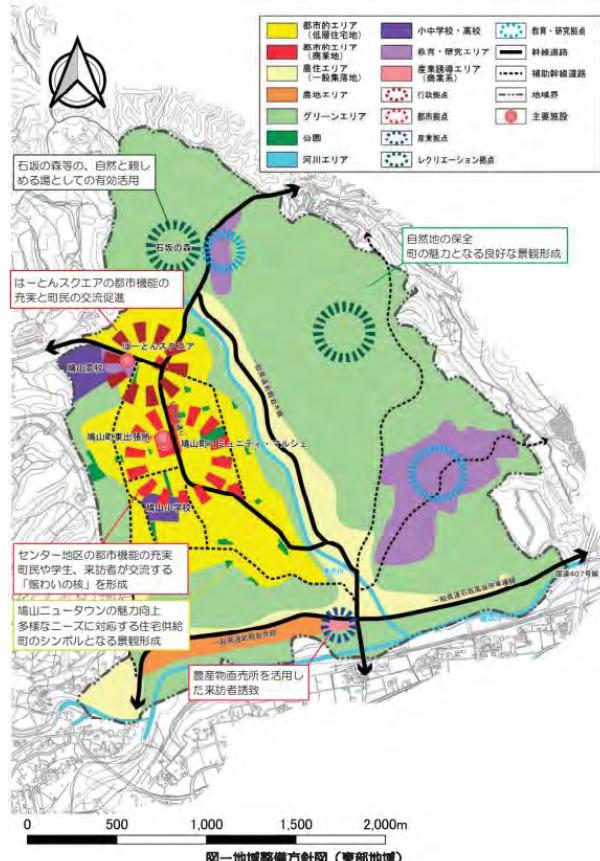
	<p>町民がいつまでも地域で暮らし続けられるよう、移動ニーズにきめ細かく対応する移動手段として、デマンドタクシーを確保します。</p> <p>デマンドタクシーは、土日運行や町外運行開始等のサービス拡充に努め、利用促進を図ります。</p> <p>2) 交通結節点の機能強化</p> <p>①主要な公共施設や市街地における公共交通の利便性向上</p> <p>役場や鳩山ニュータウン、今宿交差点周辺の市街地内及び北部地域活性化推進地区内の主要な公共施設における公共交通の利便性向上のために、バス停周辺のベンチ・上屋等の待合環境整備に努めます。</p> <p>5. 住まい環境整備</p> <p>(1) 住まい環境整備に関する基本的な考え方</p> <p>2) 住まい環境整備に関する基本的な考え方</p> <p>②町の資源を維持し、つなぎ、有効活用するために</p> <p>コンパクト・プラス・ネットワークの考え方に基づき、上記の市街地（鳩山ニュータウン・今宿交差点周辺の市街化区域）や集落中心における各種の都市機能を維持・充実しつつ、町内各地区と公共交通でつなぐことで、町内全域での良好な居住環境の形成に努めます。</p> <p>(2) 快適で潤いある居住・就業環境の形成</p> <p>1) 安心して暮らせる日常生活圏の形成</p> <p>日常生活圏における移動手段として、デマンドタクシーの確保と機能強化に努めます。</p> <p>(3) いつまでも住み続けられるまちづくり</p> <p>3) ユニバーサルデザインのまちづくり</p> <p>①ユニバーサルデザインのまちづくり</p> <p>道路や公園緑地、公共交通機関、公共公益施設等は、ユニバーサルデザインに基づき、障がい者や高齢者、子ども、外国籍の方など、だれもが地域で安心して利用できる施設の整備・改善を推進します。</p> <p>7. 町の魅力と景観づくり</p> <p>(1) 町の魅力と景観づくりに関する基本的な考え方</p> <p>2) 町の魅力と景観づくりに関する基本的な考え方</p> <p>②町の資源を維持し、つなぎ、有効活用するために</p> <p>町の魅力は、豊かな自然資源であり、主に市街化調整区域に存在しています。一方、移住・定住者を受け入れる居住地や来訪者が利用する高速道路インターへの最寄りの地域、公共交通手段の発着地等は、主に市街化区域内と考えます。</p> <p>環境の良い住みやすい地域に向けて、豊かな自然資源と居住地を「つなぐ」必要があり、豊かな自然を楽しむ訪問者には、自然資源と町内に最初に着地する地域を「つなぐ」必要があります。</p> <p>そのためには、道路周辺へのサインの設置等の道路環境の整備のほか、町内を循環する公共交通や自転車等の交通手段の確保といった、多様な取組みが必要です。</p> <p>■地域別構想</p> <p>第2章 東部地域</p> <p>3. 東部地域のまちづくりの方針</p>
--	--

## (2) 道路・交通体系整備

### ②公共交通体系の整備

立地適正化計画における公共交通軸となる「鳩山ニュータウン線」及び地域内を通る「東京電機大学線」は、その利用を促進し、その存続に努めます。

鳩山ニュータウン内の主要な公共施設における公共交通の利便性向上のために、バス停周辺のベンチ・上屋等の待合環境整備に努めます。



地域整備方針図（東部地域）

## 第3章 南部地域

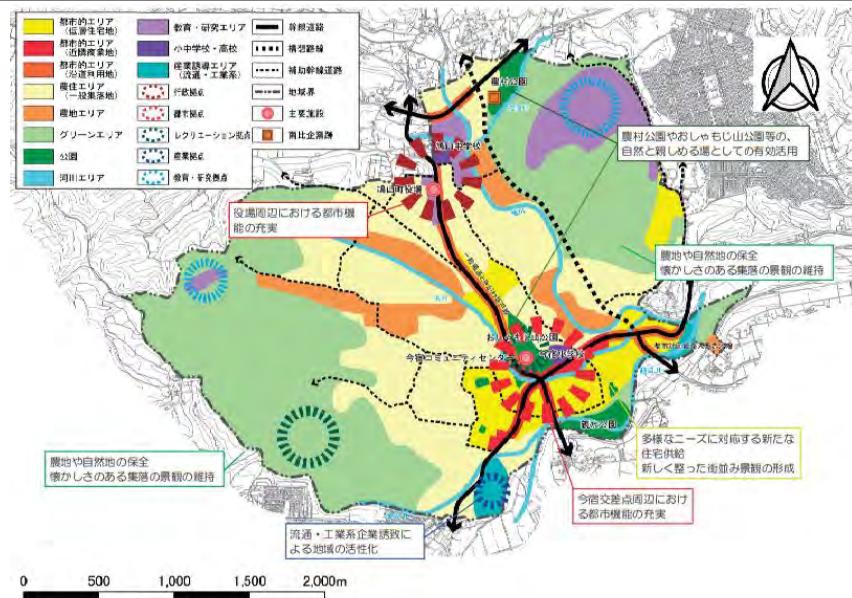
### 3. 南部地域のまちづくりの方針

#### (2) 道路・交通体系整備

##### ②公共交通体系の整備

立地適正化計画における公共交通軸となる民間路線バス「大橋線」は、その利用を促進し、その存続に努めます。

役場や今宿交差点周辺の主要な公共施設における公共交通の利便性向上のために、バス停周辺のベンチ・上屋等の待合環境整備に努めます。



地域整備方針図（南部地域）

#### 第4章 北部地域

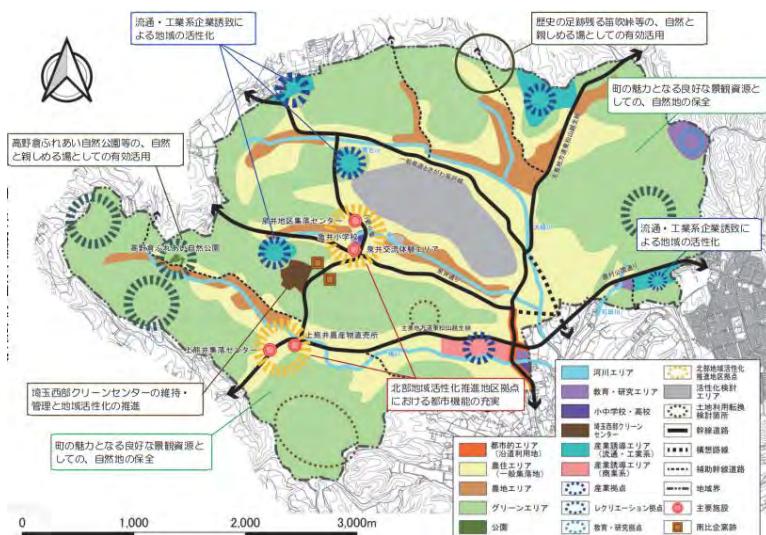
##### 3. 北部地域のまちづくりの方針

###### (2) 道路・交通体系整備

###### ②公共交通体系の整備

立地適正化計画における公共交通軸となる町営路線バス及び民間路線バス「大橋線」は、その利用を促進し、その存続に努めます。

北部地域活性化推進地区内の主要な公共施設における公共交通の利便性向上のために、バス停周辺のベンチ・上屋等の待合環境整備に努めます。

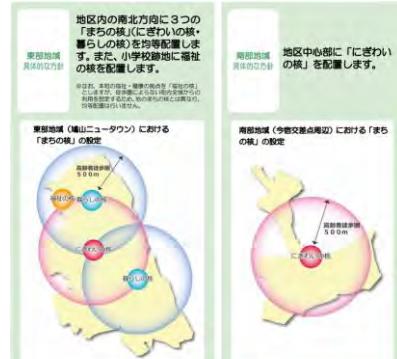


地域整備方針図（北部地域）

### (3) 【関連計画】鳩山町立地適正化計画

「鳩山町立地適正化計画」は、人口の急激な減少と高齢化、厳しい財政状況に対応するため、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方に基づき、持続可能な集約型のまちづくりを目的とした計画である。

#### ■鳩山町立地適正化計画の概要

項目	内容
計画期間	平成 29 (2017) 年度～令和 22 (2040) 年度 (令和 4 (2022) 年度・一部改定)
計画概要	本計画は、人口の急激な減少や高齢化の進展を踏まえ、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す、居住や都市機能立地、公共交通の充実等に関する包括的なもので、本計画を通じて、医療や福祉施設などの都市機能を誘導する区域、また居住を促進する区域を設定するとともに、公共交通等の各分野との連携を図りながら、行政と住民さらには民間事業者が一体となって「コンパクトなまちづくり」に取り組んでいくものである。
目標	○まちづくりの大目標 誰もが安心して、いつまでも住み続けられるまち
施策体系	方針1：安定した福祉サービスの供給 方針2：現在のサービス水準を維持するための人口密度の維持 方針3：良好な居住環境の形成と既存ストックの活用 方針4：歩いて暮らせる日常生活圏の形成 方針5：防災指針（安全性の確保）
公共交通に関連する施策	<p>■第4章 鳩山町における立地適正化の基本的な考え方</p> <p>1. まちづくりの方針 (2) まちづくりの方針</p> <p>●方針2：現在のサービス水準を維持するための人口密度の維持</p> <p>現在、商業施設、医療施設等の日常生活に必要なサービス施設が比較的充実しており、将来的にも一定の人口密度が見込まれるエリアに居住を促進し、現在の施設立地状況や公共交通サービスの維持を図ります。</p> <p>●方針4：歩いて暮らせる日常生活圏の形成</p> <p>・拠点外のエリアについては、公共交通ネットワークを形成し、拠点への公共交通利便性の向上を目指します。</p> <p>■第9章 都市機能及び人口密度を維持・確保するための施策</p> <p>2. 施策</p> <p>(3) 町全体を対象としながら、コンパクトシティの実現に寄与する施策</p> <p>●公共交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の利便性向上と町外からの来訪を目的として、民間路線バスの路線、運行本数を見直し、町営路線バスの路線新設、最終バスの時刻延伸についても検討します。</li> <li>・都市機能誘導区域や、町内の拠点間、また町内から町外へ、そして町外から町内へと各拠点を中心にアクセスできる公共交通ネットワークを形成します。</li> <li>・市民が必要な日常生活サービス機能へ、アクセスしやすい環境整備を図ります。</li> <li>・利用者の確保による公共交通の維持を図るため、公共交通利用の啓発を行い、利用を推進します。</li> </ul>  

#### (4) 【関連計画】第9期高齢者福祉総合計画

「第9期高齢者福祉総合計画」は、今後本格的な高齢社会を迎えるにあたり、現行計画の見直しを行い、以降 3 年間の保険・福祉・介護施策の方向性を明らかにし、各分野の事業を推進するための指針となる計画である。

##### ■第9期高齢者福祉総合計画の概要

項目	内容
計画期間	令和 6 (2024) 年度～令和 8 (2026) 年度
計画概要	本計画は、当時の介護保険制度の改革等を踏まえて、老人福祉法や介護保険法の基本的理念を踏まえた上で、第8期計画の内容を見直し、地域の実情に応じた介護給付等対象サービスを提供する体制の確保及び地域支援事業の実施などを計画的に図ることを目的に策定されたものである。
基本的な方針	○基本理念 みんなで支え合い、住み慣れた町でいつまでも安心して生活できる地域づくり
施策体系	○基本目標 1. みんなで支え合う地域づくりをめざして 2. 自分らしくいきいきとした生活をめざして 3. 住み慣れた町でいつまでも安心して生活できる支援体制の構築
公共交通に 関連する施 策	第3章 みんなで支え合う地域づくりをめざして 4. 安全で暮らしやすい生活環境等の整備 (5) 公共交通網の整備 町内の公共交通網は、民間路線バスと町が運営する町営路線バス及びデマンドタクシーにより構築されております。 これらの公共交通機関は、多くの町民の足として有効に機能してるとと思われますが、今後は、これらの公共交通機関が利用できない方への公共交通の更なる整備を検討します。

## (5) 【関連計画】第7期鳩山町障がい者福祉総合計画

「第7期鳩山町障がい者福祉総合計画」は、「市町村障がい者計画」「市町村障害福祉計画」「市町村障害児福祉計画」の3つの位置付けを有す、鳩山町において総合的に推進する障がい者計画についてとめたものである。

### ■第7期鳩山町障がい者福祉総合計画の概要

項目	内容
計画期間	令和6(2024)年度～令和8(2026)年度
計画概要	第6期計画の目指す将来像や基本理念を継承しつつ、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の改正などへの対応を踏まえて、障がい関係の垣根を超えて多方面の分野と連携を図り、障がいのある方を含めたすべての人における相互理解の推進と、すべての人が暮らしやすいまちづくりの推進を踏まえて、町が取り組むべき障がい福祉施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に策定された。
基本的な方針	○基本理念 ふれあいと支え合いのある 安心して安全に共に暮らせるまち
施策体系	○基本目標 1. 権利擁護の促進と意思決定の推進 2. 健康・生活支援サービスの充実 3. 可能性の拡大と社会参加の促進 4. むらしやすいまちづくりの推進
施策体系	4. むらしやすいまちづくりの推進 1 移動支援及び公共施設等の整備 【主要事業】①公共交通機関の利便性向上及び移動・外出支援サービスの充実 高齢化が急速に進展する中、通院や買い物など、町内の生活交通手段を確保する観点から、便利で持続可能な地域公共交通、移動・外出支援サービスの実現に向けた取り組みが必要です。

### 2.3.2 地域公共交通に求められる役割の整理

前項の上位計画及び関連計画の内容に基づき、本町のまちづくりにおける“地域公共交通に求められる役割”について、以下のように整理した。

#### ■鳩山町のまちづくりにおける地域公共交通に求められる役割

整理の視点	
各計画で示されている将来像や目標等の内容に着目、直接的に地域公共交通に関する記述はないものの、示されている将来像等の実現を考えていく上地域で公共交通として支援できる・支援すべき事項を検討し、地域公共交通に期待される役割として整理。	
整理結果	
総合的なまちづくりの観点	<ul style="list-style-type: none"><li>車の運転の有無に関わらず、買い物、通院、通勤・通学の利便性向上が求められている（総合計画）</li><li>デマンドタクシーについて、土日運行や町外運行などのサービス拡充による利用促進が求められている（都市計画マスタープラン）</li><li>主要な公共施設や地域拠点に係るバス停留所について、ベンチ・上屋等の待合環境整備が求められている。（都市計画マスタープラン）</li><li>町内各地域の公共交通軸となる、既存路線バス系統について、利用促進と存続が求められている。（都市計画マスタープラン）</li><li>地域拠点へのアクセスや、町内の施設立地状況を踏まえた、公共交通サービスの維持や利便性の向上が求められている。（都市計画マスター プラン・立地適正化計画）</li></ul>
高齢者福祉の観点	<ul style="list-style-type: none"><li>公共交通に係るニーズ把握とともに、持続可能性を向上させるための見直しが求められている。</li><li>免許返納後なども住み慣れた町でいつまでも安心して生活できる体制が求められている。</li></ul>
障がい者福祉の観点	<ul style="list-style-type: none"><li>デマンドタクシーをはじめとする一般の公共交通サービスについて、持続可能かつ効率的な運行が求められている。</li><li>利用者のニーズを把握し、障がい者等及び家族の必要に応じて、迅速・柔軟なサービスが提供できるように事業の充実が求められている。</li></ul>

### 2.3.3 上位・関連計画からみた現状・問題点

本町の最上位計画である総合計画では、車を運転しない人についても、将来的な生活移動の利便性向上が求められている。

一方で、都市計画マスタープランでは、町内各地域の公共交通における主軸である路線バスについて、きめ細かなニーズに対応する移動手段としてデマンドタクシーの確保・推進が求められている。中でも都市計画マスタープラン、立地適正化計画では、いずれも町内全域での良好な居住環境の形成を目的に、町内の主要拠点及び主要施設への公共交通アクセスが求められている。

## 2.4 公共交通ニーズ等の把握

### 2.4.1 町民意向について

#### (1) 町民アンケート調査結果に基づく把握・分析

鳩山町民における公共交通に関する意向を把握するにあたり、鳩山町民を対象にしたアンケート調査を実施した。

##### 1) 調査目的

本アンケートは鳩山町民における移動ニーズや、公共交通の利用実態、利用に係る意向など、鳩山町における、公共交通のあり方や適切な公共交通体系の検討に係る現況の把握に向けて、調査対象者の属性や公共交通の利用実態等の基礎データを把握するためのものである。

##### 2) 調査対象及び調査方法

本アンケートの調査対象、調査方法については、以下のとおりである。

表 調査概要

調査対象者	(1) 町内在住の15歳以上の町民 1,000人 (2) 町役場発信情報(町HP、SNS等)の閲覧者
対象者数	1,000人(郵送配布部数)
調査対象地区	鳩山町全域
調査方法	(1) 郵送配布、郵送回収 ※世帯主宛てではなく、個人宛に発送する。世帯に最大1通までとする。 (2) 鳩山町HP、SNSでのURL・QRコード添付によるWEB回答
調査時期	令和5年8月16日(水)～令和5年9月3日(日)

### 2.4.2 回収状況

本アンケートの調査対象、調査方法については、以下のとおりである。

表 回収状況等

配布枚数	1,000枚(郵送配布枚数)
回収数	(1) 郵送配布分: 446票 ※9月8日回収分まで (2) 役場発信分: 91票 ※9月8日回収分まで
無効票	0票
有効回収数	537票
郵送回収率	44.6%

## ■調査票

対象となるアンケートの調査票を以下に示す。

### 【鳩山町】公共交通に関する町民アンケート

日頃から町政運営に対しまして、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

鳩山町では現在、町営路線バス北部線、デマンドタクシー「はとタク」などによる公共交通ネットワークを形成しております。

一方、全国的に人口減少及び少子高齢化が進行しており、本町においても、高齢人口の増加に伴い、高齢者が自家用車を利用できなくなった際の、日常生活の移動手段の確保などが重要な課題となっております。

このような社会情勢の中、今後も持続的かつ安定的にサービスの提供ができるよう、地域の公共交通のあり方を検討するため、本年度、「鳩山町地域公共交通計画」の策定作業を進めております。

計画の検討を進める上で、皆様の外出（買い物、通院、通勤・通学、その他）の実態や公共交通の利用状況を把握することが重要であることから、今回アンケート調査を実施することになりました。

お忙しい中、大変恐縮ではございますが、調査の趣旨・目的をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年8月 鳩山町地域公共交通会議会長 小峰孝雄  
(事務局 鳩山町政策財政課)

#### ~~ご記入にあたって~~

1. このアンケート用紙は、15歳以上の町民の中から無作為に選ばれた1,000名の方にお送りしています。
2. この調査票は、宛名の方のご世帯のどなたか1名が代表してご回答ください。
3. 調査票の集計は下記の事業者に委託しておりますが、調査結果は統計的に処理したうえで、鳩山町地域公共交通計画の策定に活用するもので、その他の目的に使用することは一切ございません。また、お名前をご記入いただく必要もありませんので、回答者が特定されることもありません。重ねてご理解のほど、よろしくお願いします。
4. 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れていただき、令和5年9月3日(日)までに郵便ポストに投函してください。
5. オンラインでの回答をご希望の方は、スマートフォンで右記のQRコードを読み取るか、下記のURLからアンケートにアクセスしてください。  
URL : <https://forms.office.com/r/aZUEXEJyG>



※ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託事業者】株式会社ケー・シー・エス 03-6240-0597

【町担当部署】政策財政課 政策・広報・DX推進担当 049-296-1212

## 1. あなたご自身についてお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問1-1 あなたの年齢を教えてください。

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満  | 2. 20~29歳 | 3. 30~39歳 | 4. 40~49歳 |
| 5. 50~59歳 | 6. 60~69歳 | 7. 70~79歳 | 8. 80歳以上  |

問1-2 あなたのお住まいの地域を教えてください。

- |          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 大橋    | 2. 奥田   | 3. 須江   | 4. 竹本   |
| 5. 泉井    | 6. 高野倉  | 7. 熊井   | 8. 小用   |
| 9. 大豆戸   | 10. 赤沼  | 11. 今宿  | 12. 石坂  |
| 13. 鳩山団地 | 14. 松ヶ丘 | 15. 楓ヶ丘 | 16. 鳩ヶ丘 |

問1-3 あなたの就業・就学の状況を教えてください。

- |            |                |               |
|------------|----------------|---------------|
| 1. 会社員・公務員 | 2. 自営業         | 3. パート・アルバイト  |
| 4. 専業主婦（夫） | 5. 農家          | 6. 無職（年金生活含む） |
| 7. 高校生     | 8. 大学・短大・専門学校生 | 9. その他（ ）     |

問1-4 あなたは運転免許をお持ちですか。（あてはまるもの全てに○）

- |             |             |       |         |            |
|-------------|-------------|-------|---------|------------|
| 1. 普通自動車免許等 | 2. 自動二輪車免許等 | 3. 原付 | 4. 返納済み | 5. 持ったことない |
|-------------|-------------|-------|---------|------------|

問1-5 運転免許をお持ちの方は、将来、免許返納を考えていますか。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 近い内に返納する予定である             |
| 2. 返納を考えているが、時期は未定である        |
| 3. 返納したいが、移動に車が必要なので今は返納できない |
| 4. 現在は返納を考えていない              |
| 5. 分からない                     |

問1-6 免許返納の促進に向けて、どのような施策が必要だと思いますか。最も必要と思うものを選んでください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 高齢者による自動車運転の危険性周知に係るPR    |
| 2. 運転適性検査等による具体的な指導の強化・促進    |
| 3. 自家用車に代わる公共交通機関の充実         |
| 4. 免許返納者を対象にした公共交通やタクシーの割引制度 |
| 5. その他（ ）                    |

問1-7 普段の生活におけるあなたの車両（自動車・バイク・原付等）利用について教えてください（最も近いもの一つに○）

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 自分専用の車両を持っている              |
| 2. 家族と共に車両を持っている              |
| 3. 自分が運転できる車両はないが、家族に送迎してもらえる |
| 4. 自分が運転できる車両はなく、家族の送迎も受けられない |

## 2. あなたの普段の外出についてお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問2-1 日常生活での外出・移動について、目的別にお伺いします。あなたの普段の活動に最も近いものを教えてください。

### (1) 通勤・通学時の外出について-----

① 外出頻度はどのぐらいですか。

- |           |                     |           |         |
|-----------|---------------------|-----------|---------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3~4回           | 3. 週に1~2回 | 4. 月に数回 |
| 5. 年に数回   | 6. 通勤・通学はしていない⇒(2)へ |           |         |

② 通勤・通学先はどこですか。

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 1. 町内（居住地と同じ地域） | )      |
| 2. 町内（居住地と別の地域⇒ |        |
| 3. 東松山市         |        |
| 4. 坂戸市          |        |
| 5. 毛呂山町         |        |
| 6. 越生町          |        |
| 7. 小川町          |        |
| 8. その他県内の市町村（⇒  | 市／町／村） |
| 9. その他県外（⇒      | 県・都）   |

③ 主な交通手段は何を使いますか。（最も長い時間利用しているもの一つに○）

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| 1. 自家用車（自分で運転）           | ----- |
| 2. 自家用車（自分で運転）           |       |
| 3. バイク・原付                |       |
| 4. 町営路線バス北部線             |       |
| 5. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線       |       |
| 6. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線 |       |
| 7. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線   |       |
| 8. デマンドタクシー「はとタク」        |       |
| 9. タクシー                  |       |
| 10. 自転車                  |       |
| 11. 徒歩のみ                 |       |
| 12. その他（ ）               |       |

④ 外出する際のおおよその出発時刻、帰宅する際の、目的地の出発時刻を教えてください。

行き：( ) 時頃 帰り：( ) 時頃

※おおよその時刻を24時間制でご記入ください（例：午後3時⇒15時）

### (2) 日常の買い物について-----

① 外出頻度はどのぐらいですか。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3~4回 | 3. 週に1~2回 |
| 4. 月に数回   | 5. 年に数回   |           |

② 買い物をする施設はどこを主に利用しますか。(( ) 内は最も利用する施設を記載)

- |                     |
|---------------------|
| 1. 町内の買い物施設 施設名 ( ) |
| 2. 町外の買い物施設 施設名 ( ) |

③ 主な交通手段は何を使いますか。(町内で最も長い時間利用するもの一つに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自家用車(自分で運転)           |
| 2. 自家用車(自分以外が運転)         |
| 3. バイク・原付                |
| 4. 町営路線バス北部線             |
| 5. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線       |
| 6. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線 |
| 7. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線   |
| 8. デマンドタクシー「はとタク」        |
| 9. タクシー                  |
| 10. 自転車                  |
| 11. 徒歩のみ                 |
| 12. その他 ( )              |

④ 外出する際のおおよその出発時刻、帰宅する際の、目的地の出発時刻を教えてください。

行き:( ) 時頃 帰り:( ) 時頃

※おおよその時刻を 24 時間制でご記入ください(例: 午後 3 時⇒15 時)

### (3) 通院時の外出について-----

① 外出頻度はどのくらいですか。

- |           |                   |           |         |
|-----------|-------------------|-----------|---------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3~4回         | 3. 週に1~2回 | 4. 月に数回 |
| 5. 年に数回   | 6. 通院はしていない⇒(4) □ |           |         |

② 医療機関等はどこを主に利用しますか。(( ) 内は最も利用する医療機関等を記載)

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 町内の医療機関等 医療機関名 ( ) |
| 2. 町外の医療機関等 医療機関名 ( ) |

③ 主な交通手段は何を使いますか。(町内で最も長い時間利用するもの一つに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自家用車(自分で運転)           |
| 2. 自家用車(自分以外が運転)         |
| 3. バイク・原付                |
| 4. 町営路線バス北部線             |
| 5. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線       |
| 6. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線 |
| 7. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線   |
| 8. デマンドタクシー「はとタク」        |
| 9. タクシー                  |
| 10. 自転車                  |
| 11. 徒歩のみ                 |
| 12. その他 ( )              |

④ 外出する際のおおよその出発時刻、帰宅する際の、目的地の出発時刻を教えてください。

行き:( ) 時頃 帰り:( ) 時頃

※おおよその時刻を 24 時間制でご記入ください(例: 午後 3 時⇒15 時)

② 買い物をする施設はどこを主に利用しますか。(( ) 内は最も利用する施設を記載)

- |                     |
|---------------------|
| 1. 町内の買い物施設 施設名 ( ) |
| 2. 町外の買い物施設 施設名 ( ) |

③ 主な交通手段は何を使いますか。(町内で最も長い時間利用するもの一つに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自家用車(自分で運転)           |
| 2. 自家用車(自分以外が運転)         |
| 3. バイク・原付                |
| 4. 町営路線バス北部線             |
| 5. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線       |
| 6. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線 |
| 7. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線   |
| 8. デマンドタクシー「はとタク」        |
| 9. タクシー                  |
| 10. 自転車                  |
| 11. 徒歩のみ                 |
| 12. その他 ( )              |

④ 外出する際のおおよその出発時刻、帰宅する際の、目的地の出発時刻を教えてください。

行き:( ) 時頃 帰り:( ) 時頃

※おおよその時刻を 24 時間制でご記入ください(例:午後 3 時⇒15 時)

### (3) 通院時の外出について-----

① 外出頻度はどのくらいですか。

- |           |                  |           |         |
|-----------|------------------|-----------|---------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3~4回        | 3. 週に1~2回 | 4. 月に数回 |
| 5. 年に数回   | 6. 通院はしていない⇒(4)へ |           |         |

② 医療機関等はどこを主に利用しますか。(( ) 内は最も利用する医療機関等を記載)

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 町内の医療機関等 医療機関名 ( ) |
| 2. 町外の医療機関等 医療機関名 ( ) |

③ 主な交通手段は何を使いますか。(町内で最も長い時間利用するもの一つに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自家用車(自分で運転)           |
| 2. 自家用車(自分以外が運転)         |
| 3. バイク・原付                |
| 4. 町営路線バス北部線             |
| 5. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線       |
| 6. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線 |
| 7. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線   |
| 8. デマンドタクシー「はとタク」        |
| 9. タクシー                  |
| 10. 自転車                  |
| 11. 徒歩のみ                 |
| 12. その他 ( )              |

④ 外出する際のおおよその出発時刻、帰宅する際の、目的地の出発時刻を教えてください。

行き:( ) 時頃 帰り:( ) 時頃

※おおよその時刻を 24 時間制でご記入ください(例:午後 3 時⇒15 時)

(4) その他（余暇）などの外出について――――――――――――――――――――――――――――――――

(1)～(3)以外で最も多い外出についてお答えください

① 外出頻度はどのぐらいですか。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3～4回 | 3. 週に1～2回 |
| 4. 月に数回   | 5. 年に数回   |           |

② 外出の目的はどのようなものが多いですか。（最も多いもの一つに○）

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 外食（カフェなど軽食含む）            |
| 2. 食品・生活用品の買い物              |
| 3. 日用品以外（衣類や家電製品等）の買い物      |
| 4. 役所や銀行・郵便局等での公的手続き        |
| 5. 医療施設・介護施設利用者への見舞い・訪問等    |
| 6. 友人・知人宅への訪問               |
| 7. 観光・行楽目的                  |
| 8. 娯楽・趣味目的                  |
| 9. 行政主催のイベント・行事等への参加        |
| 10. 地域（町内会等）主催のイベント・行事等への参加 |
| 11. その他（ ）                  |

③ ②で選んだ目的での外出で訪れる地域について当てはまるもの一つに○をつけて、施設名をお答えください。

- |                   |
|-------------------|
| 1. 町内（鳩山ニュータウン地区） |
| 2. 町内（今宿地区）       |
| 3. 町内（亀井地区）       |
| 4. 町外（埼玉県内）       |
| 5. 県外⇒（ 都・県）      |

施設名：

④ 主な交通手段は何を使いますか。（最も長い時間利用しているもの一つに○）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自家用車（自分で運転）           |
| 2. 自家用車（自分以外が運転）         |
| 3. バイク・原付                |
| 4. 町営路線バス北部線             |
| 5. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線       |
| 6. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線 |
| 7. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線   |
| 8. デマンドタクシー「はとタク」        |
| 9. タクシー                  |
| 10. 自転車                  |
| 11. 徒歩のみ                 |
| 12. その他（ ）               |

⑤ 外出する際のおおよその出発時刻、帰宅する際の、目的地の出発時刻を教えてください。

行き：( ) 時頃 帰り：( ) 時頃

※おおよその時刻を 24時間制でご記入ください（例：午後3時⇒15時）

問2-2 あなたが買い物をする際の行動として、最も多いパターンを教えてください。

1. 買い物目的で外出している
2. 通院やその他の外出のついでに買い物をする
3. 通勤・通学の帰り道に買い物をする
4. 宅配サービスやネット通販等で買い物をする
5. 自分の代わりに家族・知人に買い物を頼む
6. 家族の買い物に同行する
7. その他 ( )

### 3. あなたの公共交通等の利用についてお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問3-1 あなたは、町内で路線バス（町営路線バス北部線を含む。以下同様）をどのくらいの頻度で利用していますか。また、その際の利用状況について、教えてください。

(1) 路線バスの利用状況・頻度について

- |           |           |                   |
|-----------|-----------|-------------------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3~4回 | 3. 週に1~2回         |
| 4. 月に数回   | 5. 年に数回   | 6. 全く利用しない ⇒問3-2へ |

(2) 最もよく利用する路線バスについて

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 町営路線バス北部線             |
| 2. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線       |
| 3. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線 |
| 4. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線   |

(3) あなたが路線バスを利用する際の主な外出目的について

- |          |           |            |       |
|----------|-----------|------------|-------|
| 1. 通勤    | 2. 通学     | 3. 買い物     | 4. 通院 |
| 5. 娯楽・行楽 | 6. 公共施設利用 | 7. その他 ( ) |       |

(4) 最寄りの停留所について

- |                    |                             |          |           |
|--------------------|-----------------------------|----------|-----------|
| ① 自宅から最寄りのバス停までの時間 | 1. 5分以内                     | 2. 6~10分 | 3. 11~15分 |
|                    | 4. 16~20分                   | 5. 20分以上 |           |
| ② 最寄りのバス停名         | 1. 知っている(停留所名: )<br>2. 知らない |          |           |

問3-2 あなたは、町内でデマンドタクシー「はとタク」をどのくらいの頻度で利用していますか。また、その際の利用状況について、教えてください。

(1) 「はとタク」の利用状況・頻度について

- |                      |           |                    |
|----------------------|-----------|--------------------|
| 1. 週に5回以上            | 2. 週に3~4回 | 3. 週に1~2回          |
| 4. 月に数回              | 5. 年に数回   | 6. 全く利用しない ⇒ (4) へ |
| 7. 利用登録をしていない ⇒問3-3へ |           |                    |

(2) あなたが「はとタク」を利用する際の主な外出目的について

- |          |           |            |       |
|----------|-----------|------------|-------|
| 1. 通勤    | 2. 通学     | 3. 買い物     | 4. 通院 |
| 5. 娯楽・行楽 | 6. 公共施設利用 | 7. その他 ( ) |       |

(3) 最もよく利用する行先について

① 行先			
② おおよそかかる時間	1. 5分以内	2. 6~10分	3. 11~15分
	4. 16~20分	5. 20分以上	

⇒問3-3へ

(4) 利用登録はしたが、デマンドタクシーを利用しない理由について

- いざというときのために利用者登録はしたが、他に移動手段があるので利用する必要がない
- できれば利用したいが、利用の仕方が分からずに利用できない
- 利用したいと思い利用者登録はしたが、運行内容に不満があり利用していない
- その他( )

問3-3 あなたの鉄道の利用状況について、教えてください。

(1) 鉄道の利用頻度について当てはまるもの一つに○をつけてください。利用する方は、最もよく利用する最寄りの鉄道駅をお答えください。

1. 週5回以上	2. 週に3~4回	3. 週に1~2回
4. 月に数回	5. 年に数回	6. 全く利用しない⇒(3)へ

最もよく利用する最寄りの鉄道駅：

(2) あなたが鉄道を利用する際の主な外出目的について

1. 通勤	2. 通学	3. 買い物	4. 通院
5. 娯楽・行楽	6. 公共施設利用	7. その他( )	

(3) あなたが自宅から最寄りの鉄道駅まで行く際の移動手段について

1. 自家用車(自分で運転)
2. 自家用車(自分以外が運転)
3. バイク・原付
4. 町営路線バス北部線
5. 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線
6. 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線
7. 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線
8. デマンドタクシー「はとタク」
9. タクシー
10. その他( )

問3-4 福祉有償運送についてお伺いします。

※福祉有償運送とは、NPO法人や社会福祉法人が福祉車両を使用し、障がい者や高齢者など移動に制約のある方に対して有償で行う移動サービスのことをいいます。鳩山町では鳩山町社会福祉協議会が実施しています。

(1) 福祉有償運送について

1. 知っている	2. 知らない⇒問3-5へ
----------	---------------

(2) あなた自身やご家族の方が福祉有償運送を利用したことがありますか。

1. はい	2. いいえ	3. 世帯内に対象者がない
-------	--------	---------------

⇒「1. はい」と答えた方は、下記の①②についてもお答えください。

①利用者の続柄	( )	②利用頻度	1月あたり( )回
---------	-----	-------	-----------

問3-5 現在、町内の公共交通を利用していない方にお伺いします。利用していない理由を  
それぞれ教えてください。(あてはまるもの全てに○)  
(利用している方は、問4-1へ)

①路線バス (町営路線バス 北部線を含む)	1. 自家用車よりも時間がかかるから 2. バス停が近くないから 3. 運賃が高いから 4. 1回の外出で複数の目的地を回ことができないから 5. 利用したい時間帯に運行していないから 6. 乗降時や車両内に段差があり、安全に移動できないから 7. 新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、公共交通を利用したくないから 8. その他（具体的に：）
②デマンドタクシー 「はとタク」	1. 自家用車よりも時間がかかるから 2. 運賃が高いから 3. 1回の利用で複数の目的地を回ことができないから 4. 利用したい時間帯に運行していないから 5. 乗降時や車両内に段差があり、安全に移動できないから 6. 新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、公共交通を利用したくないから 7. その他（具体的に：）

#### 4. 公共交通等に対する意向やあり方をお伺いします。

※設問文にて指定がない限りは、各設問の数字に一つだけ○をつけてご回答ください

問4-1 本町の交通について、あなたの満足度をそれぞれ教えてください。

① 民間路線バス 【坂戸駅-大橋】線	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満
② 民間路線バス 【鳩山ニュータウン-高坂駅】線	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満
③ 民間路線バス 【高坂駅-東京電機大学】線	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満
④ 町営路線バス 北部線	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満
⑤ デマンドタクシー 「はとタク」	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満
⑥ 福祉有償運送	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満
⑦ 一般タクシー	1. 満足	2. やや満足	3. どちらとも言えない	4. やや不満	5. 不満

問4-2 本町の公共交通について、改善すべきと感じる点、またはあなたが求めることを教えてください。（下記の選択肢から、最大3つまで番号を選択するか、選択肢にご意見等がない場合は「※その他」に具体的にご記入ください。）

回答欄（選択肢から選ぶ場合は最大3つまで）		
(1) 民間路線バス	(番号記入欄)	※その他（具体的に）
(2) 町営路線バス 北部線	(番号記入欄)	※その他（具体的に）
(3) デマンドタクシー 「はとタク」	(番号記入欄)	※その他（具体的に）
選択肢		
<ol style="list-style-type: none"> <li>朝の通勤時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい</li> <li>日中の時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい</li> <li>夕方・夜間の時間帯の本数が増えるように、運行を見直してほしい</li> <li>土曜日に埼玉医科大学病院へ受診できるように、運行を見直してほしい</li> <li>自宅からもっと近い場所で乗降できるようにしてほしい</li> <li>自分の住む地域内での乗降場所を充実させてほしい</li> <li>市街地内の乗降場所をもっと充実させてほしい</li> <li>時刻通りに乗降できるように、運行を見直してほしい</li> <li>町外へ向かう交通との接続をもっと改善してほしい</li> <li>乗車時間が短くなるように、運行を見直してほしい</li> <li>乗り降りがしやすくなるように、車両を見直してほしい</li> <li>バス停等、乗降場所での待合環境を改善してほしい</li> <li>スマホ等を使って、位置や時刻等の情報が簡単に得られるようにしてほしい</li> </ol>		

問4-3 本町では、平成30年度から令和4年度までの5年間に以下の取り組みを実施してきました。これらの取り組みについて、あなたにとって最も満足度の高かった取り組みを教えてください。（最もよいと思ったもの一つに○）

1. デマンドタクシーの土日運行の開始
2. デマンドタクシーの町外（にっさい行・北坂戸駅付近行）への拡大
3. デマンドタクシーのインターネット予約の開始
4. 町営路線バス北部線の越生駅東口までの延伸
5. 乗り継ぎターミナル（大橋バス待合所）整備
6. はとやま公共交通マップの作成
7. その他（ ）

問4-4 町内における公共交通の今後のあり方について、あなたのお考えを教えてください。  
(最も近いもの・重要と思うものに○を一つ)

1. 路線バスの路線を増やして、町内のネットワークをもっと拡大してほしい
2. 路線バスの路線を増やして、町外へのアクセスをもっと拡大してほしい
3. 路線バスの本数・時間帯を変更して、もっと利用機会を増やしてほしい
4. 路線バスの本数・時間帯を変更して、利用したい時間帯に併せて運行してほしい
5. 路線バスでの運行では、地域のニーズに対応できないと思うので、路線バスは縮小して、「はとタク」を充実(運行エリアの拡大、到着待ち時刻の短縮等)させてほしい
6. 路線バスの利用の少ない区間や時間帯を見直して、その分利用の多い地域の運行を充実させてほしい
7. その他( )

問4-5 町内の移動について、アクセスを充実させるべきだと思う地域をお答えください。  
(最も近いもの・重要と思うものに○を一つ)

1. 鳩山町役場周辺(総合福祉センター・保健センター等)
2. 今宿交差点周辺(ベイシア、ドラッグセイムス、ドラッグストアセキ等)
3. 泉井・上熊井地区(泉井交流体験エリア、上熊井農産物直売所「ちょっくま」等)
4. 鳩山ニュータウン(西友、鳩山コミュニティ・マルシェ等)
5. 石坂交差点周辺(JA埼玉中央鳩山農産物直売所等)
6. 麻見江ホスピタル、天草薬局周辺
7. その他( )

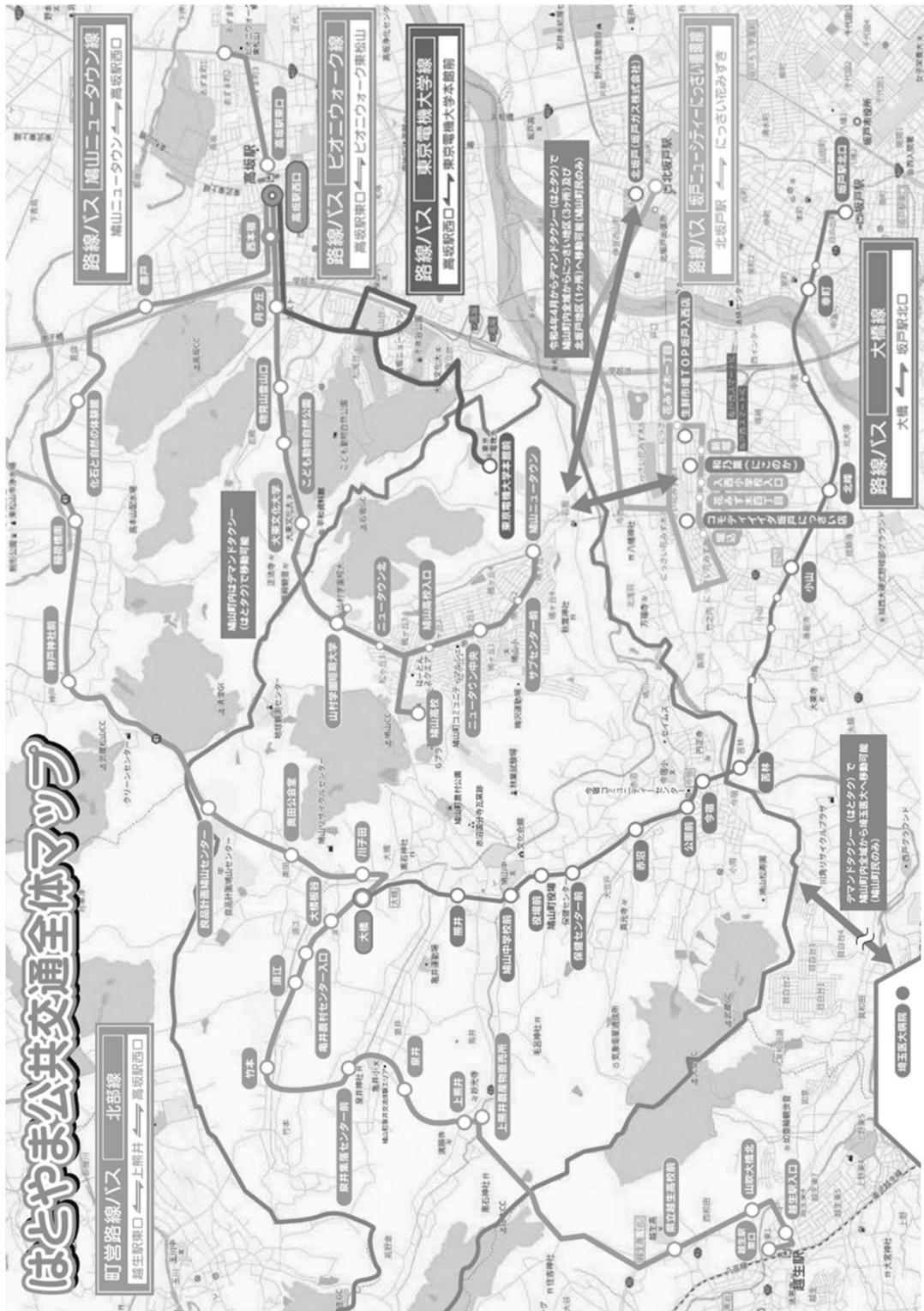
問4-6 今日の公共交通における課題として、利用者の継続的な減少による経済面での負担や、乗務員不足による民間路線バスの減便・廃止が進んでいる傾向にあります。本町にて、将来的にこのような事態に陥った際、お住まいの地域の公共交通はどのように整理すべきと考えますか。あなたの考えに最も近いものを教えてください。

1. 自治会やNPOといった地域の団体が主体となって交通サービスを新設するなど、地域住民によって公共交通を維持する
2. 町民の負担が増えることになっても、町が町営路線バスを新設するなど、町政の中で交通サービスを整備する
3. 減便などサービスを下げることで経費を減らして、最低限の運行は維持する
4. 利用者が少ない交通サービスについては、廃止や運行区間の縮小も止む無しだと思う
5. その他(具体的に: )

問4-7 本町における公共交通等について、何かご意見がありましたら、ご記入ください。  
(複数のご意見をいただける場合は、箇条書きにしてご記入ください)

お書き漏れのないようご確認いただき、9月3日(日)までにご投函ください。  
アンケートへのご協力ありがとうございました。

【参考】鳩山町公共交通マップ



## 2.4.3 調査結果

調査結果について以下に示す。

### 1) 調査結果の概要

#### 【属性について】

※回答者の約3分の2が60歳以上の高齢者

※回答者の約半数が東部地域（鳩山ニュータウン他）在住

- ・免許返納施策に有効なものとして、約半数が、自家用車に代わる公共交通機関の充実を挙げている。

#### 【日常の外出動向について】

- ・通勤・通学先については、町内または東京都が特に多く、町外では坂戸市、東松山市、川越市が最も多い。また地区別で見ると、北部地域では地域内へ移動する方が特に多く見られる。移動時には、約3分の2が自家用車で移動しており、公共交通機関を利用している人は1割程度に留まっている。出発時刻のピークは7時台、帰宅時刻のピークは18時台となっている。
- ・買い物での頻度については、地区を問わず週に1～2回、週に3～4回がともに約3分の1が多い。利用する買い物施設について、町内では SEIYU 鳩山ニュータウン店・ベイシア鳩山店に、町外では生鮮市場 TOP に特に集中している。移動手段では、北部、南部地域を中心に約7割が自家用車で移動している。移動時間では、出発時刻のピークは10時台な一方、帰宅時刻については12時台前後又は15時以降に分散している。
- ・通院については、町内では福島内科、町外では埼玉医科大学病院が最も多い。移動手段では自家用車利用が多いが、東部地域では路線バス（鳩山ニュータウン線）での移動が他地域より多い。時間帯については、概ね午前中～13時台での外出が主体となっている。
- ・その他の外出では、概ね埼玉県の他市町村へ、自家用車で移動する人が多い。

#### 【路線バスの利用について】

- ・路線バスを全く利用していない人が半数近くを占めているが、東部地区については、頻度は少ないながらも他地域よりも利用している人が見られる。
- ・利用する路線については、東部地域では鳩山ニュータウン線、北部地域と南部地域では大橋線が特に多い。北部地域における町営路線バスの利用者は4割未満となっている。
- ・路線バスを利用しての外出では、娯楽・行楽目的が4割以上と多い。
- ・自宅からバス停の距離地について、南部地域では10分以上離れている方が他地域より多く見られる。
- ・路線バスを利用しない理由として、自家用車よりも時間がかかるなどを挙げる人が特に多い。また、北部・南部地域では特にその傾向が強く見られる。

#### 【デマンド交通の利用について】

- ・全く登録していない人が半数を占めている他、利用登録をしていない人が 4 割近くを占めており、特に北部地域で多く見られる。
- ・利用目的としては、通院利用が 4 割以上と特に多く、目的地についても埼玉医科大学病院が特に多く、次いで坂戸市の商業施設への移動が多く見られる。
- ・利用登録をしながら利用しない人については、いざというときのために登録したが、現在は他の移動手段があるため利用していない人が特に多い。
- ・デマンド交通を利用しない理由として、自家用車よりも時間がかかるなどを挙げる人が多く、北部地域では特にその傾向が強く見られる。

#### 【鉄道利用・福祉有償運送利用について】

- ・鉄道については、年に数回以下しか利用しない人が多く、週 1 回以上と定期的に利用する人は 2 割未満に留まっており、外出目的については、娯楽・行楽利用が特に多い。
- ・最もよく利用する駅については、高坂駅が 4 割以上と特に多く、鉄道駅までの移動では北部・南部地域では自家用車が、東部地域では鳩山ニュータウン線がそれぞれ半数を占めている。
- ・福祉有償運送利用については、6 割近くがサービスを知らないと回答している。

#### 【公共交通の満足度について】

- ・路線バス大橋線、東京電機大学線、町営路線バス北部線では、ほぼ同数ながら、運行地域を中心にやや不満寄りの意見が多い。一方で、鳩山ニュータウン線では、東部地域で 3 分の 2 程度が満足寄りで回答するなど、比較的満足度が高い。
- ・デマンド交通については、北部、東部地域では満足寄りの回答が多い一方で、南部地域ではわずかながら不満寄りの回答が多い。
- ・一般タクシーについては、北部地域を中心に、不満寄りの回答がやや多い。

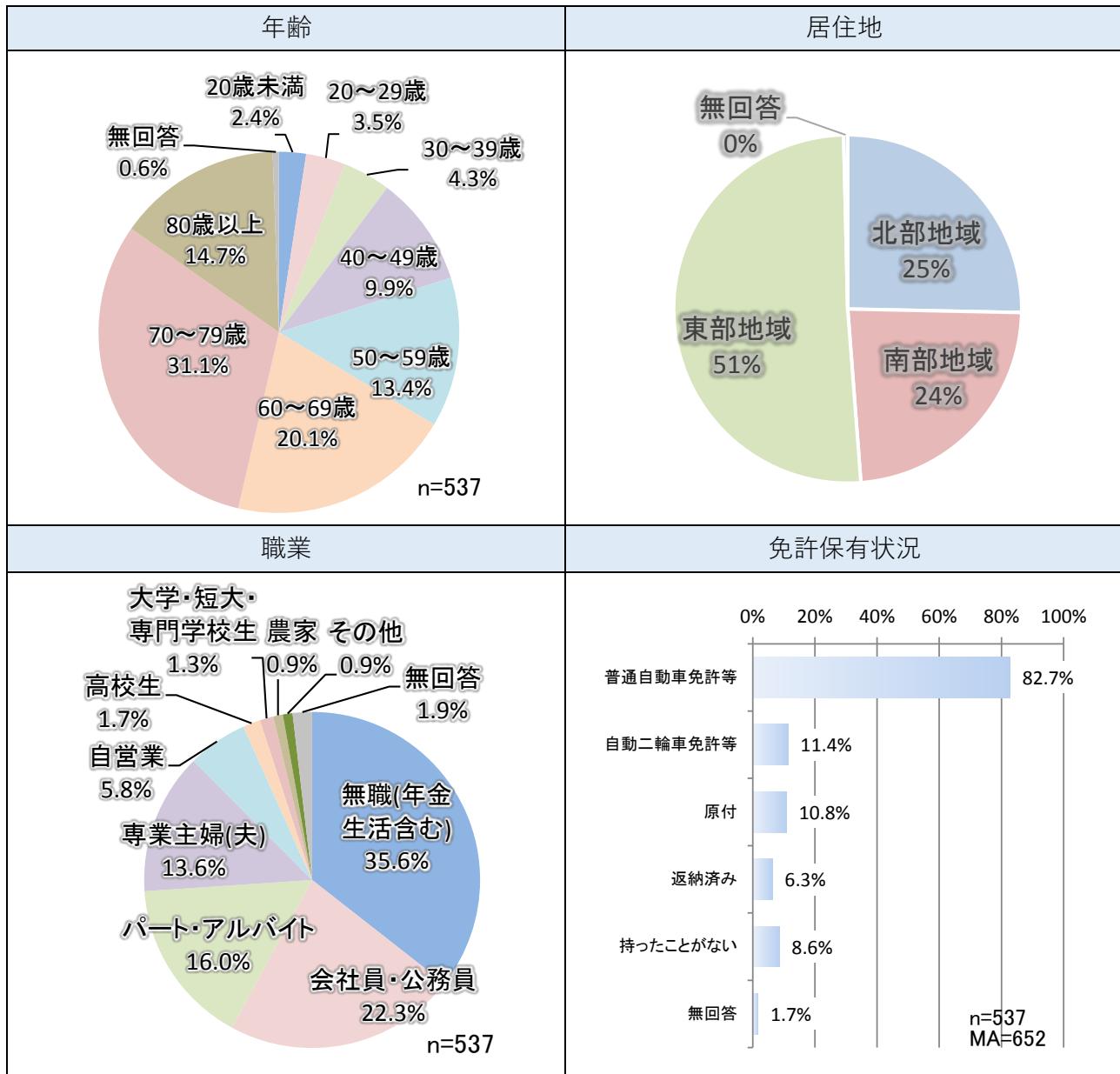
#### 【町内公共交通の改善点について】

- ・民間路線バスについては、夕方以降の時間帯での増便要望が多い。
- ・町営路線バスについては、バス停の配置の見直しに関する要望が多い。
- ・デマンド交通については、坂戸市方面への運行拡大や、休日の運行に関する要望が多い。

#### 【今後の公共交通について】

- ・今後の施策展開については、路線バスの運行拡大や町外アクセスの充実に関する意見が特に多い。
- ・町内のアクセス充実については、今宿交差点周辺が特に多く、次いで町役場付近、鳩山ニュータウン周辺への要望が多い。
- ・公共交通整備に関して、北部、南部地域では、地域住民が主体となって公共交通の維持を図るべきとの意向が多く見られる。一方で、東部地域では町政でのサービス整備、サービス縮小による経費削減を挙げる意見が他地域より多い。

## 2) 属性



### 3) 外出動向

#### ① 通勤・通学先

※通勤での移動頻度について「週に5回以上」、「週に3~4回」、「週に1~2回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- 通勤・通学先では、「その他県内の市町村」が21.0%(56人)と最も高く、次いで「その他県外」が14.6%(39人)と続いている。

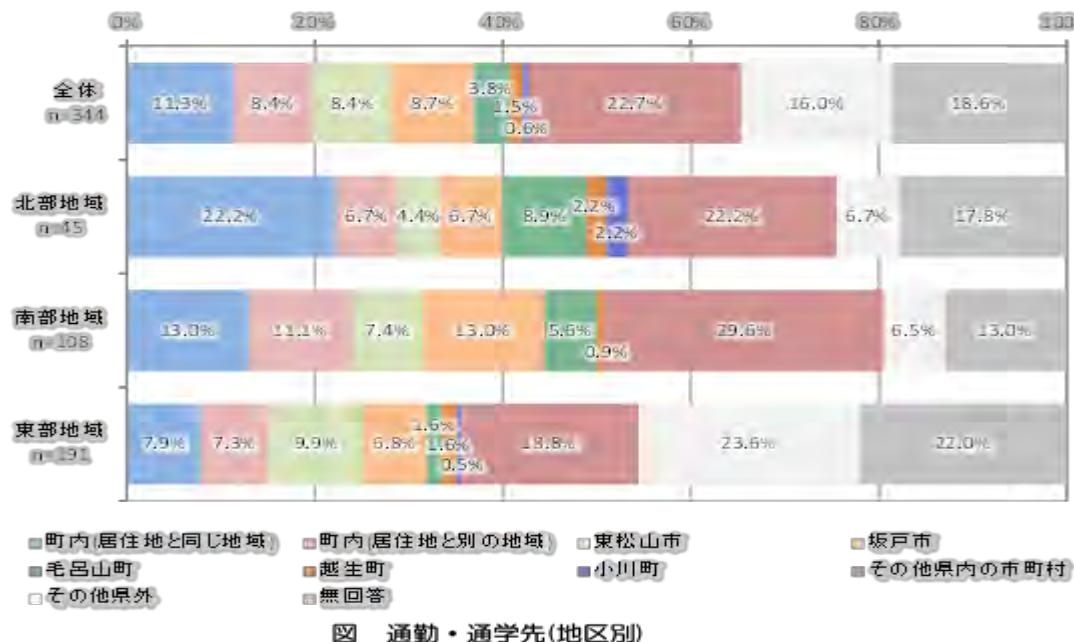


図 通勤・通学先(地区別)

#### ② 通勤・通学の交通手段

※利用頻度について「週に5回以上」、「週に3~4回」、「週に1~2回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- 通勤・通学の交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が64.8%(223人)と最も高く、次いで「民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線」が9.0%(31人)と続いている。

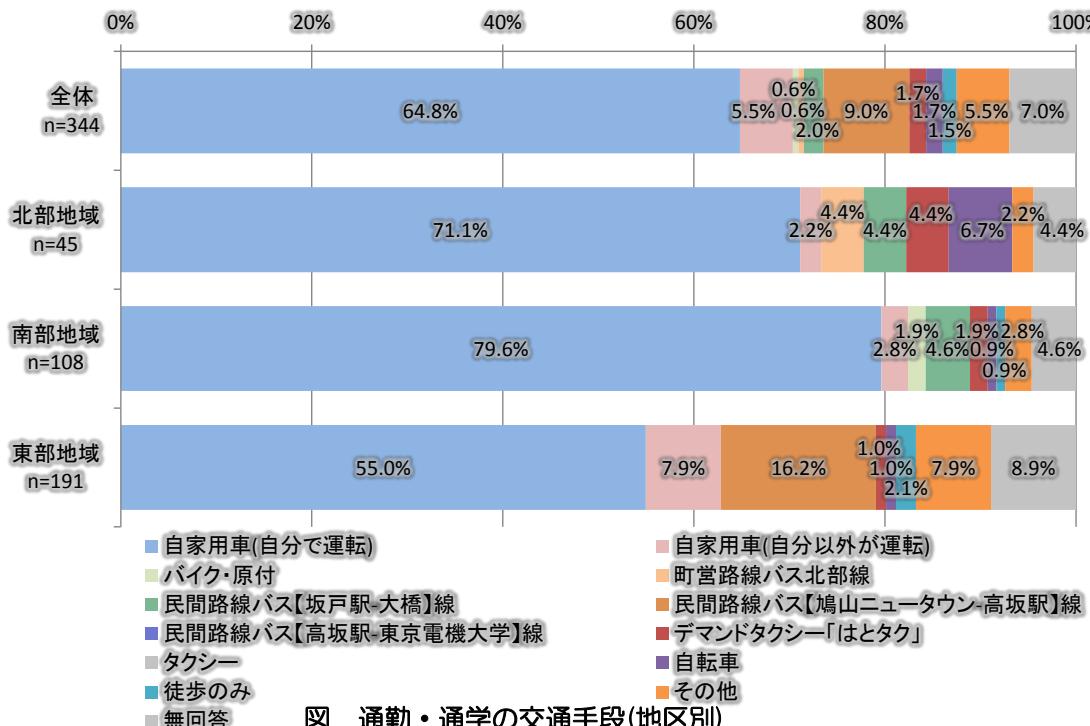


図 通勤・通学の交通手段(地区別)

### ③ 通勤・通学の出発・帰宅時間帯

※利用頻度について「週に5回以上」,「週に3~4回」,「週に1~2回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- 通勤・通学の出発時間帯では、「07:00~08:00」が23.3%(80人)と最も高く、次いで「08:00~09:00」が19.8%(68人)と続いている。
- 帰宅時間帯では、「18:00~19:00」が18.9%(65人)と最も高く、次いで「17:00~18:00」が15.7%(54人)と続いている。

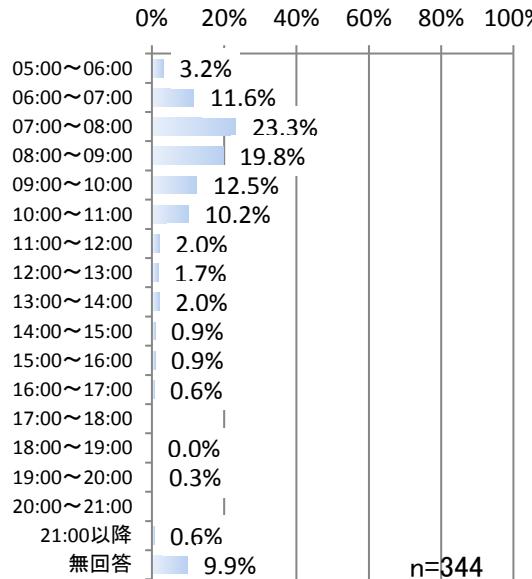


図 通勤・通学の出発時間帯

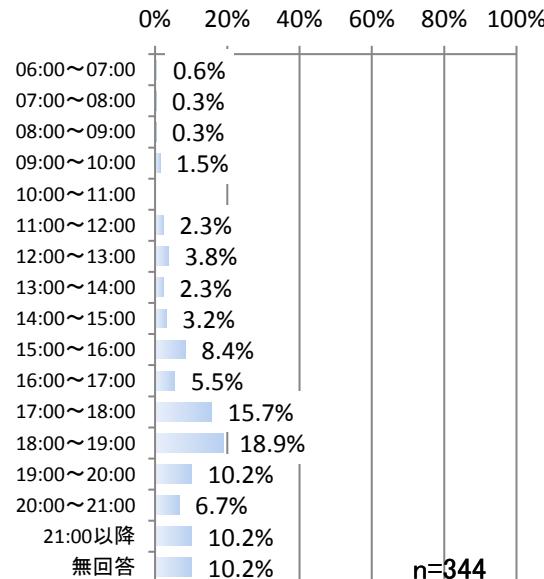


図 通勤・通学の帰宅時間帯

### ④ 買い物に出かける回数

- 買い物に出かける回数では、「週に1~2回」が36.3%(195人)と最も高く、次いで「週に3~4回」が34.1%(183人)と続いている。

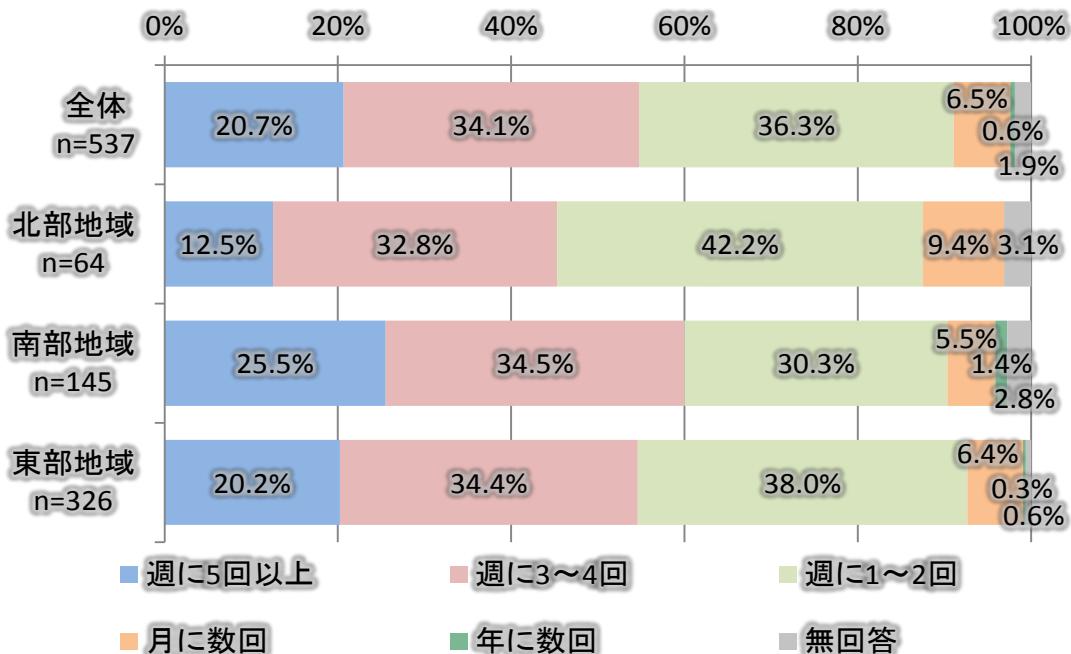


図 買い物に出かける回数(地区別)

## ⑤ 買い物で利用する施設

- 町内の買い物施設では、「SEIYU 鳩山ニュータウン店」が 38.7%(208 人) と最も高く、次いで「ベイシア鳩山店」が 28.1%(151 人) と続いている。
- 町外の買い物施設では、「生鮮市場 TOP」が 23.5%(126 人) と最も高く、次いで「コモディイイダ」が 12.5%(67 人) と続いている。

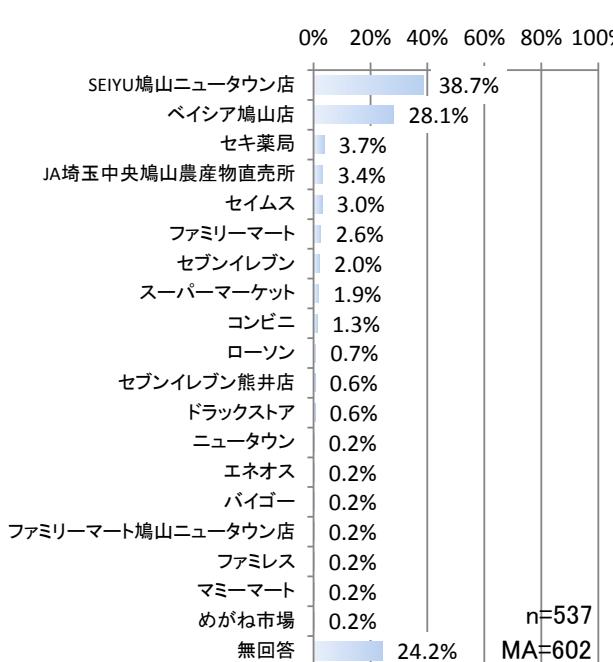


図 町内の買い物施設

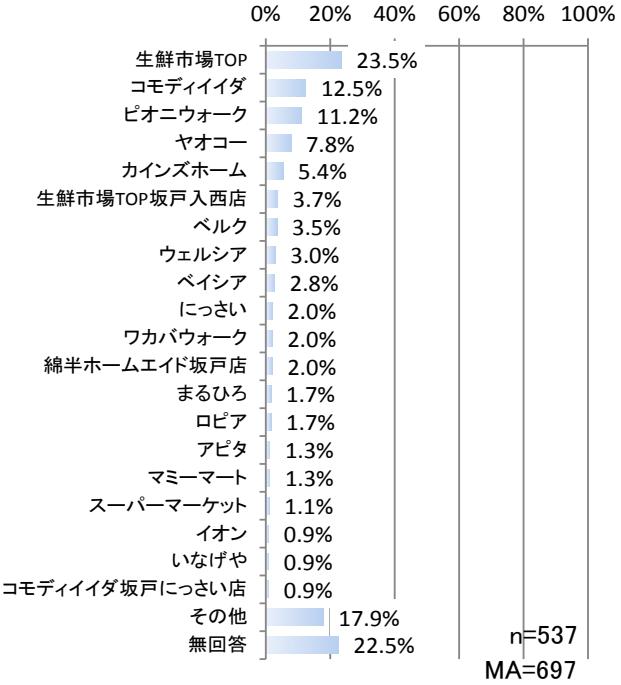


図 町外の買い物施設

※回答数 4 以下はその他にまとめて表示

## ⑥ 買い物の交通手段

- 買い物の交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が 69.5%(373 人) と最も高く、次いで「自家用車(自分以外が運転)」が 8.6%(46 人) と続いている。

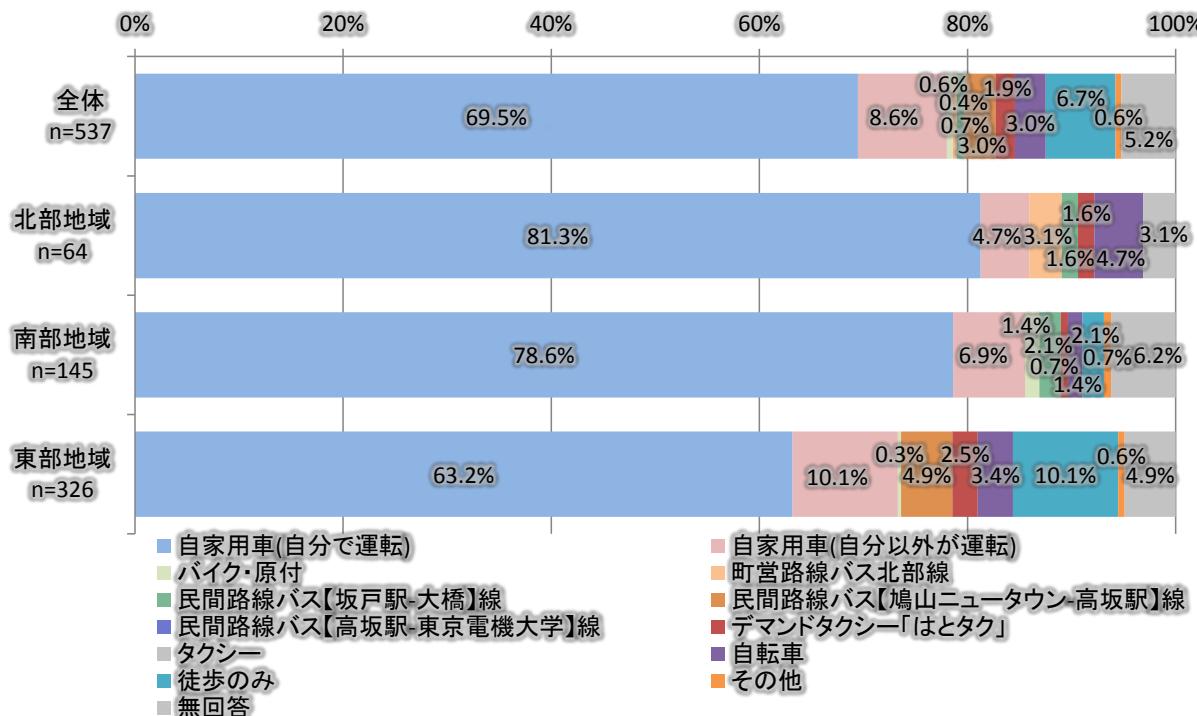


図 買い物の交通手段(地区別)

## ⑦ 買い物の出発・帰宅時間帯

- ・買い物の出発時間帯では、「10:00～11:00」が 29.6%(159 人) と最も高く、次いで「09:00～10:00」が 13.2%(71 人) と続いている。
- ・帰宅時間帯では、「12:00～13:00」が 14.7%(79 人) と最も高く、次いで「15:00～16:00」が 12.7%(68 人) と続いている。

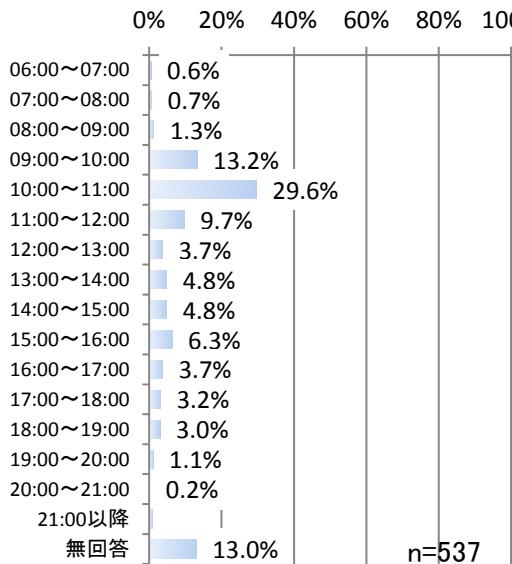


図 買い物の出発時間帯

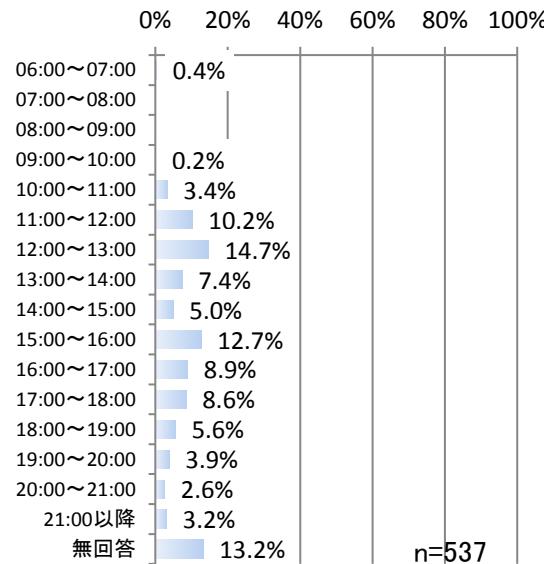


図 買い物の帰宅時間帯

## ⑧ 利用する医療機関

※利用頻度について「週に 5 回以上」、「週に 3～4 回」、「週に 1～2 回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- ・町内の医療機関名では、「福島内科」が 15.6%(84 人) と最も高く、次いで「鳩山第一クリニック」が 10.4%(56 人) と続いている。
- ・町外の医療機関名では、「埼玉医科大学」が 10.6%(57 人) と最も高く、次いで「関越病院」が 3.4%(18 人) と続いている。

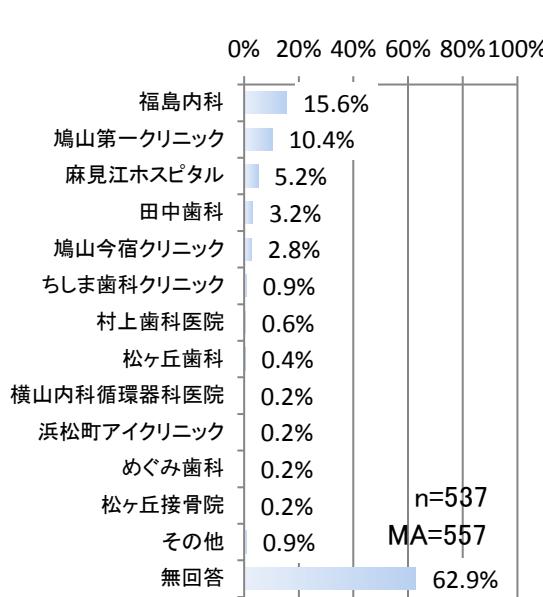


図 町内の医療機関名

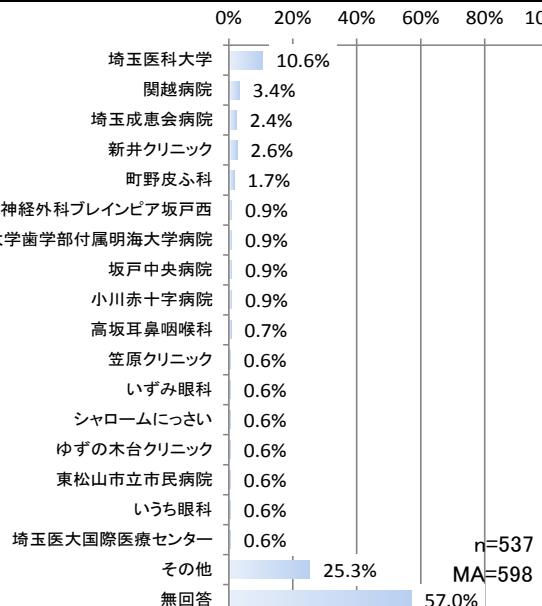


図 町外の医療機関名

※回答数 2 以下はその他にまとめて表示

※グラフの視認性向上のため、少数意見（5%以下）については構成比の表記を省略。

## ⑨ 通院時の交通手段

※利用頻度について「週に5回以上」,「週に3~4回」,「週に1~2回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- 通院の交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が56.8%(217人)と最も高く、次いで「徒歩のみ」が7.3%(28人)と続いている。

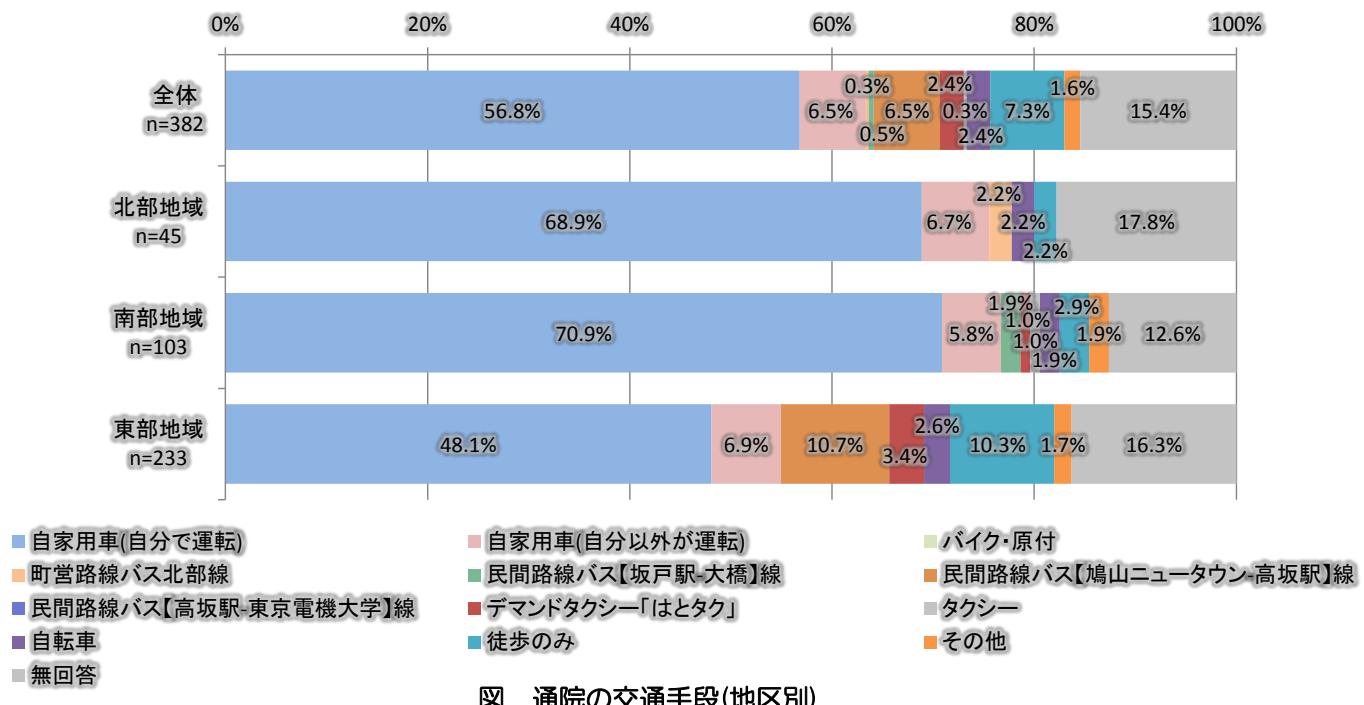


図 通院の交通手段(地区別)

## ⑩ 通院の出発時間帯

※利用頻度について「週に5回以上」,「週に3~4回」,「週に1~2回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- 通院の出発時間帯では、「09:00~10:00」が21.7%(83人)と最も高く、次いで「10:00~11:00」が18.1%(69人)と続いている。
- 帰宅時間帯では、「12:00~13:00」が19.9%(76人)と最も高く、次いで「11:00~12:00」が15.7%(60人)と続いている。

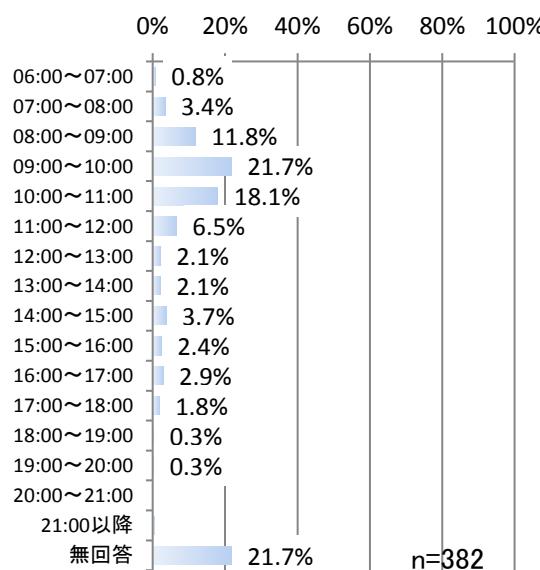


図 通院の出発時間帯

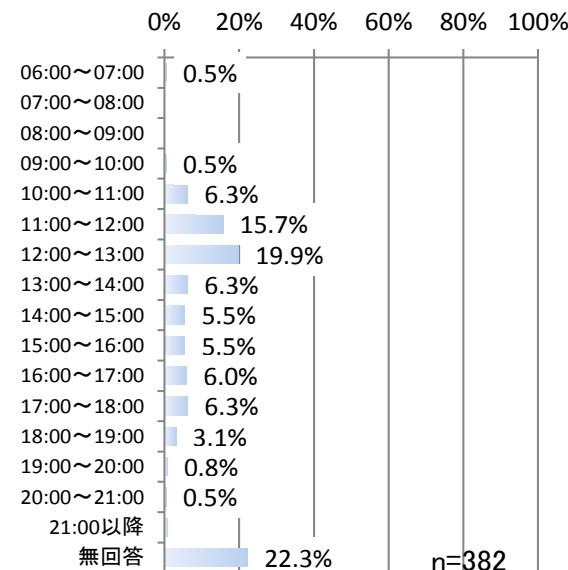


表 通院の帰宅時間帯

## ⑪ その他の外出先地域

- ・その他の外出先地域では、「町内(埼玉県内)」が 58.5%(314 人) と最も高く、次いで「町内(鳩山ニュータウン地区)」と「県外」が 11.2%(各 60 人)と続いている。

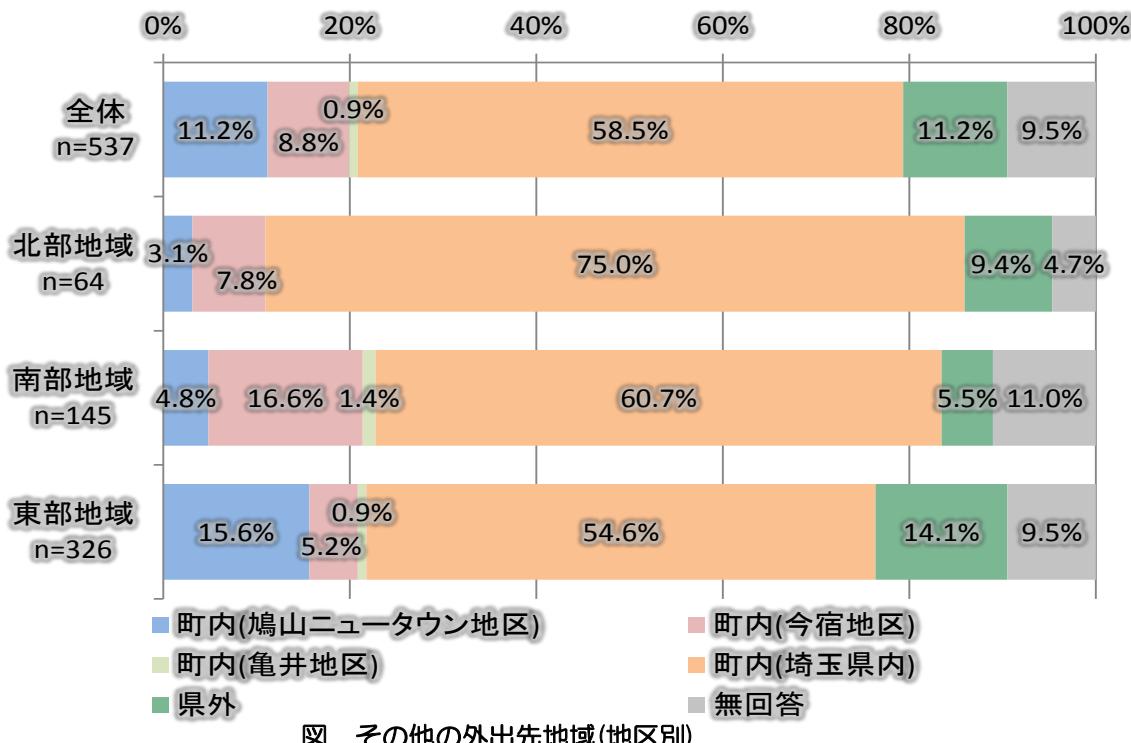


図 その他の外出先地域(地区別)

## ⑫ その他の外出の交通手段

- ・その他の外出の交通手段では、「自家用車(自分で運転)」が 63.7%(342 人) と最も高く、次いで「自家用車(自分以外が運転)」が 13.2%(71 人)と続いている。

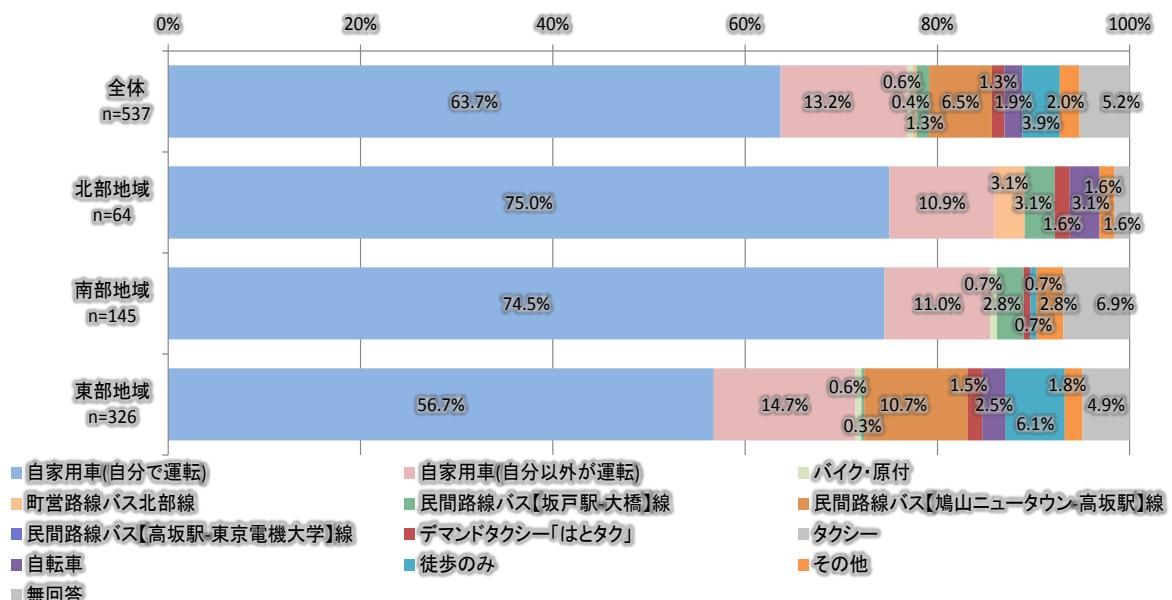


図 その他の外出の交通手段(地区別)

#### 4) 公共交通の利用状況

##### ① 町内を運行する路線バスの利用頻度

- 町内を運行する路線バスの利用頻度では、「全く利用しない」が 46.0%(247 人) と最も高く、次いで「年に数回」が 31.7%(170 人) と続いている。

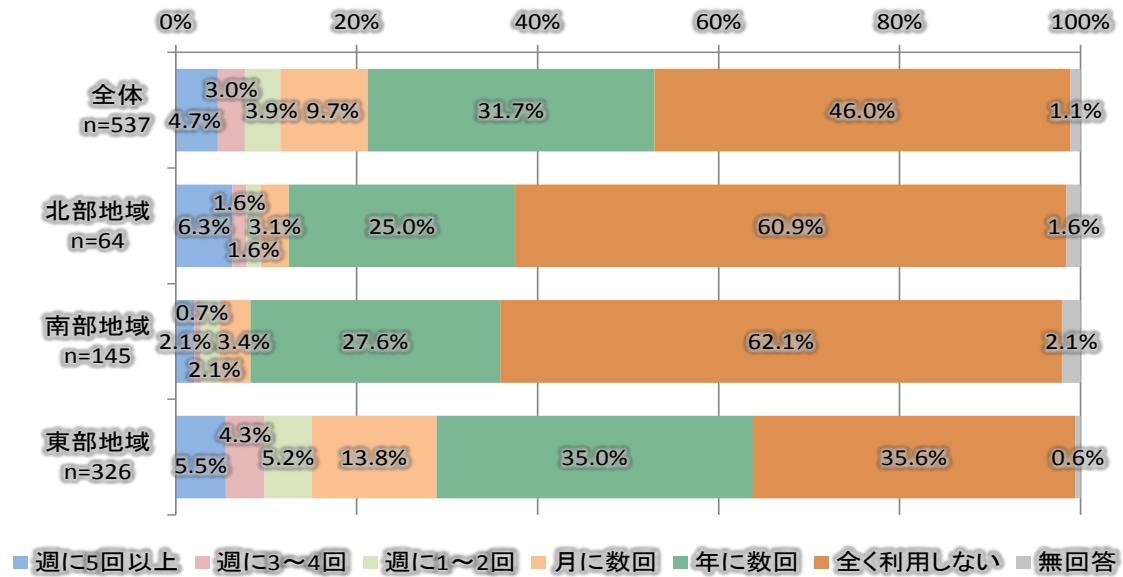


図 町内を運行する路線バスの利用頻度(地区別)

##### ② 最も利用する路線バス

※路線バスの利用頻度について「週に 5 回以上」、「週に 3~4 回」、「週に 1~2 回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- 最も利用する路線バスでは、「民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線」が 74.6%(212 人) と最も高く、次いで「民間路線バス【坂戸駅-大橋】線」が 19.7%(56 人) と続いている。

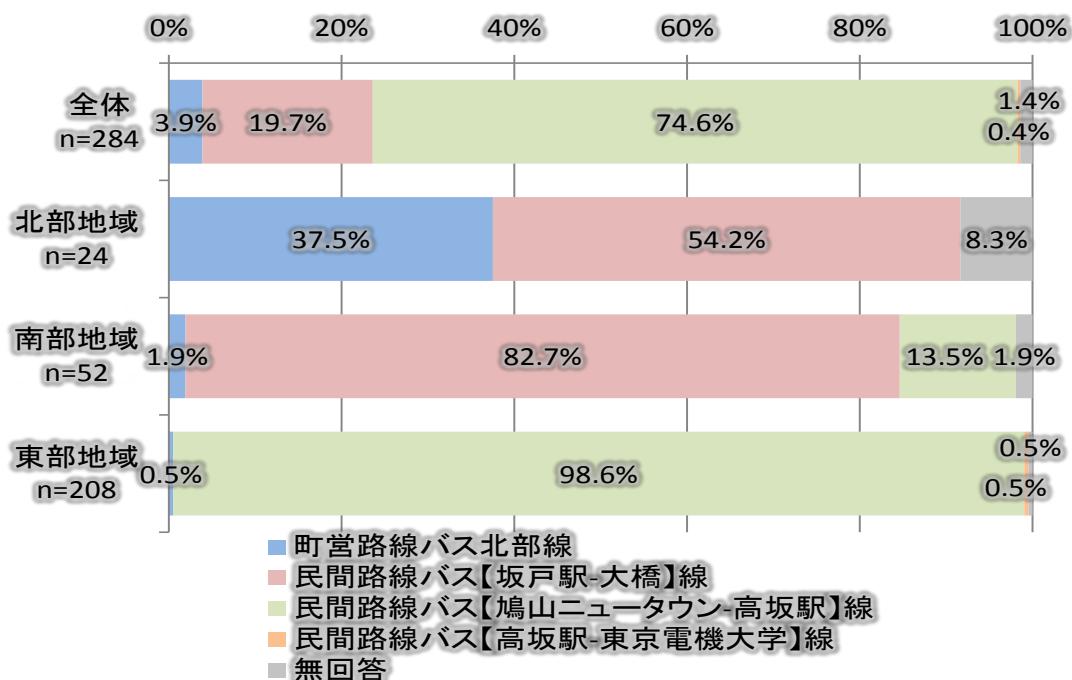


図 最も利用する路線バス(地区別)

### ③ 路線バスを利用する外出目的

※路線バスの利用頻度について「週に5回以上」、「週に3~4回」、「週に1~2回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- 路線バスを利用する外出目的では、「娯楽・行楽」が44.0%(125人)と最も高く、次いで「通勤」が16.9%(48人)と続いている。

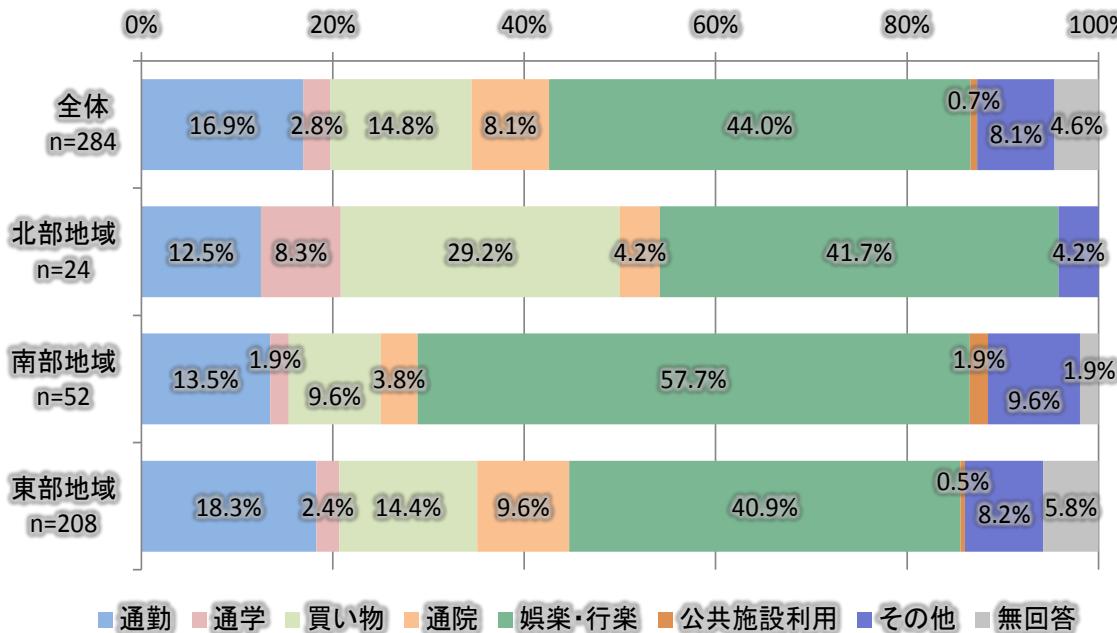


図 路線バスを利用する外出目的(地区別)

### ④ 路線バスを利用していない理由

※路線バスの利用頻度について「全く利用しない」を答えた人のみ

- 路線バスを利用していない理由では、「自家用車よりも時間がかかるから」が49.0%(121人)と最も高く、次いで「1回の外出で複数の目的地を回ることができないから」が25.5%(63人)と続いている。

表 路線バスを利用していない理由(地区別)

	路線バスを利用していない理由									
	自家用車よりも時間がかかるから	バス停が近くにないから	運賃が高いから	1回の外出で複数の目的地を回ことができないから	利用したい時間帯に運行していないから	乗降時や車両内に段差があり、安全に移動できないから	新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、公共交通を利用したくないから	その他	無回答	合計
全体 n=247	49.0%	16.6%	14.6%	25.5%	15.0%	2.0%	6.1%	21.5%	11.7%	161.9%
北部地域 n=39	64.1%	28.2%	12.8%	28.2%	23.1%	2.6%	5.1%	15.4%	10.3%	189.7%
南部地域 n=90	52.2%	25.6%	15.6%	24.4%	15.6%	2.2%	7.8%	15.6%	5.6%	164.4%
東部地域 n=116	41.4%	5.2%	13.8%	25.9%	11.2%	1.7%	5.2%	28.4%	16.4%	149.1%

## ⑤ デマンドタクシー「はとタク」の利用状況・頻度

- ・デマンドタクシー「はとタク」の利用状況・頻度では、「全く利用しない」が 46.9%(252 人)と最も高く、次いで「利用登録をしていない」が 37.2%(200 人)と続いている。

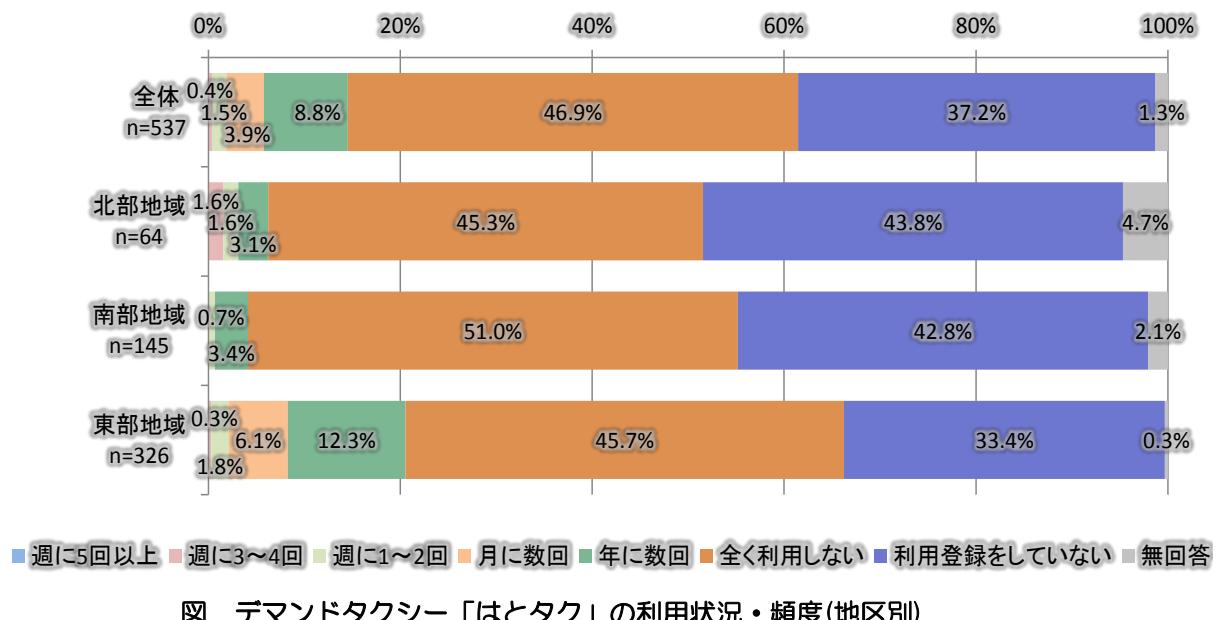


図 デマンドタクシー「はとタク」の利用状況・頻度(地区別)

## ⑥ 「はとタク」利用時の外出目的

- ※「はとタク」の利用頻度について「週に 5 回以上」,「週に 3~4 回」,「週に 1~2 回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- ・「はとタク」利用時の外出目的では、「通院」が 43.6%(34 人)と最も高く、次いで「買い物」が 19.2%(15 人)と続いている。

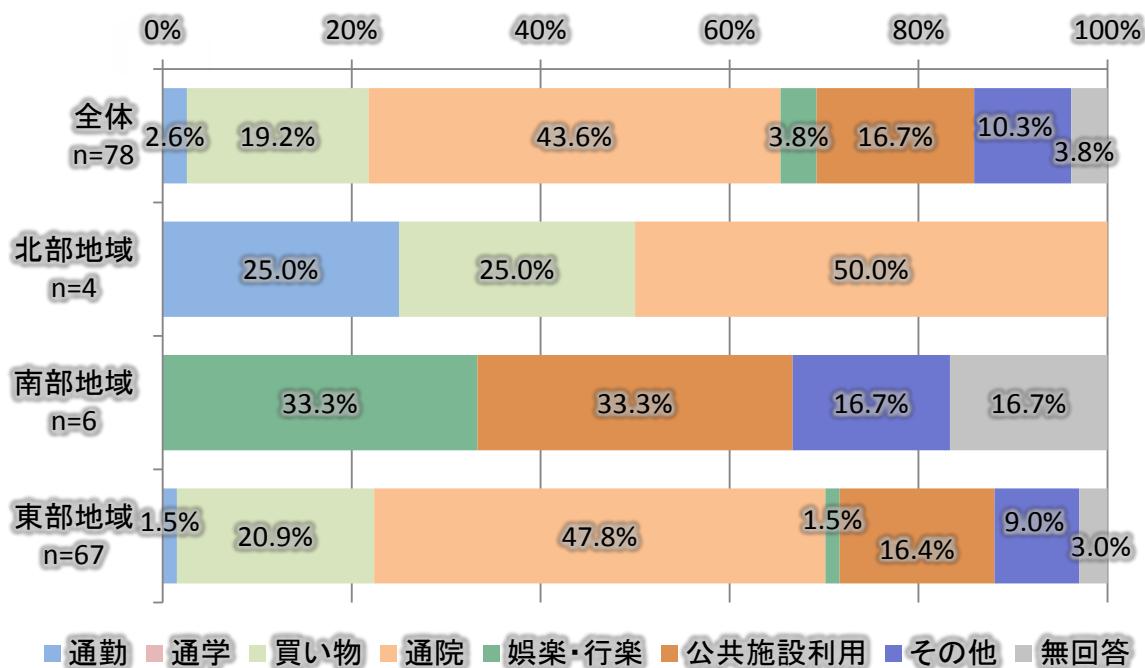


図 「はとタク」利用時の外出目的(地区別)

## ⑦ 「はとタク」利用時の行先

※「はとタク」の利用頻度について「週に 5 回以上」,「週に 3~4 回」,「週に 1~2 回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- ・「はとタク」利用時の行先では、「埼玉医科大学病院」が 23.1%(18 人) と最も高く、次いで「コモディイイダ」と「トップ」が 3.8%(各 3 人) と続いている。

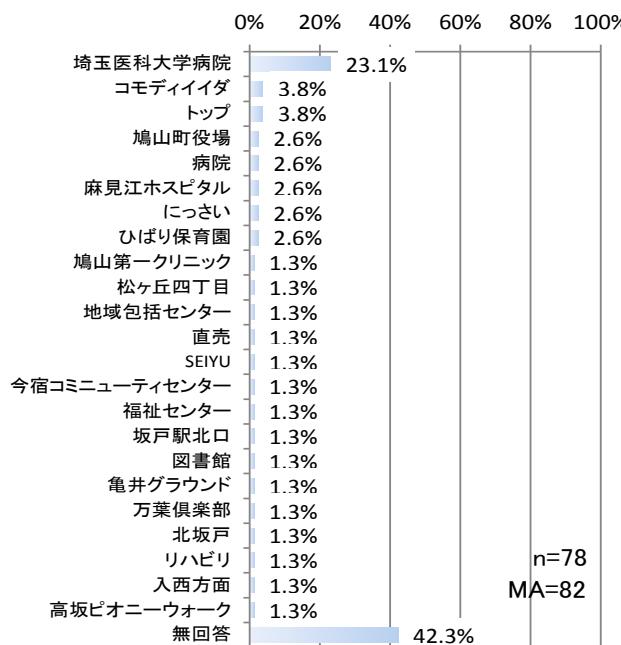


図 「はとタク」利用時の行先

## ⑧ 「はとタク」利用時のかかる時間

※「はとタク」の利用頻度について「週に 5 回以上」,「週に 3~4 回」,「週に 1~2 回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- ・「はとタク」利用時のかかる時間では、「20 分以上」が 34.6%(27 人) と最も高く、次いで「5~10 分程度」が 21.8%(17 人) と続いている。

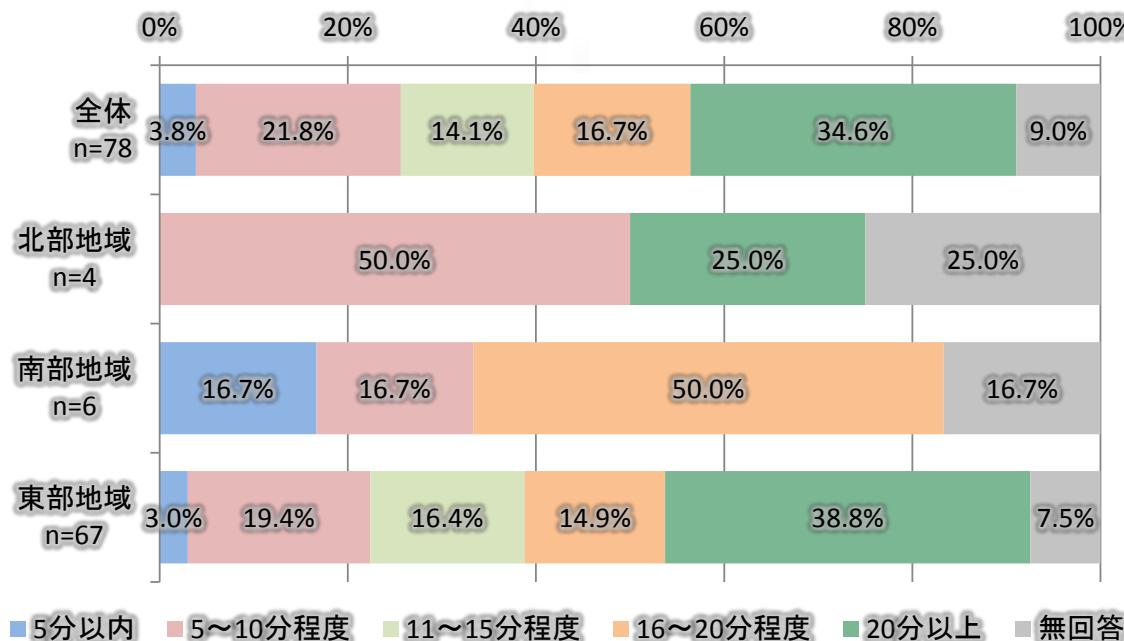


図 「はとタク」利用時のかかる時間(地区別)

## ⑨ 「はとタク」の利用登録はしたが利用しない理由

※「はとタク」の利用頻度について「全く利用しない」を答えた人のみ

- ・「はとタク」の利用登録はしたが利用しない理由では、「いざというときのために利用登録はしたが、他に移動手段があるので利用する必要がない」が 39.3%(99 人) と最も高く、次いで「その他」が 21.8%(55 人) と続いている。

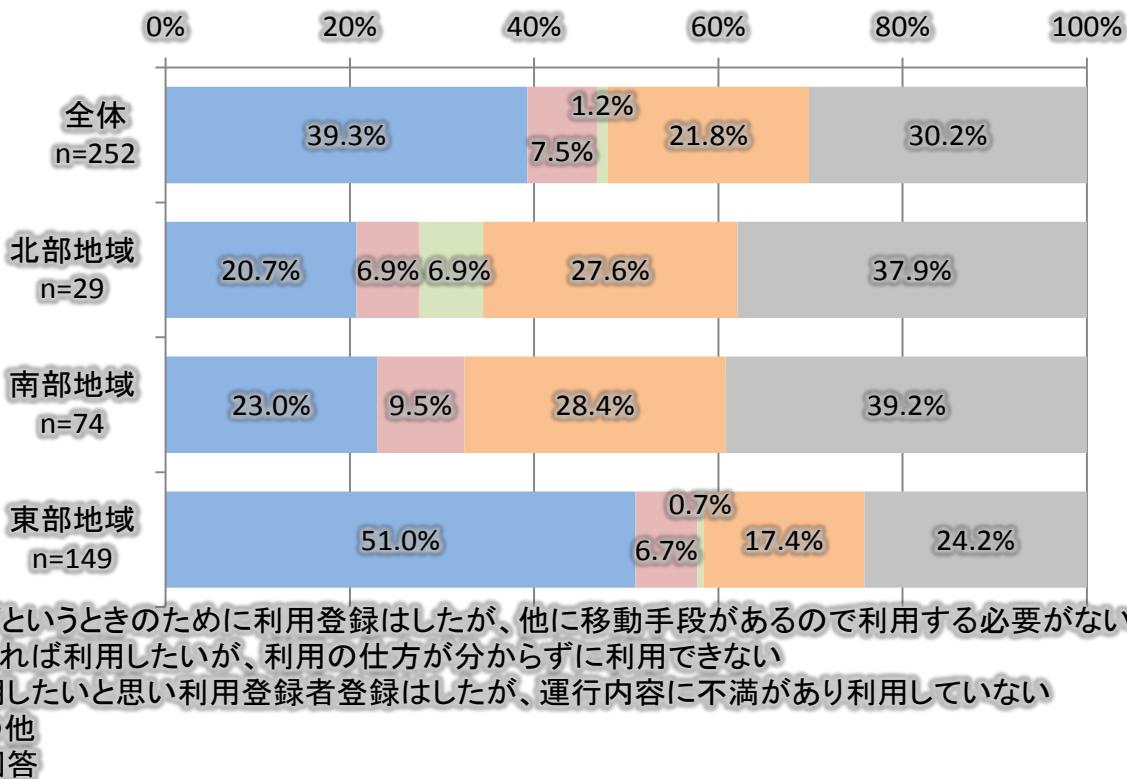


図 「はとタク」の利用登録はしたが利用しない理由(地区別)

## ⑩ 「はとタク」を利用していない理由

※「はとタク」について「全く利用しない」、「利用登録をしていない」を答えた人のみ

- ・「はとタク」を利用していない理由では、「自家用車よりも時間がかかるから」が 34.5%(156 人) と最も高く、次いで「その他」が 25.4%(115 人) と続いている。

表 「はとタク」を利用していない理由(地区別)

	「はとタク」を利用していない理由								合計
	自家用車よりも時間がかかるから	運賃が高いから	1回の利用で複数の目的地を回ことができないから	利用したい時間帯に運行していないから	乗降時や車両内に段差があり、安全に移動できないから	新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、公共交通を利用したくないから	その他	無回答	
全体 n=452	34.5%	5.5%	17.3%	14.2%	0.2%	2.4%	25.4%	25.9%	125.4%
北部地域 n=57	45.6%	3.5%	14.0%	26.3%	0.0%	0.0%	14.0%	21.1%	124.6%
南部地域 n=136	37.5%	5.1%	18.4%	14.0%	0.7%	3.7%	21.3%	22.8%	123.5%
東部地域 n=258	30.6%	6.2%	17.4%	11.6%	0.0%	2.3%	30.2%	28.3%	126.7%

## ⑪ 鉄道の利用頻度

- ・鉄道の利用頻度では、「年に数回」が 49.3%(265 人) と最も高く、次いで「全く利用しない」が 20.7%(111 人) と続いている。

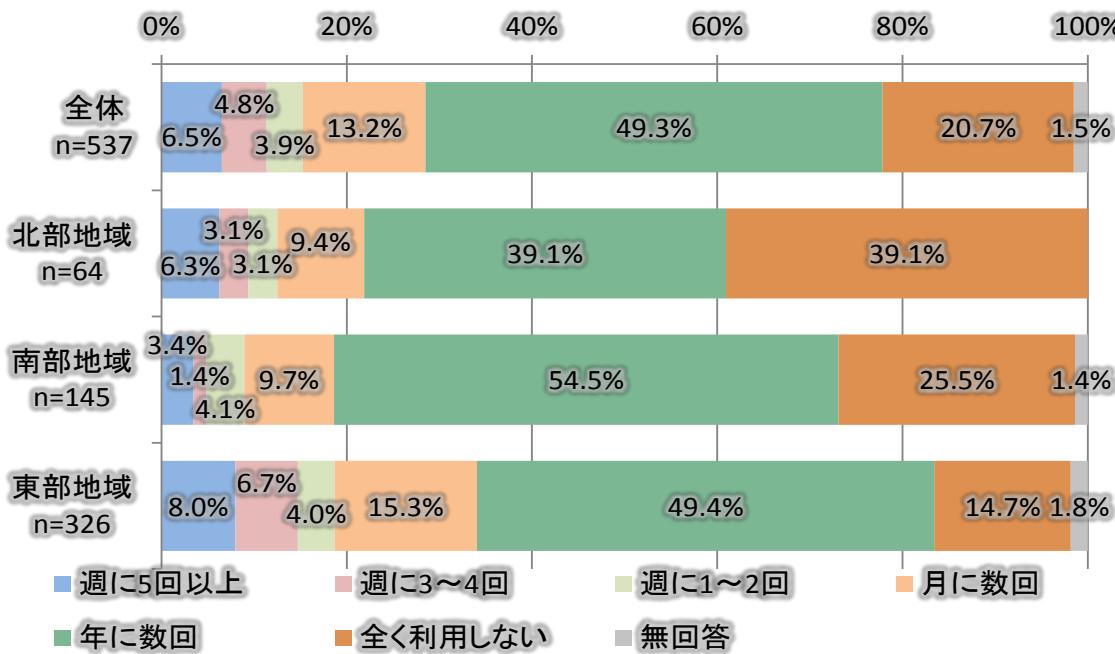


図 鉄道の利用頻度(地区別)

## ⑫ 鉄道利用時の外出目的

※鉄道の利用頻度について「週に 5 回以上」、「週に 3~4 回」、「週に 1~2 回」、「月に数回」、「年に数回」を答えた人のみ

- ・鉄道利用時の外出目的では、「娯楽・行楽」が 49.5%(207 人) と最も高く、次いで「通勤」が 14.4%(60 人) と続いている。

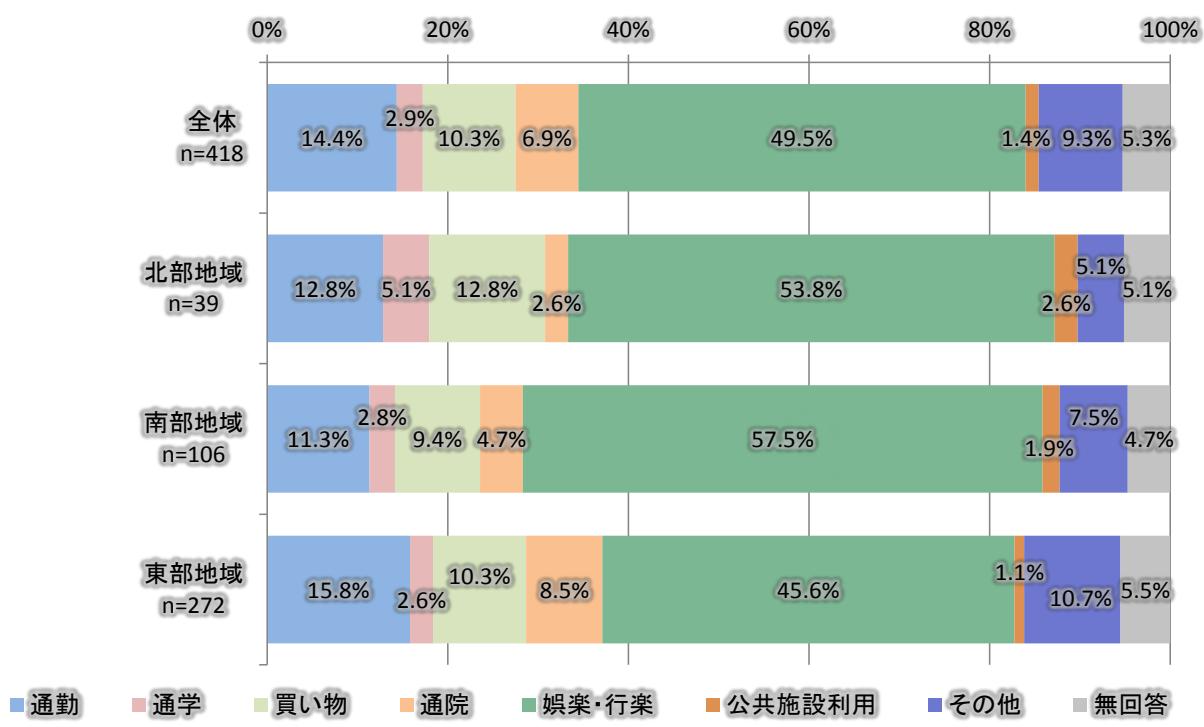


図 鉄道利用時の外出目的(地区別)

⑬ 最もよく利用する最寄り鉄道駅名

※鉄道の利用頻度について「週5回以上」,「週に3~4回」,「週に1~2回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- 最もよく利用する最寄り鉄道駅名では、「高坂駅」が44.5%(186人)と最も高く、次いで「北坂戸駅」が11.7%(49人)と続いている。

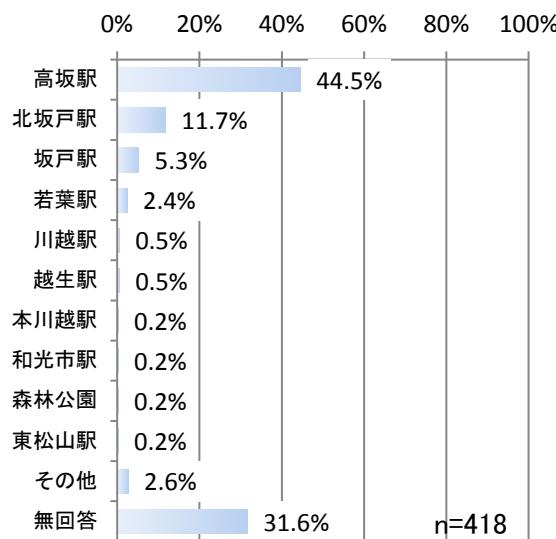


図 最もよく利用する最寄り鉄道駅名

⑭ 自宅から最寄りの鉄道駅までの移動手段

※鉄道の利用頻度について「週に5回以上」,「週に3~4回」,「週に1~2回」,「月に数回」,「年に数回」を答えた人のみ

- 自宅から最寄りの鉄道駅までの移動手段では、「自家用車(自分で運転)」が40.2%(168人)と最も高く、次いで「民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線」が34.2%(143人)と続いている。

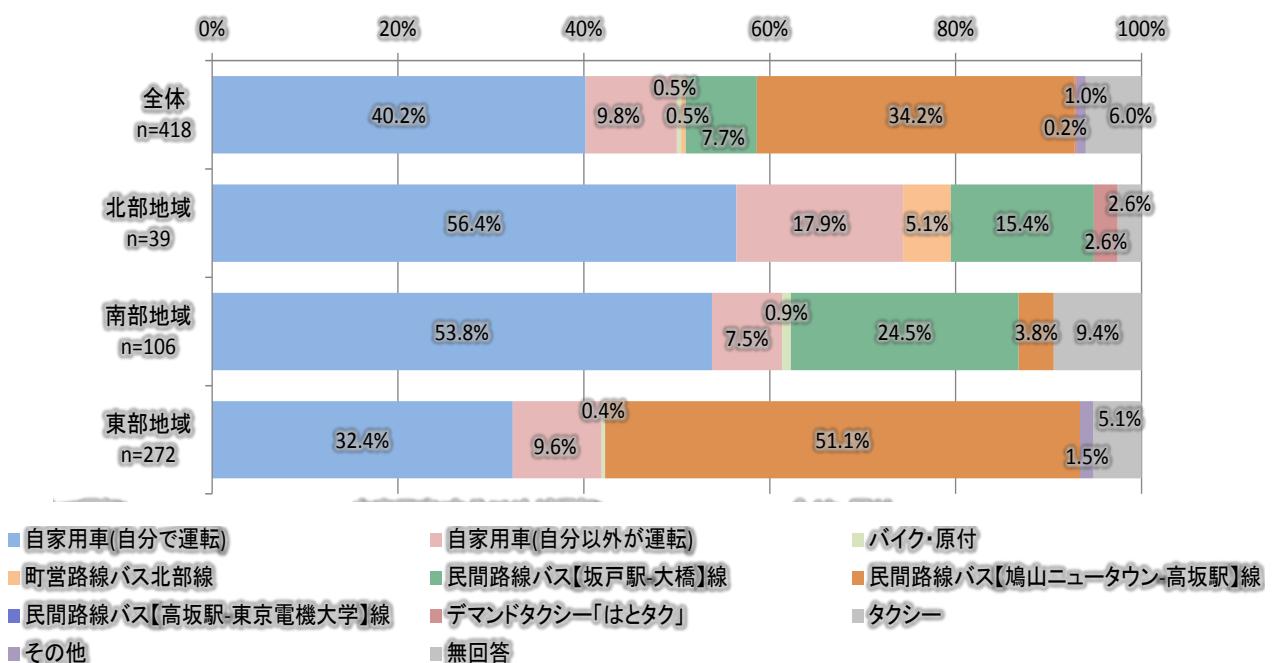


図 自宅から最寄りの鉄道駅までの移動手段(地区別)

⑯ 福祉有償運送について

- ・福祉有償運送についてでは、「知らない」が 74.5%(400 人) と最も高く、次いで「知っている」が 25.0%(134 人) と続いている。



図 福祉有償運送について

## 5) 本町に係る交通の満足度

### ① 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線の満足度

- ・民間路線バス【坂戸駅-大橋】線の満足度では、「どちらとも言えない」が37.2%(200人)と最も高く、次いで「やや満足」が8.8%(47人)と続いている。

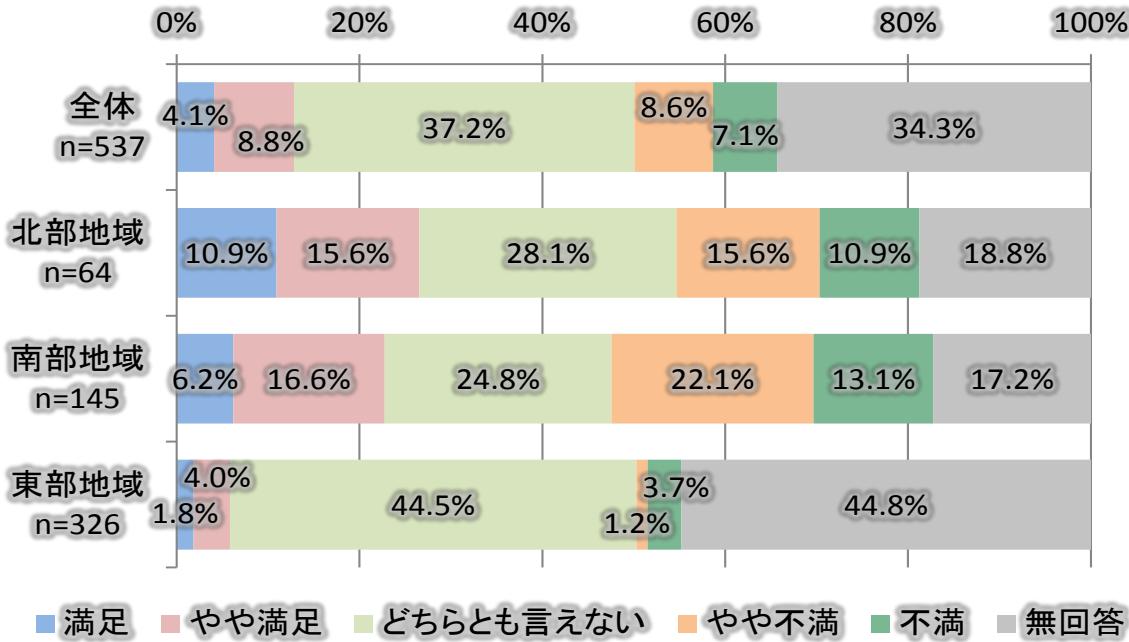


図 民間路線バス【坂戸駅-大橋】線の満足度(地区別)

### ② 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線の満足度

- ・民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線の満足度では、「どちらとも言えない」が27.7%(149人)と最も高く、次いで「満足」が23.6%(127人)と続いている。

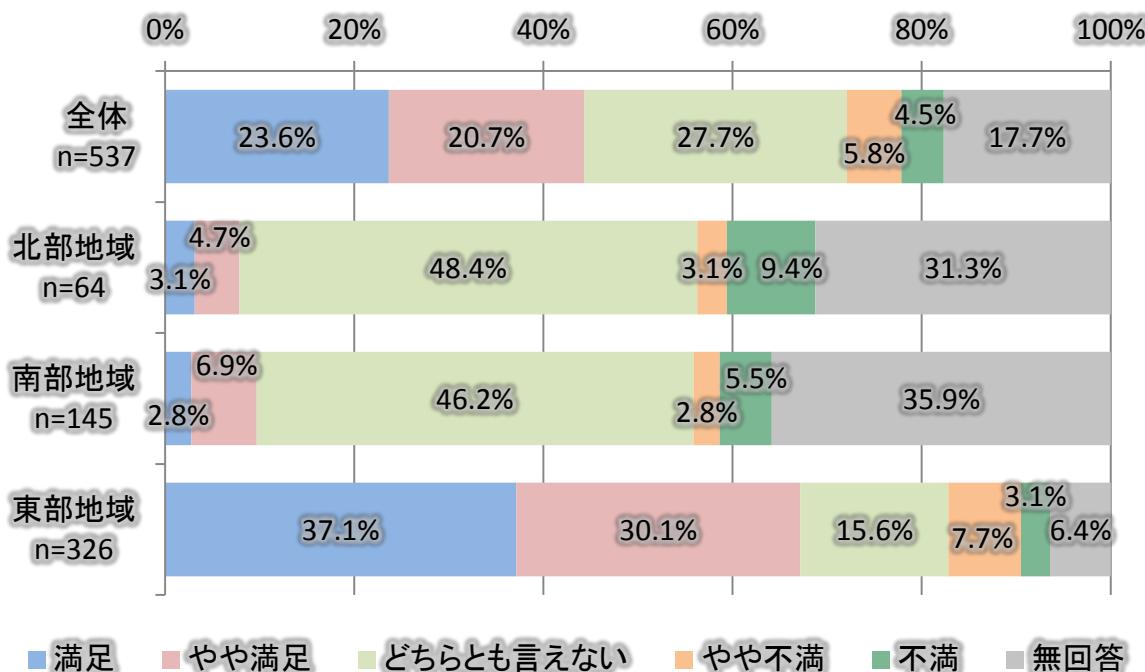


図 民間路線バス【鳩山ニュータウン-高坂駅】線の満足度(地区別)

### ③ 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線の満足度

- ・民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線の満足度では、「どちらとも言えない」が46.6%(250人)と最も高く、次いで「やや満足」が3.9%(21人)と続いている。

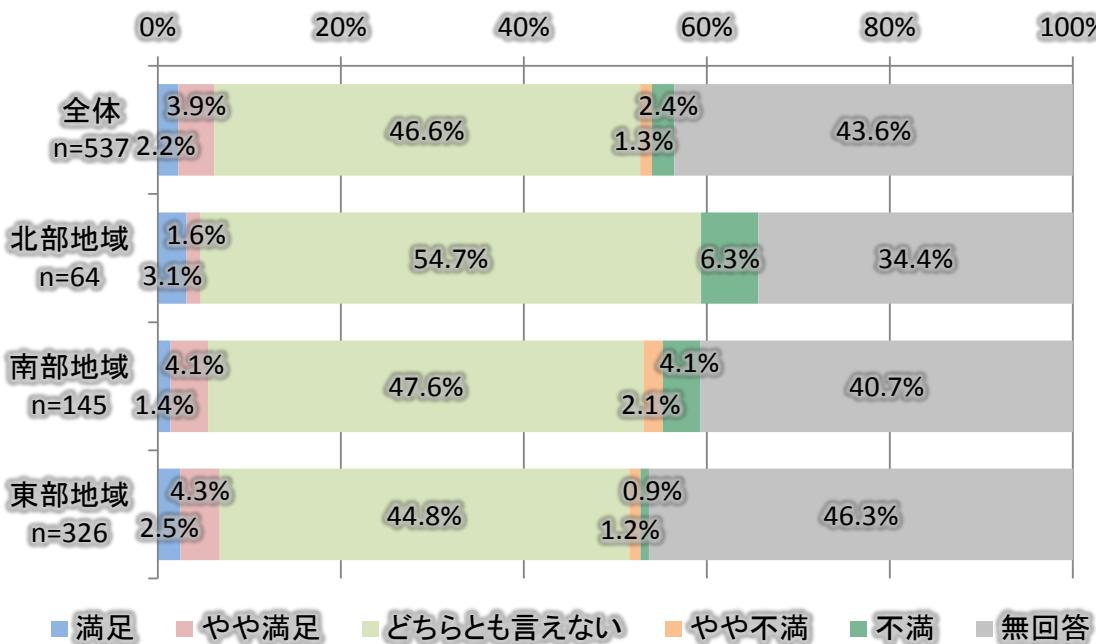


図 民間路線バス【高坂駅-東京電機大学】線の満足度(地区別)

### ④ 町営路線バス北部線の満足度

- ・町営路線バス北部線の満足度では、「どちらとも言えない」が41.5%(223人)と最も高く、次いで「不満」が6.9%(37人)と続いている。

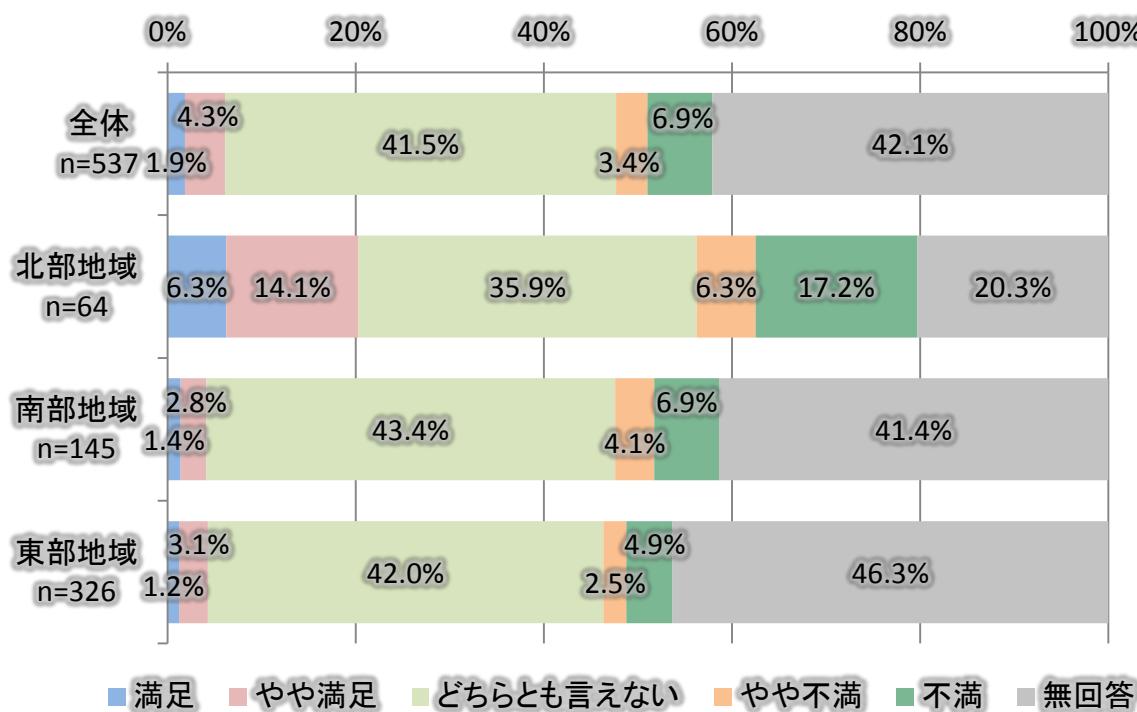


図 町営路線バス北部線の満足度(地区別)

## ⑤ デマンドタクシー「はとタク」の満足度

- ・デマンドタクシー「はとタク」の満足度では、「どちらとも言えない」が 37.8%(203 人) と最も高く、次いで「やや満足」が 10.1%(54 人) と続いている。

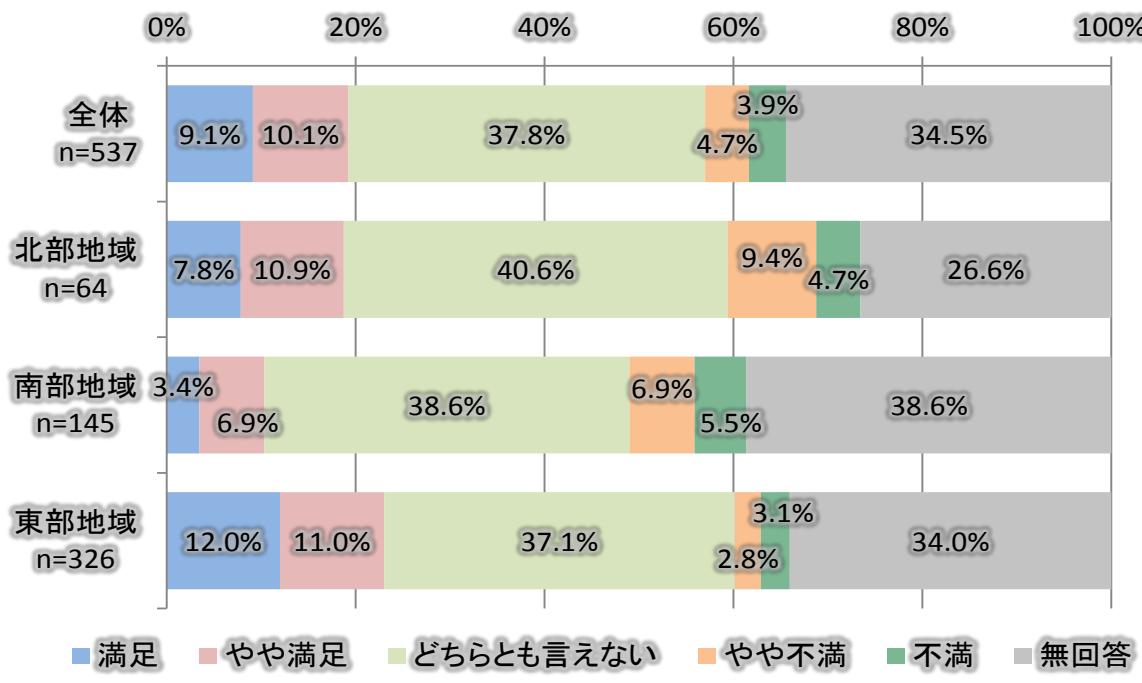


図 デマンドタクシー「はとタク」の満足度(地区別)

## ⑥ 一般タクシーの満足度

- ・一般タクシーの満足度では、「どちらとも言えない」が 42.1%(226 人) と最も高く、次いで「やや満足」と「不満」が 5.6%(各 30 人) と続いている。

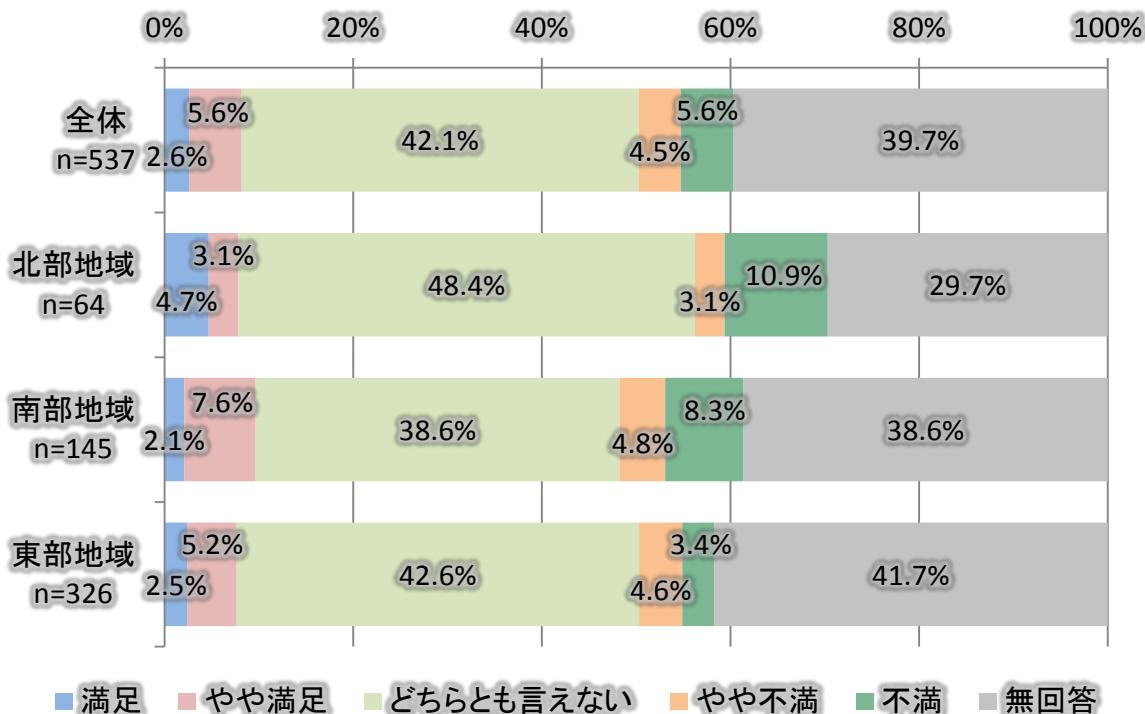


図 一般タクシーの満足度(地区別)

## 6) 町内公共交通の改善点について

### ① 民間路線バスの改善すべき点・求めること

- ・民間路線バスの改善すべき点・求めることでは、「夕方・夜間の時間帯の本数が増えるように、運行を見直してほしい」が 20.7%(111 人)と最も高く、次いで「その他」が 20.3%(109 人)と続いている。

表 民間路線バスの改善すべき点・求めること(地区別)

	民間路線バスの改善すべき点・求めること														その他	無回答	合計
	朝の通勤時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい	日中の時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい	夕方・夜間の時間帯の本数が増えるように、運行を見直してほしい	土曜日に埼玉医科大学病院へ受診できるように、運行を見直してほしい	自宅からもっと近い場所で乗降できるようにしてほしい	自家からもつと近い場所で乗降できるようにしてほしい											
全体 n=537	16.2%	17.5%	20.7%	3.9%	6.3%	4.8%	3.0%	1.3%	14.0%	0.6%	0.2%	4.7%	10.1%	20.3%	34.3%	157.7%	
北部地域 n=64	26.6%	14.1%	29.7%	6.3%	15.6%	10.9%	1.6%	1.6%	7.8%	1.6%	1.6%	4.7%	4.7%	12.5%	37.5%	176.6%	
南部地域 n=145	21.4%	27.6%	29.0%	2.8%	10.3%	6.2%	2.8%	2.1%	13.1%	0.0%	0.0%	5.5%	14.5%	13.8%	25.5%	174.5%	
東部地域 n=326	11.7%	13.5%	15.0%	4.0%	2.5%	3.1%	3.4%	0.9%	15.6%	0.6%	0.0%	4.0%	9.2%	24.8%	37.4%	145.7%	

### ② 町営路線バス北部線の改善すべき点・求めること

- ・町営路線バス北部線の改善すべき点・求めることでは、「その他」が 12.5%(67 人)と最も高く、次いで「自宅からもっと近い場所で乗降できるようにしてほしい」が 6.9%(37 人)と続いている。

表 町営路線バス北部線の改善すべき点・求めること(地区)

	町営路線バス北部線の改善すべき点・求めること														その他	無回答	合計
	朝の通勤時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい	日中の時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい	夕方・夜間の時間帯の本数が増えるように、運行を見直してほしい	土曜日に埼玉医科大学病院へ受診できるように、運行を見直してほしい	自宅からもっと近い場所で乗降できるようにしてほしい	自家からもつと近い場所で乗降できるようにしてほしい											
全体 n=537	5.0%	6.3%	6.1%	3.4%	6.9%	5.8%	3.2%	0.2%	6.0%	0.6%	0.4%	3.2%	5.4%	12.5%	60.1%	125.0%	
北部地域 n=64	17.2%	14.1%	26.6%	1.6%	17.2%	4.7%	3.1%	0.0%	6.3%	1.6%	0.0%	9.4%	4.7%	17.2%	37.5%	160.9%	
南部地域 n=145	5.5%	6.9%	6.2%	3.4%	10.3%	11.0%	4.8%	0.0%	9.0%	0.0%	0.0%	4.8%	8.3%	8.3%	55.2%	133.8%	
東部地域 n=326	2.5%	4.6%	2.1%	3.7%	3.4%	3.7%	2.5%	0.3%	4.6%	0.6%	0.6%	1.2%	4.3%	13.5%	66.6%	114.1%	

### ③ 「はとタク」の改善すべき点・求めること

- ・「はとタク」の改善すべき点・求めることでは、「その他」が 15.3%(82 人)と最も高く、次いで「スマホ等を使って、位置や時刻等の情報が簡単に得られるようにしてほしい」が 9.7%(52 人)と続いている。

表 「はとタク」の改善すべき点・求めること(地区別)

	「はとタク」の改善すべき点・求めること														その他	無回答	合計
	朝の通勤時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい	日中の時間帯で本数が増えるように、運行を見直してほしい	夕方・夜間の時間帯の本数が増えるように、運行を見直してほしい	土曜日に埼玉医科大学病院へ受診できるように、運行を見直してほしい	自宅からもっと近い場所で乗降できるようにしてほしい	自家からもつと近い場所で乗降できるようにしてほしい											
全体 n=537	1.9%	2.8%	5.6%	9.1%	2.8%	2.6%	3.0%	0.4%	6.9%	0.2%	0.0%	1.3%	9.7%	15.3%	56.2%	117.7%	
北部地域 n=64	3.1%	1.6%	9.4%	4.7%	4.7%	6.3%	3.1%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	3.1%	4.7%	15.6%	56.3%	121.9%	
南部地域 n=145	2.8%	4.1%	6.9%	4.8%	6.2%	5.5%	4.8%	0.0%	8.3%	0.7%	0.0%	0.7%	10.3%	10.3%	55.2%	120.7%	
東部地域 n=326	1.2%	2.5%	4.3%	12.0%	0.9%	0.6%	2.1%	0.6%	5.8%	0.0%	0.0%	1.2%	10.4%	17.5%	56.4%	115.6%	

## 7) 今後の公共交通について

### ① 町内の公共交通の今後についての考え方

- 町内の公共交通の今後についての考え方では、「路線バスの路線を増やして、町外へのアクセスをもっと拡大してほしい」が30.4%(163人)と最も高く、次いで「路線バスでの運行では、地域のニーズに対応できないと思うので、路線バスは縮小して、「はとタク」を充実(運行エリアの拡大、到着待ち時刻の短縮等)させてほしい」が18.1%(97人)と続いている。

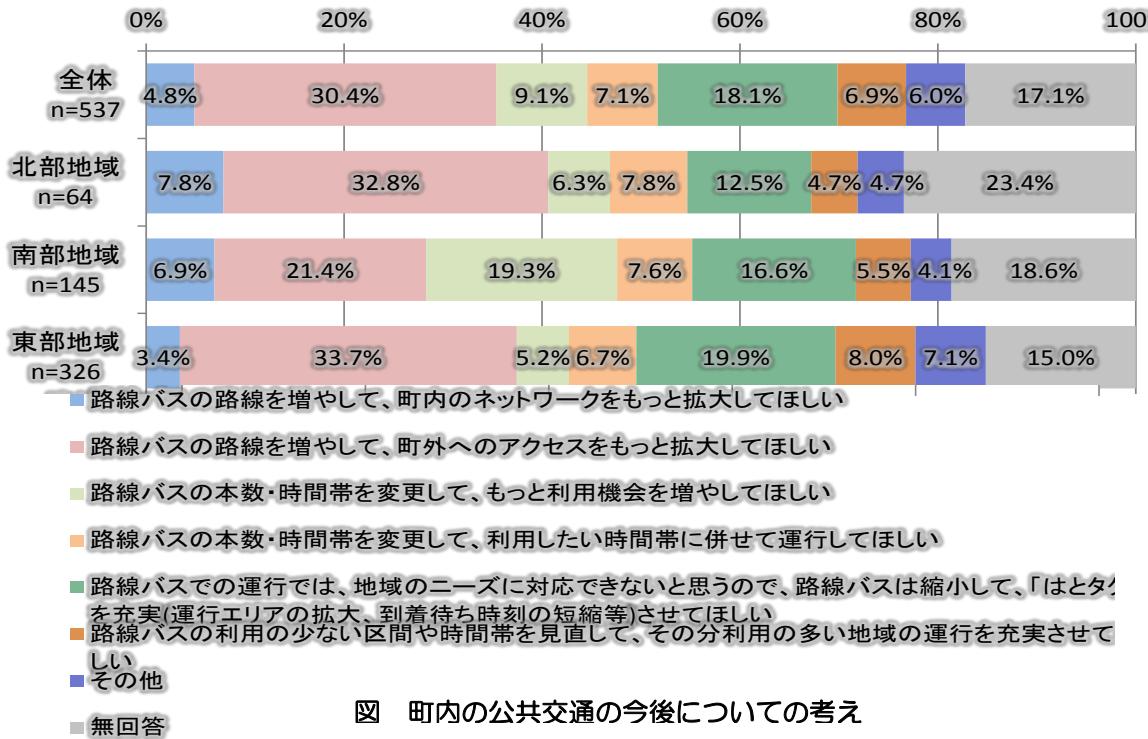


図 町内の公共交通の今後についての考え方

### ② 町内のアクセスを充実させるべき地域

- 町内のアクセスを充実させるべき地域では、「今宿交差点周辺(ベイシア、ドラッグセイムス、ドラッグストアセキ等)」が24.0%(129人)と最も高く、次いで「鳩山町役場周辺(総合福祉センター・保健センター等)」が23.5%(126人)と続いている。

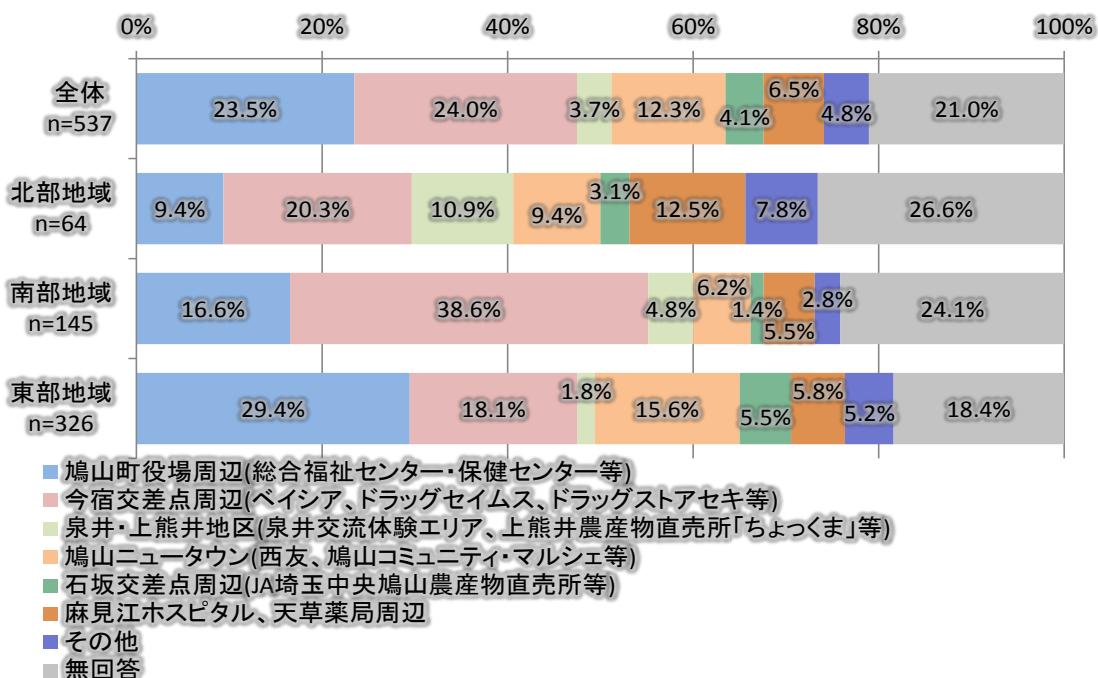


図 町内のアクセスを充実させるべき地域(地区別)

### ③ 居住地域の公共交通の整理について

- 居住地域の公共交通の整理についてでは、「自治会やNPOといった地域の団体が主体となって交通サービスを新設するなど、地域住民によって公共交通を維持する」が21.4%(115人)と最も高く、次いで「町民の負担が増えることになっても、町が町営路線バスを新設するなど、町政の中で交通サービスを整備する」が20.7%(111人)と続いている。



- 自治会やNPOといった地域の団体が主体となって交通サービスを新設するなど、地域住民によって公共交通を維持する
- 町民の負担が増えることになっても、町が町営路線バスを新設するなど、町政の中で交通サービスを整備する
- 減便などサービスを下げることで経費を減らして、最低限の運行は維持する
- 利用者が少ない交通サービスについては、廃止や運行区間の縮小も止む無だと思う
- その他
- 無回答

#### 2.4.4 本町の町民意向（アンケート集計結果）からみた現状・問題点

免許返納に係る施策については、自家用車に代わる公共交通の整備が有効という意見が多く、返納者においては公共交通サービスの需要が高いと考えられる。

外出動向については、目的を問わず自家用車利用による、10時～12時の外出が多く見られる。また、買い物目的での移動で半数以上が週3日以上外出するなど、積極的に外出する人が多い傾向にある。

公共交通利用に関する特徴的な傾向として、デマンド交通の改善点について、土曜日の埼玉医大病院への運行や、スマホ等を使った運行情報提供を挙げる人が多い。

公共交通の満足度については、いずれの交通サービスでも『どちらとも言えない』または無回答の人が多く、現行の公共交通に対して認知度あるいは関心度が低い様子が見受けられる。ただし、路線バス鳩山ニュータウン線については、東部地区の満足度は高い。

## 2.5 公共交通を取り巻く課題の整理

本章にて整理した内容を踏まえて、本計画の策定において解決すべき課題について、それ以下とのおり整理する。

### ●課題1：人口減少・高齢化に対応した公共交通サービスの提供

本町においては、すべての年代において継続的な人口減少が進むと推計されていることから、人口規模に応じた交通体系の検討が必要である。併せて、人口減少などに起因する利用者の減少が予想されることから、自家用車移動が困難な高齢者の生活移動環境確保のために、既存公共交通の維持確保が必要である。

また、地域別の傾向を見ると、町の北部では、地域内集落の中心に位置する地域拠点や、周辺の主要施設へのアクセスが求められており、利用促進の観点からも既存交通での対応などが必要である。

以上の状況を踏まえて、既存交通の維持確保について充実を図る必要性があると考えられる。

### ●課題2：沿線住民のニーズに沿った既存公共交通サービスの在り方の検討

町内では主に町の北部と、近隣の鉄道駅を結ぶ役割を担う町営路線バス北部線については、周辺市町では乗降が多いものの、本町に係る移動は少数に留まっており、沿線のニーズを踏まえた見直しが必要と考えられる。

一方で、町の西部・東部において、近隣の鉄道駅を結ぶ役割を担う民間路線バスについては、いずれの路線も主に朝・夕の時間帯の利用が増える傾向にあり、通勤・通学移動での利用が多く、これらの時間帯については継続的な運行が必要である。また、大橋線、鳩山ニュータウン線については、12~13時台でも利用が増えており、ある程度、日中の生活移動に活用できる運行が行われている。

しかし今後は埼玉県立鳩山高等学校と越生高等学校との統合が予定されており、鳩山ニュータウン線の利用について大きな影響があることが予想される。

デマンド交通については、登録者数・利用者数ともに近年では増加傾向にあり、町内の公共交通手段として浸透しつつあることから、継続的な周知・PRの有効性が高いと考えられる。

以上の状況を踏まえて、町営路線バス北部線や鳩山ニュータウン線を筆頭に、路線維持や新規利用の促進を見据えた利用促進策や、利用環境の向上、ニーズに応じた運行の形成が必要と考える。

### ●課題3：主要拠点・主要施設アクセスに関する公共交通サービスの整備

都市計画マスタープランでは、町内各地域の公共交通における主軸である路線バスについて、きめ細かなニーズに対応する移動手段として、デマンドタクシーの維持確保・サービス拡充について検討する必要がある。加えて、都市計画マスタープラン、立地適正化計画では、いずれも町内全域での良好な居住環境の形成を目的に、町内の主要拠点及び主要施設への公共交通アクセスが求められている。

住民アンケートの集計結果によると、北部地域では、民間路線バスでアクセス可能な鳩山ニュータウン、今宿交差点周辺の他、泉井・上熊井地域へのアクセス充実の要望があることから、町営路線バスによる同施設へのアクセス検討も視野に入れる必要がある。

以上のことから、自家用車所有の有無に関わらず、町内各地域における地域内主要拠点や主要施設へのアクセスが可能な公共交通ネットワークの形成が求められている。

### ●課題4：持続的な公共交通ネットワークの形成など、将来的な発展に係る検討

路線バスの利用者数減少や公共交通の担い手不足を受けて、路線見直し等と並行して、利用促進や運行効率化を検討する必要があると考えられる。具体的な対策としては、現行の予約システムについて、MaaS事業参入をはじめとする他事業者との連携に関する基盤構築や、全国的に導入事例が増えつつあるAIオンデマンド交通の導入なども視野に入れた、抜本的な見直しが挙げられる。

以上のことから、AIオンデマンド交通や自動運転システムなどの最新技術の活用に向けた調査研究や、本町におけるさらなるデジタル技術の導入可能性の検証などを行うことが必要であると考える。